



亜細亜大学
亜細亜大学短期大学部

UNIVERSITY
OF ASIA
ATHLETIC DEPT
TENNIS TEAM

TEAM GUIDE
チームガイド
&
国際大会開催
報告
REPORT

2015

亜細亜大学
テニス部

武蔵野キャンパス 紹介

ここで勉強します!

最寄り駅はJR中央線の武蔵境駅です。基本的に授業は武蔵野キャンパスで行なわれます。学生に必要な設備はすべて整っており、勉強に関して困ることはありません。テニス部の場合、平日はここで授業を受けて、終了後、日の出キャンパスに移動して練習します。



3号館



1号館



2号館



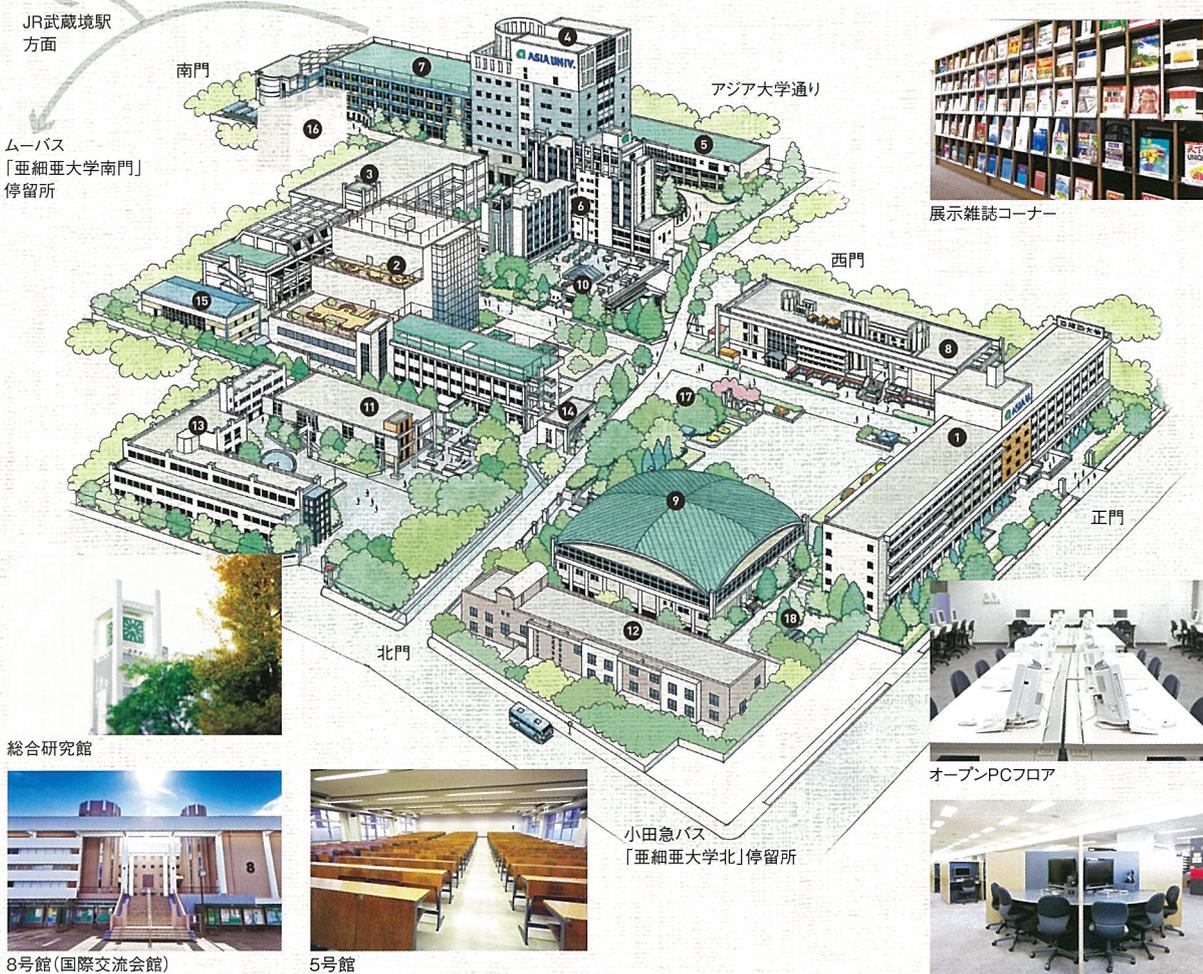
屋上庭園



太田耕造記念館(図書館)



展示雑誌コーナー



総合研究館



8号館(国際交流会館)



5号館



オープンPCフロア



AVブース



アクセス

- 武蔵境駅まで
- ・「新宿駅」から約20分、「東京駅」から約35分(JR中央線利用)
 - ・「大宮駅」から約50分(JR中央線、埼京線利用)
- 武蔵境駅からキャンパスまで
- ・北口から徒歩12分
 - ・北口から小田急バス[境21]「団地上水端(団地入口経由)」で「亜細亜大学北」下車、徒歩1分
 - ・北口からムーバスで「境5丁目」または「亜細亜大学南門」下車、徒歩0分
 - ・西武新宿線「田無駅」北口から西武バス「武蔵境行」で「武蔵境駅」(終点)下車、徒歩12分

日 本テニスの育成には大きな課題があります。ひとつは18歳以上の強化です。多くのジュニアや高校生は、指導者や親とともに夢と希望をもってテニスに取り組んできています。テニスは決して18歳までに完成することができない、奥の深いスポーツですが、それを18歳以上でどのように磨くかが日本テニス最大のテーマのほずです。ということは、大学の役割は非常に大きく、特に重要になるのが指導力です。選手が転戦するだけでは身につかないもの、または、それ以上のものを大学が提供できなければ意味がありません。

次に重要となるのが環境の強化です。関東の大学では春関（関東学生）、夏関、新進戦、リーグ戦と4つの大会のみです。全国大会はインカレ、インカレ・インドア、大学王座の3つの大会です。これらの大会は同世代だけが参加します。しかし、実は戦う相手はもっと別の世界にもいます。知っている人と戦うことよりも、まったく知らない人と戦うことがどれだけ人をワクワクさせるのでしょうか。大学4年間であらゆる世代やレベルや地域を越えたテニスを体験し、挑むことほど、素晴らしいものはありません。自分がいままでつくり上げたテニスを試す“最高ステージ”は、大学テニスの世界以外にもあるのです。

当然、「負け」や「失敗」が付きまとい、自分を見失うこともあることでしょう。しかし、「負け」を嫌い、「失敗」をたくさんしない学生が、いつどうやってそこから這い上がる精神を身につけることができるのでしょうか。私は学生こそ

「失敗することが仕事」だと思っています。そこからしか創意工夫や独創性は生まれてきません。

能力があるにもかかわらず、挑戦を恐れ、安全で安定な道にすぎている精神のテニスには、困難を乗り越える力が備わりません。いつかラケットを置いたときに、就職したときに残るのは、テニスの技術や記録だけではなく、未知を乗り越えてきた精神力であってほしいのです。

私はその一環として、アメリカの大学との対抗戦、韓国体育大学との交流合宿を行なってきました。1月のオーストラリアン・オープン観戦では「これが本物」と感じるができます。そして、いまは春に男女の国際テニス大会（1万ドル）を学内で開催しています。学生主体のこの大会は、まさに選手しか経験のない学生たちに、テニスへの取り組み方から、技術、体力、精神力、戦術、歴史、経済、経営、哲学にいたるすべてを、外国選手やスポンサー、観客など、テニスにかかわる人々から学ばせてもらっています。国際大会は最高のコーチングになっているのです。

初めは国際大会レベルのパワーやスピードや意識の違いに弾き飛ばされていたものの、徐々にそれに近づくための行動が起こってきました。「機会」が学生を育てていることを実感します。国際大会という環境は学生に大学テニスに明け暮れる＝守りの伝統を、攻める「機会」へと発展させていることは間違いありません。

私は亜細亜大学に奉職して25年になりますが、冒頭の理想には残念ながらまだまだ到達しません。それでも、これまで理想に向かっていっしょに闘った多くの学生たちや卒業生には感謝しています。永遠にチームは完成できないかもしれません。しかし、向上に悩める学生に出会ったときには、自分の未来を信じて戦う意思がある学生と出会ったときには、いっしょに青春時代を闘いたい。私は自らの可能性を信じる本気の選手を歓迎します。

テニスは18歳までには決して完成しません。自らの可能性を信じて未来に向かって挑戦する本気の選手を歓迎します。

堀内昌一

(亜細亜大学教授 / テニス部監督)



日の出キャンパス 紹介

ここがテニス部のホームです!

最寄り駅はJR五日市線「武蔵引田」駅です。ここにはテニスコートをはじめ、野球場、サッカー場、陸上トラックなど、スポーツ関係の研究施設があります。屋外競技のクラブは主にここで練習をします。



テニスコート

ハードコート8面と砂入り人工芝コート2面の合計10面のテニスコートがあります。面数が多いので、少人数で効率よく、充実した練習ができます(全面ナイター完備)。



トレーニングセンター

機材が整っており、学生はいつでも自由に利用することができます。夜遅くまで筋トレをしている学生もいます。トレーニングルームに隣接して鏡張りの大きな部屋があり、雨の日でもラダーなどのフィールドトレーニングを室内で行なうことができます。



クラブハウス

2010年に完成しました。男子部室、女子部室、監督・コーチ室のほか、ユーティリティがあります。ユーティリティでは、全体ミーティングを行なうほか、テレビやスライドを使って映像の確認や勉強会を行ないます。

日の出 キャンパス 案内図



セミナーハウス(宿泊施設)

テニス部は、12月の年末合宿、2、3月の強化合宿、国際大会開催期間などに利用します。また、他校の学生が練習に訪れているときに宿泊することも多くあります。施設内には大広間もあり、ミーティングや講義が行なわれます。

※学生2000円、ビジター3000円(朝夕食付)

アクセス

武蔵引田駅まで

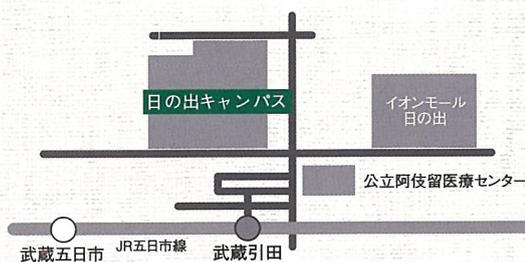
- ・「新宿駅」から約90分、「東京駅」から約100分(JR中央線、青梅線、五日市線利用)
- ・「大宮駅」から約120分(JR埼京線、川越線、八高線、五日市線利用)

武蔵引田駅から日の出キャンパス「亜細亜大学セミナーハウス」まで

- ・武蔵引田駅の改札口は北口1ヵ所、下車後、踏切まで戻り、北(左)に向かって徒歩7分

所在地

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井1466 TEL042-597-0714



「EVER UP WARD」私が亜細亜大学に入学して、すぐ目にしました。更に高く、もっと向上するという意味です。この亜細亜大学では更に向上することが出来る環境であると思います。テニスの技術はもちろんですが、人間性も向上できる環境であります。他の大学と違って、コーチが沢山いてくださり、監督もほぼ毎日コートに来てくださいます。しかし、練習メニューやコート割、タイムスケジュール、トレーニングは学生自身が考えるのが亜細亜大学のスタイルです。コーチに頼るのではなく、まずは自分で考え、工夫をするので、自主的に行動できるようになります。堀内監督は「コーチいらずの学生になれ」とおっしゃっています。テニスというスポーツは個人競技なので試合中は、自分ひとりで判断をし、行動しなければいけません。それを亜細亜大学では日々の生活からトレーニングしています。

大学の部活は、今までの高校、テニスクラブとまた違ってよりチーム力が重要になると思います。大学テニスには、大学生ならではのリーグ戦が行われます。このリーグ戦は大学の名前を背負い、チーム全員で戦う試合です。この試合こそチーム力が試されます。選手はチームの為に必死に1ポイントでも多くポイントを取りにいき、選手でないサポーターもチームの勝利の為に全力で一緒に戦います。亜細亜大学テ

ニス部は現在、男女ともに1部リーグに所属しています。今は来年のリーグ戦で1位を目指し、王座出場を目標にして活動しています。チームで活動するにあたって目標を全員でかけ、その目標を達成する為に全員で努力します。目標を設定することはチームで行動するにあたってとても重要なことの一つです。まずは目標を設定しなければ、チームで動く際に練習の目的はもちろん、モチベーションになります。そして、その目標を達成するためにチームで動くことでチーム一丸となりいいチームになることができると思います。

さらに亜細亜大学では、3月に国際大会を開催しています。国際大会を開催するのは簡単なことではありません。大会を開催するには学生たち自らが資金を調達し、会場設営から大会運営まで1年間の計画を立てて行います。国際大会を開催している他大学でも学生主体となつてすべての準備をしているのは亜細亜大学のみです。この活動は計画をし、行動を実践していく力に繋がるともいい機会になっています。又、学生も大会に参加する機会を持つことが出来、大会運営のみならず、日本のトップ選手との対戦や観戦を通じて身近に感じ、競技力の向上に繋がります。私自身も大会に出場し、プロ選手と対戦して技術的な差よりも経験の差を感じ、積極的に国際大会に出場するようになりました。又、試合前のブラクティスの相手をさせていただき、プロ選手の意識の高さを感じるだけでなく、練習メニューやアップの仕方、トレーニング、クールダウンの仕方も学ぶ機会にもなりました。国際大会を通じて、色々なことを学び、経験をして学生大会でその経験を発揮することもできました。最終的に満足する結果はだせていませんがこの経験がテニスのレベルアップになっているのは確かだと思います。

亜細亜大学ではたくさんの機会を得ることが出来ます。高校生の皆さん、一度、亜細亜大学に練習に来てみて下さい。一緒にテニスをしましょう！

高校生のころ、
勝てなかった相手に
勝てるようになりました。
亜細亜大学で
逆転しましょう。

松本千広

(亜細亜大学アジア女子ローンテニス部主将/4年)

入学案内

スポーツ推薦のご案内 (平成28年度)

亜 細亜大学のスポーツ推薦は「経営学部経営学科」「経営学部ホスピタリティマネジメント学科」「経営学部ホスピタリティマネジメント学科スポーツホスピタリティコース」「経済学部経済学科」「法学部法律学科」「国際関係学部国際関係学科」「国際関係学部多文化コミュニケーション学科」と「都市創造学部都市創造学科」の5学部7学科があります。

テニス部は来年度、「経済学部」「法学部」「国際

関係学部国際関係学科」「国際関係学部多文化コミュニケーション学科」の4つから選択することができます。(平成27年度)テニス部には「経済学部」「法学部」「国際関係学部」のほか、「経営学部」「短期大学部」の学生が在籍しています。

私たちの中には、スポーツ推薦入試だけでなく一般入試やAO入試、指定校推薦などで入学した学生もいます。みんなテニスが大好きな学生ばかりです。部員一同、みなさんの入部をお待ちしています。

亜細亜大学が求める学生像 募集するスポーツの技能に優れた将来性のある者

出願資格

- (1) 原則として、平成28年度3月に高等学校(中等教育学校卒業を含む)卒業見込みの者。ただし、高等学校に相当する課程を卒業見込みの者については、出願資格を審査の上、受験を認めることがある。
- (2) 本学への入学を第1希望とする者。
- (3) 調査書の全体の評定平均が2.7以上の者。
- (4) 高校総体、国体などの全国規模の大会に出場した選手および将来性のある優秀な選手。

出願期間

- ▼I期 平成27年10月27日(火)～11月5日(木)
 - ▼II期 平成28年1月8日(金)～1月15日(金)
- ※I期II期ともに郵便出願(締切日消印有効)

試験日

- ▼I期 平成27年11月22日(日)
- ▼II期 平成28年2月6日(土)

試験会場

本学

選抜方法

[第1次]実技・面接(I期は7月下旬から10月下旬、II期は11月下旬。ただし、II期については、募集しない種目もある)
[第2次](第1次合格者を対象)小論文・面接・書類審査の総合評価により、合否を判定する。

合格発表

- ▼I期 平成27年11月30日(月) 電話・webによる合否発表
- ▼II期 平成28年2月12日(金) 電話・webによる合否発表

入学手続期間

- ▼I期
[第1次手続]平成27年12月2日(水)～12月11日(金)
[第2次手続]平成28年1月5日(火)～1月25日(月)
- ▼II期 [一括手続]平成28年2月15日(月)～2月19日(金)

1 1995年卒業の宮地弘太郎です。私の同期には、昨年引退した本村剛一プロと2つ下に岩淵聡プロがおり、柳川高校時代から良きライバルでした。彼らはプロの道を選択し、私は大学進学を選択。亜細亜大学入学当初から、「大学テニスに留まらない競技生活を送る」ことをテーマに4年間を過ごしました。

なぜ亜細亜大学に進学したのか——亜大には日本のトップジュニアが多数在籍しており、大学を経由して世界を目指す集団、大学からプロを目指すというイメージが定着していたことに加え、大学テニスのパイオニアでもある堀内先生の「大学はさらなる飛躍に挑戦する場所であり、大学からグランドスラムに挑戦する」という考えに共感したからです。

卒業後、さまざまな企業のサポートを受け、約8年間プロテニス選手として、ATPランキング100位を目指し、世界を転戦しましたが、目標に到達することはできませんでした。

その後、28歳で現役を引退し、指導者の道へ進むことを決意しました。そこでの主たる研究テーマは、硬式テニス（球技/対人/ネットラケット型）のゲーム分析（エリート選手、大学生選手の技術や戦術の様相）や、競技特性に応じた体力組成の分析により効果的な指導方法論を導き出し、大学生選手の技術に関しては縦断的研究を行ない、ドリルの効果も検討していくことを目指しました。

選手から研究者へという転身は、テニス選手では珍しく、テニス漬けで過ごした私とその道に進むことに周りは驚いて

いましたが、当の本人は、これから新たな人生に向けて30歳手前ながら、胸ときめいていました。私の強みは、実体験で得た知見や、経験で培った実技ですが、現在大学テニスを指導する上でのテーマは、主観的コーチング+客観的コーチングです。テニスは日々進化し、トレーニング方法も年々変容してきています。現場+研究からの知見を学生にフィードバックし、大学生からでも世界を目指す環境整備や、大学テニスの醍醐味を学生に伝えていくことが私の使命ではないかと考えています。

近年、残念なことは高校生プレーヤー、大学生プレーヤーに夢がないことです。大学進学のための『テニス』ではなく、夢の実現のための『テニス』でしょう。私の夢は「日本のテニスを自分が変える！」ことでした。日本のテニスを変える＝大学出身者がグランドスラムに出場すること。そのためには、大学や国内一般の試合だけに留まらず、海外へトライし、さまざまなプレーヤーと対戦し、自分のスタイルを確立することです。いま日本のテニスは世界と拮抗しています。錦織圭選手、添田豪選手、伊藤竜馬選手と世界のトップ選手＝「テニスで飯が食える」時代に突入してきました。これは、先を見据えたJTAの強化活動の成果と思います。私はいまこそ、大学テニスプレーヤーがそこに食い込んでいく絶好のタイミングと考えています。

亜細亜大学時代に培われたもの——『考える』ことが『人間を成長させる』ことに繋がり、上達に『近道』はなく、強くなるには『人と違うこと』を『人の倍努力する』ということを学びました。高校生のみなさん、大学生活はあっという間です。『夢』を持って『夢』の実現に向けて精進してください。

学生時代の私の夢は“日本のテニスを変える!”ことでした。いまは大学出身者がグランドスラムに出場する——その夢をもって指導しています。

宮地弘太郎

(大阪体育大学専任准教授)

みやち・こうたろう◎1974年2月18日生まれ。広島県出身。柳川高校卒。91年インターハイ団体準優勝、単ベスト8、複ベスト4。92年亜細亜大学に入学。93、95年インカレ優勝。94年全日本準優勝。95年ユニバーシアード銅メダル獲得(27年ぶり)。卒業後プロ転向し、ジャパンオープン・ベスト16。99年全豪予選決勝敗退。元デ杯日本代表。ATP最高位は303位(98年7月)、JOP3位。03年に現役を引退し、日本体育大学大学院を経て、07年4月から現職。ユニバーシアード男子監督。S級エリートコーチ



仁木拓人

(三菱電機/
15年亜細亜大学国際オープン
テニスシングルス優勝)

にきたくと◎1987年10月12日生まれ。28歳。米国カリフォルニア州サンディエゴ出身。谷田部東中学、茨城県立竹園高校卒、立命館大学法学部卒。10年全日本テニス選手権シングルスベスト4。14年全日本選手権ダブルス優勝。15年深圳オープン本戦出場。ATP最高位278位(2015年3月)/ダブルス323位(2012年7月)

僕は小学校4年の時に趣味でテニスをしていた両親の影響でテニスを始めました。

幼い頃からテニスが好きでグラندスラム等の試合をテレビで見ながらそこで戦うことを夢見ていました。

ただ中学校卒業までは多くても週2〜3回の練習のみで、運良く周りの環境に恵まれ少しずつ全国大会でも戦績が開始しましたが優勝には遠い存在で、高校卒業時にはプロの道を選ぶ自信も無く、立命館大学に通いながら体育会には所属せずに大会を回ることになりました。

プロでもなく、大学の体育会でもない前例の少ないパターンで上を目指すことができるのか不安でしたが、自分自身はこの形が一番合うと思い挑戦することを決めました。

そういった形でツアーを回中、亜細亜大学には同世代の友人も多く、また堀内監督にサービスを教えて頂いたり、森コーチに練習をセッティングしていただいたり、亜細亜大学の皆様にはツアーを回り始めた頃からとてもお世話になっていました。

毎年チャリティークリニックを行い、また多くのスポンサーを集めていただき、地域と一体となって大会を開催して下さっていることを選手一同とても感謝しています。

堀内監督、森コーチを始めスタッフの皆様と学生のエネルギーのある亜細亜大学フューチャーズは僕の大好きなトーナメントの一つで、今回単複で優勝できてとても嬉しいです。

僕は決してジュニア時代から強かったエリート選手ではありません。

僕のような選手がこの優勝を機にさらにランキングを上げて、グラندスラム・オリンピックで活躍するという僕の夢を叶えることが、学生のみならず、この大会をプレーする若い選手やジュニア選手などに、また一つ新しい道を示すことに繋がると信じてより一層努力していきたいと思ひます。

今後もエネルギーの溢れる亜細亜大学らしい素晴らしい大会を是非継続して下さい!! 仁木拓人

岡村恭香

(クロスカンパニー/
15年亜細亜大学国際オープン
テニスシングルス準優勝)

おむらぎょうか◎1995年10月6日生まれ。20歳。岡山県倉敷市出身。京山中学校、高校2年まで富士見丘高校、高校3年から岡山学芸館高校海外留学コースへ編入。13年大阪市長杯世界スーパージュニアダブルス準優勝。14年GS YUASA OPEN2014シングルス準優勝、ダブルス優勝。WTA最高位シングルス314位(2015年9月)/ダブルス291位(2015年9月)

私が亜細亜大学国際オープンテニスに初めて出場したのは昨年のこと。初出場の2014年大会では予選決勝で敗退してしまい、惜しくも本戦出場はなりませんでした。

それから1年。昨年は自分のプレーで精一杯だった私も、今ではやっとプロ生活にも慣れ、今大会は本戦シード選手として亜細亜国際に帰ってくることができました。1年ぶりの亜細亜国際は、選手にとってプレーのしやすい大会を開催することに尽力してくださっていて、朝早くから夜遅くまで自分たちの練習時間を削りながらも懸命に運営をしていました。そのおかげでストレスも少なく、とても良い雰囲気の中大会期間を楽しむことができました。また、全ての選手の試合をビデオに撮ってすぐ渡して下さったお陰で、観に来られなかった家族やコーチに自分の試合を観てもらえることができただけでなく、素早く的確に反省する材料となり、次の試合に繋げることができました。この学生からの気遣いは、一人で大会に出場している選手にとっては大変嬉しいことだと思います。

決勝戦で対戦した台北のスー選手は、ジュニアの頃からの良きライバルでした。ジュニア時代を共にした仲間と再びプロの大会で戦えたことはとても嬉しかったです。今大会を経て、今後世界で戦っていくための新たな課題とそれを乗り越えていける自信を持つことができました。

また今回は選手としてだけでなく、講師としてテニスクリニックをさせていただきました。こういったイベントは初めての経験だったので不安ばかりでしたが、アシスタントの学生の支えもあって、とても良いものになったと思います。このクリニックを通して、いつも応援してくださっている方々への恩返しができたと共に、私の活動を知っていただき新たに応援して下さる方が増えた場となり、とても感謝しています。この経験でプロ選手としても成長できたと思います。

亜細亜大学国際オープンテニスは私にいつも新たな目標を与えてくださいます。また今日からの1年、昨年の自分に負けないようもっともっと努力して、来年こそ優勝を掴みとれるように頑張りたいと思ひます。



CONTENTS

- 大学案内**
02 武蔵野キャンパス 04 日の出キャンパス 06 平成28年度入学案内

PART 1 部活動紹介

- 03 挨拶～堀内昌一(亜細亜大学教授 / テニス部監督)
12 **部活ってすばらしい!** 14 テニス部主要Topics[年表]
16 過去(1988～)の主な戦績
亜細亜の部活
20 入学から卒業までの流れ
22 1年間の流れ
24 我々は本物のテニスを追求する。

PART 2 チーム紹介

- 05 挨拶～松本千広(4年/女子主将)
25 挨拶～森稔詞(亜細亜大学テニス部コーチ)
26 栗田充治学長挨拶 28 指導スタッフ紹介
宇田川裕部長、金子国彦部長挨拶
30 男女部員名簿 34 芦澤翔(1年)の1日
35 大西沙依(1年)の1日 36 「部員からひと言」高校生のみんなへ
38 **文武両道 ～学生は部活と授業の両立を目指す。**
学部紹介
40 法学部 辻本有佳里(3年)の場合 41 経済学部 土居祐太(3年)の場合
42 国際関係学部 足立菊華(2年)の場合 43 経営学部 近郷桃子(2年)の場合
43 短期大学部紹介
44 **大学に入って、こんなに変わりました!**
仲村元希(4年) / 松本千広(4年) / 田中亮寛(2年) / 田中文彩(2年) / 結城慎之介(2年)

PART 3 卒業後の進路

- 07 挨拶～宮地弘太郎(亜細亜大学テニス部OB)
48 2003年、亜細亜大学、メルボルンに行く。
「大学に行ったら世界に行けないなんて言わせない」
文◎吉松忠弘 記事提供◎テニスマガジン
50 **卒業生、それぞれの道**
岡本聖子 / 長谷川梨紗 / 宮崎靖雄
52 就職ガイダンス

PART 4 国際大会報告

- 09 参加選手を代表して～仁木拓人プロ(三菱電機)、岡村恭香プロ(クロスカンパニー)
54 **2015国際大会開催レポート**
[男子]亜細亜大学国際オープン [女子]亜細亜大学国際女子オープン
58 歴代優勝者一覧
60 2015国際大会 男女予選、本戦、WC選手権結果
68 私たちはこうやって大会を作りました
第1回亜細亜大学国際オープン2007『国際大会開催までの全記録』
72 ご協賛いただきました皆様
76,77 **日の出に世界がやってきた。** 文◎武田 薫 記事提供◎テニスマガジン
78 亜細亜大学主催 チャリティクリニックのお知らせ
80 参加者の声
82 亜細亜大学国際オープン2016大会告知

2015 亜細亜大学 テニス部

チームガイド
TEAM GUIDE



国際大会開催報告
REPORT

◎ここに掲載する記事、写真、および図版の無断転載を厳禁します。

STAFF

●Editorial supervisor
堀内昌一 Shoichi Horiuchi
森 稔詞 Toshitsugu Mori

●Editor in chief
松本千広(4年) Chihiro Matsumoto

●Editor
大塚陽平(3年) Yohei Otsuka
辻本有佳里(3年) Yukari Tsujimoto
梅岡優大(2年) Yudai Umeoka

●Design
泰司デザイン事務所 Taizi Design Office
パグオデザイン PAGUO DESIGN

●Printing
株式会社 文伸 Bunshin Corporation



Editor's MEMO

●今年でアジパンの作成は3年目となりました。今年は主将になり、それに加えて就職活動をする年でもあったのですが、上手く時間を使って編集に携われて良かったです。今年はフューチャーズの記事に力を入れたので、ぜひぜひ見てください!(松本/写真左下)

●今年でアジパンの作成は2年目でした。今年担当したのは、学部紹介とフューチャーズの結果です。試合の時期とも重なり作成がとても大変でしたが、全員と協力して完成させることができて良かったです。(大塚/写真左上)

●今回で2回目のアジパン作成となりました。今回は新企画を無くし、ページ編成も昨年とは変えた部分が多かったため大変なことも多かったのですが、無事に完成して良かったです。国際大会のページもレイアウトを変えて見やすくしたので、ぜひ多くの人に読んで欲しいです!(辻本/写真右下)

●今年初めてアジパンの作成に関わらせていただきました。自分が主に作成したところは部員プロフィールのページです。これを作成したことにより部員の考えが分かりました。部活の仕事やテニスと同時進行するのは大変でしたが、無事に完成させることができて良かったです。(梅岡/写真右上)



大学に勤めて25年になります。最近では教え子の結婚式に毎月のように招待されるような歳になりました。ひと回りもふた回りも大きくなった教え子の成長を見るたびに、ただ驚くばかりです。そこには同期たちも集まっていますから、その成長ぶりにも驚かされています。

あれほどやんちゃだった学生時代からは想像もできないくらい、社会でもまれ、成長した姿を見るにつけ、たった4年の間だったけれど、ともに過ごした時間のありがたさを感じています。同期や同僚たちが披露するエピソードを聞き、スナップ写真を見て、当時を思い出し、私はうなずくばかりです。

入学式に卒業式、そして結婚式と、繰り返される“集合写真”こそ、まさに“部活”の証。それぞれが真剣にテニスに取り組み、いっしょに戦ってきたからこそ迎えられる瞬間だと思います。その当時は、そんな未来を想像することもできなかったでしょうが、大人になり、みんなで再び顔を合わせたときに、“部活”のすばらしさを感じてくれていると私は確信しています。

“部活”は一見ややこしそうですが、実はとてもシンプルなものです。

私はいつも学生たちに「できるまでやれ」と指導しています。課題を与えると、すぐにできるヤツ、すぐにできないヤツ、まったくできないヤツに、できるまでやろうとしないヤツと、さまざまですが、いずれに対しても“部活”は容赦しません。ヒントは与えますが、答えは自分で見つけなければならないのです。私が答えをあげることはありません。答えを見つけるのは自分。見つけるまでにはおそらく相当な時間がかかります。でも、“待つこと”も私の仕事。そうしているうち、失敗してしまうこともしばしばありますが、それでもいいと思っています。失敗が教えてくれるものもある。それがまた、大きな財産となるからです。

コートにはコーチと部員がいますが、最終的

には、部員自身が課題を解決する力を身につけなければ意味がないと思っています。課題や目標を達成するために必要となるのは、自身の力であるとともに、重要なのは仲間の力。そのことに気づき、みんなで結束してこそ、乗り越えられるものがあることにも気づいてほしいのです。そのことに気づき、その力の大きさを知ったときに、喜びを分かち合える関係になります。ひとりでは到底できないことにも、みんなの力を合わせれば必ず近づくことができる、達成できる。私はそれが“部活”だと思います。

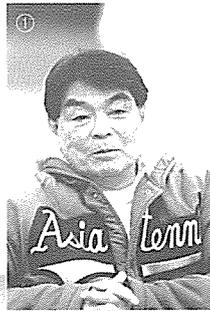
部活って、本当にすばらしい！ 高校生諸君、私たち亜細亜大学でいっしょに部活をやろう！

文◎堀内昌一

高校生諸君、私たち亜細亜大学でいっしょに部活をやろう！
部活
すばらしい！

高校生諸君、私たち亜細亜大学でいっしょに部活をやろう！

亜細亜大学テニス部

過去27年間の
主要Topics

衛藤清吉学長



93年、UCLAへ。堀内監督の隣りの女性はヒート・サンプラス姉

1987年(昭和62年)

- ・衛藤清吉学長就任(1987-95年)。一芸入試を導入。(写真①)
- ・堀内昌一が講師およびテニス部監督に就任。

1988年(昭和63年)

- ・男子7部リーグ優勝/6部リーグ昇格 ・女子5部リーグ3回戦敗退

1989年(平成元年)

- ・男子6部リーグ優勝/5部昇格 ・女子5部リーグ優勝/4部昇格
- ・亜大初となる全国タイトル。インカレ・インドアで山崎史子が単優勝。
- ・アメリカプログラム(AUAP/正規単位取得型の留学プログラム)開始。

1990年(平成2年)

- ・男子5部リーグ優勝/4部昇格 ・女子4部リーグ優勝/3部昇格
- ・男子初となる全国タイトル。インカレ単優勝・森稔詞、複優勝・岡田岳二/坂口雄二。
- ・国際関係学部国際関係学科開設。

1991年(平成3年)

- ・男子4部リーグ優勝/3部昇格 ・女子3部リーグ優勝/2部昇格
- ・日の出トレーニングセンター完成。
- ・海外のITFサーキットに岡田・森・高田の3名が参戦。約4ヶ月間、オーストラリア・アメリカ・韓国を回る。そこで亜大生初となるATPポイントを獲得(岡田3ポイント、森1ポイント)。
- ・第16回ユニバーシアード(イギリス)日本代表選手に森、伊東新、山崎、赤堀奈緒の4名が選ばれる。また堀内昌一監督も日本代表コーチに就任。

1992年(平成4年)

- ・男子3部リーグ優勝/2部昇格 ・女子2部リーグ優勝/1部昇格
- ・ITFサーキットに単身、宮地弘太郎が遠征(フィリピン)。ATP3ポイント獲得。
- ・女子初となるインカレ・タイトルを獲得。赤堀が単優勝。

1993年(平成5年)

- ・男子2部リーグ優勝/1部リーグ昇格
- ・女子1部リーグ初優勝/女子王座初優勝(写真②)
- ・全米遠征(93年~97年)で、強豪大学(USC/UCLA/スタンフォード大など)と対抗戦。(写真③)
- ・第17回ユニバーシアード(アメリカ)で赤堀が平木理化(青学)とのペアで銀メダル獲得。
- ・日本経済短期大学と亜細亜大学が統合、亜細亜大学短期大学部開設。

1994年(平成6年)

- ・男子1部リーグ初優勝/大学王座初優勝(写真④)
- ・女子1部リーグ優勝2連覇/大学王座3位
- ・関東1部リーグで初のアベック優勝。
- ・全日本選手権複で、佐藤博康/駒田政史が学生として33年ぶりに優勝。(写真⑤)

1995年(平成7年)

- ・男子1部リーグ優勝2連覇/大学王座2連覇
- ・女子1部リーグ優勝3連覇/大学王座3位
- ・関東1部リーグで2度目のアベック優勝。
- ・全日本選手権男子単で宮地が決勝進出。
- ・第18回ユニバーシアード(福岡)男子単で宮地が27年ぶりに銅メダルを獲得。
- ・ジャパンオープン男子単で宮地が3回戦進出(ベスト16)。

1996年(平成8年)

- ・男子1部リーグ優勝3連覇/大学王座準優勝
- ・女子1部リーグ優勝4連覇/大学王座準優勝
- ・関東1部リーグで3度目のアベック優勝。

1997年(平成9年)

- ・男子1部リーグ優勝4連覇/大学王座準優勝
- ・女子1部リーグ優勝5連覇/大学王座2度目の優勝
- ・関東1部リーグで4度目のアベック優勝。

93年、女子が大学王座初制覇





94年、男子が初の大学王座日本一

・第19回ユニバーシアード(イタリア)女子複で岡本聖子が銅メダル獲得。

1998年(平成10年)

- ・男子1部リーグ優勝5連覇/大学王座4位
- ・女子1部リーグ優勝6連覇/大学王座2連覇達成(3度目の優勝)
- ・関東1部リーグ5度目のアベック優勝。
- ・コーチ帯同で3週間、岡本聖子がアメリカのITFサーキットに参戦。(写真⑥)

1999年(平成11年)

- ・男子1部リーグ準優勝/大学王座準優勝
- ・女子1部リーグ優勝7連覇/大学王座3位
- ・ITFサーキット(アメリカ/メキシコ)参戦。
- ・第20回ユニバーシアード(スペイン)の日本代表監督に堀内昌一が就任。

2000年(平成12年)

- ・男子1部リーグ6度目の優勝/大学王座準優勝
- ・女子1部リーグ8連覇/大学王座準優勝
- ・関東1部リーグは6度目のアベック優勝。

2001年(平成13年)

- ・男子1部リーグ準優勝/大学王座3位
- ・女子1部リーグ4位(関東リーグ9連覇ならず)

2002年(平成14年)

- ・男子1部リーグ3位
- ・女子1部リーグ9度目の優勝/大学王座3位
- ・テニス部専任コーチにOBの森稔詞就任。

2003年(平成15年)

- ・男子1部リーグ7度目の優勝/大学王座3位
- ・女子1部リーグ10度目の優勝(写真⑦)/大学王座4位
- ・関東1部リーグ7度目のアベック優勝。
- ・四大大会のひとつ、オーストラリアン・オープン観戦遠征を開始。以来、有志を募っての恒例行事に。

・韓国体育大学と合同合宿。韓国と日本を交互に遠征(03年~06年)

2004年(平成16年)

- ・男子1部リーグ5位/1部残留 ・女子1部リーグ準優勝/大学王座4位
- ・関東リーグで5位となった男子は、初の2部との入れ替え戦へ。勝利して1部残留が決定。
- ・テ杯日本代表チームのオーストラリア合宿に宮崎靖雄が参加。

2005年(平成17年)

- ・男子1部リーグ6位/1部残留
- ・女子1部リーグ準優勝/大学王座4位
- ・関東リーグで6位の男子は2度目の2部との入れ替え戦へ。勝利し、1部残留。
- ・テ杯日本代表チームのオーストラリア合宿に、男子は比嘉明人、女子は遠藤真理子と高橋令が参加。ボブ・ブレットコーチの指導を仰ぐ。

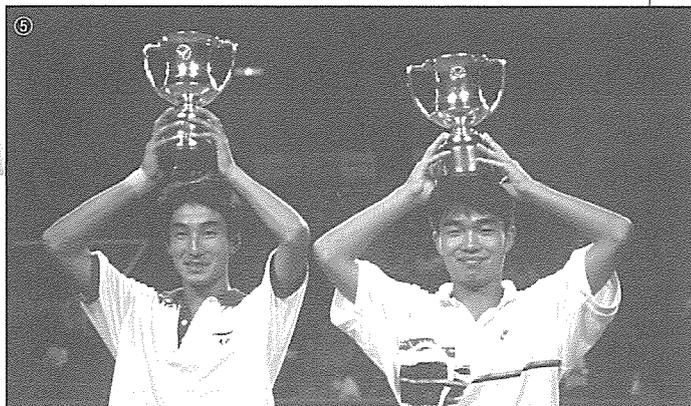
2006年(平成18年)

- ・男子1部リーグ5位/1部残留 ・女子1部リーグ準優勝/大学王座準優勝
- ・関東リーグで5位の男子は、3度目の2部との入れ替え戦へ。勝利し、1部残留。
- ・オーストラリアン・オープン観戦遠征。
- ・コーチ帯同で3週間、オーストラリアのITFサーキットに参戦。

2007年(平成19年)

- ・男子1部リーグ4位 ・女子1部リーグ3位
- ・男子フューチャーズ『第1回亜細亜大学国際オープン』(1万ドル)を開催。篠川智大が本戦1回戦に勝利し、ATP1ポイントを獲得。
- ・国際大会開催にあたり、『チャリティーテニスクリニック』を始める。収益のすべてを運営費に充て、年間20回を目標に開催。
- ・アメリカプログラム(AUAP)の参加学生数が1万人突破。
- ・ユニバーシアード(バンコク)の日本代表監督に森稔詞が就任。
- ・堀内昌一助教授が教授に昇格。
- ・テニス部強化に尽力を注いだ元学長、衛藤瀧吉先生逝去。享年84才。

94年、全日本男子ダブルス制覇の佐藤博康/駒田政史



98年、インカレを制した岡本聖子





03年、10度目の関東リーグ優勝

2008年(平成20年)

- ・男子1部リーグ4位 ・女子1部リーグ準優勝/大学王座準優勝
- ・第2回男子フューチャーズ開催。
- ・スポーツケア・アローズと年間50日間の専属トレーナー契約を交わす。

2009年(平成21年)

- ・男子1部リーグ4位 ・女子1部リーグ6位/2部降格
- ・関東リーグで6位の女子は、初の2部との入れ替え戦へ。最後はエース宮本紗織が敗れて、2部降格へ。1989年に5部で優勝してから王座優勝、その後は常勝し、1部を死守してきたが、ついに力尽きる。
- ・第3回男子フューチャーズ開催。

2010年(平成22年)

- ・男子1部リーグ5位/1部残留 ・女子2部リーグ優勝/1部昇格
- ・関東リーグで6位の男子は、4度目の2部との入れ替え戦へ。勝利し、1部残留。
- ・関東リーグ2部で優勝の女子は、1部との入れ替え戦で日本大学に勝利し、1部復帰。
- ・全日本選手権・混合複で篠川智大(ノ瀬間詠里花プロ)が初優勝。
- ・第4回男子フューチャーズ開催。
- ・森コーチ帯同で、ポルトガルのITF女子サーキットに3週間遠征。メンバーは宮本紗織・荒木史織・山本翔子。
- ・新しい部室が完成。

2011年(平成23年)

- ・男子1部リーグ6位/1部残留 ・女子1部リーグ準優勝/大学王座準優勝
- ・関東リーグ6位の男子は、5度目の2部との入れ替え戦へ。勝利し、1部残留。
- ・全日本選手権・混合複で篠川智大(ノ田中真梨プロ)が2連覇。
- ・第5回男子フューチャーズ開催も、予選サイン当日に東日本大震災が起きる。予選を消化するも、ITF、JTA、春のフューチャーズシリーズ大会ディレクターらと協議の結果、大会中止を決定。
- ・亜細亜大学建学70周年。
- ・テニス部創部50周年。

明治との入替戦勝利後1部残留



- ・部室前に駐車場が完成。

2012年(平成24年)

- ・男子と並び、女子サーキット『第1回亜細亜大学国際女子オープン』(1万ドル)を開催。伊波佳苗が単ベスト8進出。
- ・第6回男子フューチャーズ開催。
- ・男子1部リーグ6位/1部残留 ・女子1部リーグ4位
- ・関東リーグ6位の男子は、6度目の2部との入れ替え戦へ。勝利し、1部残留。
- ・亜細亜大学文部科学省「グローバル人材育成推進事業」採択

2013年(平成25年)

- ・男子1部リーグ5位/2部降格 ・女子1部リーグ4位
- ・関東リーグ5位の男子は7度目の2部との入れ替え戦へ。敗北し、1994年から続いた1部から降格する。
- ・亜細亜大学新5号館完成
- ・第7回男子フューチャーズ開催。
- ・第2回亜細亜大学国際女子オープン開催。山本翔子が単ベスト8進出。

2014年(平成26年)

- ・第8回フューチャーズ開催。
- ・第3回亜細亜大学国際女子オープン開催。
- ・1年生の田中亮寛がインカレ単ベスト8
- ・男子2部リーグ2位で1部リーグとの入れ替え戦へ。惜しくも敗北し2部残留。/女子1部リーグ5位で2部リーグとの入れ替え戦へ。勝利し1部残留。

2015年(平成27年)

- ・第9回フューチャーズ開催。主将の仲村元希が1回戦勝利し、初のATPポイント獲得。
- ・第4回亜細亜大学国際女子オープン開催。
- ・軽井沢フューチャーズで田中亮寛が初のATP獲得。単ベスト8
- ・亜細亜大学の食堂、アジアプラザ完成。
- ・男子2部リーグ1位で1部リーグとの入れ替え戦へ。勝利し1部昇格。(写真⑧)/女子1部リーグ6位で2部リーグとの入れ替え戦へ。勝利し1部残留(写真⑨)。

日大との入替戦勝利後1部復帰昇格



亜細亜大学テニス部 過去(1988年~)の主な戦績



関東大学テニスリーグ& 全日本大学対抗テニス王座決定試合

年度	関東大学リーグ		大学王座	
	男子	女子	男子	女子
1988年(昭和63年)	6部昇格	5部		
1989年(平成元年)	5部昇格	4部昇格		
1990年(平成2年)	4部昇格	3部昇格		
1991年(平成3年)	3部昇格	2部昇格		
1992年(平成4年)	2部昇格	1部昇格		
1993年(平成5年)	1部昇格	優勝		優勝
1994年(平成6年)	優勝	優勝	優勝	3位
1995年(平成7年)	優勝	優勝	優勝	3位
1996年(平成8年)	優勝	優勝	準優勝	準優勝
1997年(平成9年)	優勝	優勝	準優勝	優勝
1998年(平成10年)	優勝	優勝	4位	優勝
1999年(平成11年)	準優勝	優勝	準優勝	準優勝
2000年(平成12年)	優勝	優勝	準優勝	準優勝
2001年(平成13年)	準優勝	4位	3位	
2002年(平成14年)	3位	優勝	3位	3位
2003年(平成15年)	優勝	優勝	3位	4位
2004年(平成16年)	5位	準優勝	4位	
2005年(平成17年)	6位	準優勝	4位	
2006年(平成18年)	5位	準優勝	準優勝	
2007年(平成19年)	4位	3位		
2008年(平成20年)	4位	準優勝	準優勝	
2009年(平成21年)	4位	2部降格		
2010年(平成22年)	5位	1部昇格		
2011年(平成23年)	6位	準優勝		準優勝
2012年(平成24年)	6位	4位		
2013年(平成25年)	2部降格	4位		
2014年(平成26年)	2部1位	1部5位		
2015年(平成27年)	1部昇格	1部6位		

関東大学テニスリーグ 女子硬式庭球部歴代記録

年度	成績	インカレ人数
S63年度	6部昇格	
H元年度	5部昇格	1人
H2年度	4部昇格	2人
H3年度	3部昇格	11人
H4年度	2部昇格	8人
H5年度	1部昇格	8人
H6年度	優勝	4人
H7年度	優勝	10人
H8年度	優勝	8人
H9年度	優勝	6人
H10年度	優勝	9人
H11年度	優勝	6人
H12年度	優勝	5人
H13年度	優勝	5人
H14年度	4位	4人
H15年度	優勝	4人
H16年度	優勝	8人
H17年度	準優勝	11人
H18年度	準優勝	7人
H19年度	3位	5人
H20年度	準優勝	7人
H21年度	2部降格	7人
H22年度	1部昇格	6人
H23年度	準優勝	8人
H24年度	4位	3人
H25年度	4位	4人

全日本学生テニス選手権大会&全日本学生室内テニス選手権大会 出場人数

年度	インカレ				インカレインドア			
	男子出場人数		女子出場人数		男子出場人数		女子出場人数	
	S	D	S	D	S	D	S	D
1989年(平成元年)	3人	2組	1人		3人	1組	1人	
1990年(平成2年)	3人	2組	1人	1組	3人	2組	2人	2組
1991年(平成3年)	3人	4組	6人	4組	4人	4組	2人	2組
1992年(平成4年)	5人	4組	2人	4組	1人	1組	3人	4組
1993年(平成5年)	10人	5組	7人	3組	2人	3組	2人	2組
1994年(平成6年)	7人	5組	3人	2組	3人	1組	2人	2組
1995年(平成7年)	6人	3組	8人	3組	1人	1組	2人	1組
1996年(平成8年)	6人	2組	7人	3組	1人	1組	2人	1組
1997年(平成9年)	4人	3組	6人	1組	3人	1組	5人	1組
1998年(平成10年)	5人	2組	6人	4組			2人	2組
1999年(平成11年)	5人	4組	4人	2組	2人	2組	1人	1組
2000年(平成12年)	6人	4組	5人	3組	1人	1組	2人	
2001年(平成13年)	4人	1組	4人	2組	1人	1組	2人	2組
2002年(平成14年)	5人	3組	4人	2組	3人	1組	3人	2組
2003年(平成15年)	4人	2組	4人	2組	1人	1組	2人	1組
2004年(平成16年)	2人	4組	4人	4組	2人		1人	2組
2005年(平成17年)	3人	2組	7人	5組	1人		2組	
2006年(平成18年)	5人	2組	7人	3組	1人		1人	2組
2007年(平成19年)	7人	1組	5人	3組	2人		2人	1組
2008年(平成20年)	5人	3組	6人	2組	3人	1組	1人	
2009年(平成21年)	6人	3組	5人	2組	2人	1組	1人	1組
2010年(平成22年)	6人	4組	6人	3組			1組	3人
2011年(平成23年)	2人	1組	7人	4組			1組	2人
2012年(平成24年)	3人		3人	1組			1組	2人
2013年(平成25年)	2人		4人	2組				
2014年(平成26年)	2人	2組	1人	なし	2人	2組	1人	なし
2015年(平成27年)	2人	1組	4人	1組	出場者	なし	4人	1組

個人戦績

年度	出場選手	インカレ		インカレインドア		
		S	D	S	I	D
1989年 平成元年	男子	坂口雄二	準優勝	ベスト16	1R	
		森 稔詞	ベスト8	ベスト4	1R	
		岡田岳二	ベスト16		ベスト8	ベスト4
		高田 充		ベスト4		
		桜井和人		ベスト16		ベスト4
1990年 平成2年	女子	山崎史子	ベスト4		優勝	
	男子	森 稔詞	優勝	ベスト4		
		岡田岳二	ベスト4	優勝	ベスト16	ベスト8
		坂口雄二	ベスト8	優勝	ベスト16	ベスト8
		高田 充				ベスト8
1991年 平成3年度	女子	山崎史子	準優勝	準優勝	優勝	ベスト8
		三輪陽子		準優勝		1R
		赤堀奈緒			ベスト8	1R
		石田恵子				準優勝
	男子	森 稔詞	優勝	優勝	準優勝	準優勝
	伊東 新	準優勝	ベスト16	優勝	ベスト4	
	高田 充	ベスト16	ベスト4	ベスト16	ベスト4	
	岡田岳二		優勝		準優勝	

年度	出場選手	インカレ	インカレ		インカレインドア	
			S	D	S	D
	駒田政史			ベスト4		
	城間和人			ベスト4		準優勝
	須藤陽史			ベスト4		ベスト8
	坂口雄二			ベスト16	ベスト8	ベスト8
	佐藤博文					
	佐藤博康					ベスト16
	赤堀奈緒	ベスト4	優勝	優勝	優勝	ベスト16
	山崎史子	ベスト8	優勝	準優勝	優勝	
	三輪陽子	ベスト32			優勝	
	釣 雅美	ベスト32				ベスト4
	萱高奈穂	ベスト32				
	土方千代	ベスト32	ベスト16			
	北野由美		ベスト8			
	辻麻千香		ベスト8			
	斎藤裕子		ベスト16			
	井上朋子		ベスト16			
	浅見玲子		ベスト16			
	石田恵子					
1992年 平成4年度	男子	伊東 新	準優勝	ベスト16	ベスト8	ベスト4
		宮地弘太郎	ベスト8			
		佐藤博康	ベスト16	ベスト4		
		駒田政史	ベスト32			ベスト4
		馬越浩也	ベスト32			
		鈴木 潤				準優勝
		久田英登				準優勝
		佐藤博文				ベスト4
		城間和人				ベスト16
		須藤陽史				ベスト16
		紀 有二				ベスト16
	女子	赤堀奈緒	優勝	準優勝	優勝	
		石田恵子	ベスト4	準優勝	ベスト4	優勝
		浅見玲子		ベスト4		優勝
		土方千代		ベスト4		ベスト4
		三輪陽子		ベスト8	ベスト8	ベスト4
		石田友子		ベスト8		準優勝
		廣津文子		ベスト8		準優勝
		萱高奈穂		ベスト8		
		斎藤裕子				
		釣 雅美				ベスト8
1993年 平成5年度	男子	宮地弘太郎	優勝	ベスト8		ベスト8
		伊東 新	準優勝	ベスト8		
		馬越浩也	ベスト4	ベスト16	ベスト4	
		佐藤博康	ベスト4	準優勝		2R
		土屋哲史	ベスト16	ベスト16	ベスト8	2R
		酒井俊亮	ベスト16			2R
		久田英登	ベスト32	ベスト8		
		竹下和史	ベスト32			
		水島 亮	ベスト32			
		紀 有二	ベスト32			
		駒田政史		準優勝	ベスト8	
		須藤陽史		ベスト4		2R
		城間和人		ベスト4		本戦
		鈴木 潤		ベスト8		本戦
	女子	赤堀奈緒	準優勝			
		吉田亜梨	ベスト8	ベスト8	本戦	
		土方千代	ベスト16	ベスト16		
		釣 雅美	ベスト16			本戦
		辻麻千香	ベスト32	ベスト16		本戦
		常盤 安	ベスト32	ベスト16	ベスト8	本戦
		大竹山映映	ベスト32	ベスト8		
		浅見玲子		ベスト16		
1994年 平成6年度	男子	伊東 新	優勝	ベスト4		本戦
		宮地弘太郎	準優勝	ベスト4		
		馬越浩也	ベスト4	ベスト8	ベスト8	
		土屋哲史	ベスト16	ベスト8	ベスト8	
		竹下和史	ベスト16	準優勝		
		酒井俊亮	ベスト32			
		佐藤博康	ベスト32	ベスト4		
		山下大介		準優勝	優勝	準優勝
		駒田政史				
		久田英登		ベスト16		準優勝
		杉田光徳		ベスト16		

PART 1 部活動紹介

年度	出場選手	インカレ		インカレインストア			
		S	D	S	D		
1995年 平成7年度	女子	須藤陽史					
		城間和人					
		吉田亜梨	準優勝	準優勝	本戦		
		常盤 安	ベスト8	準優勝	2R	準優勝	
		土方千代	ベスト32	ベスト8		準優勝	
		石田玲奈		ベスト8		優勝	
		山岸尚子				優勝	
	男子	高梨清乃					
		宮地弘太郎	優勝	ベスト16			
		竹下和史	ベスト8	優勝			
		馬越浩也	ベスト8	ベスト16			
		山下大介	ベスト16	優勝	2R		
		酒井俊亮	ベスト16	ベスト8			
		紀 有二	ベスト32				
1996年 平成8年度	男子	土屋哲史		ベスト8			
		橋本吉弘					
		越智 亘				優勝	
		横井佑未	ベスト4			優勝	
		吉田亜梨	ベスト8	ベスト4	2R		
		坂井美紗江	ベスト16				
		小沢 愛	ベスト16	ベスト16	ベスト4		
	女子	中川 彩	ベスト16			優勝	
		石田玲奈	ベスト32	ベスト16			
		常盤 安	ベスト32			優勝	
		柴田孝子	ベスト32	ベスト16			
		常盤 安	ベスト32	ベスト4			
		高梨清乃	ベスト32	ベスト16			
		芳野 猛	ベスト16				
1997年 平成9年度	男子	越智 亘	ベスト32	ベスト16			
		山下大介	ベスト32	ベスト4		準優勝	
		橋本吉弘	ベスト32	ベスト16			
		横井佑未	ベスト4				
		常盤 安	ベスト8	優勝			
		中川 彩	ベスト16				
		吉田亜梨	ベスト32	ベスト4	ベスト4		
	女子	小沢 愛	ベスト32	ベスト8	ベスト4		
		石田玲奈	ベスト32	ベスト8		優勝	
		片倉 恵		優勝		優勝	
		竹下順二	ベスト16		本戦		
		吉川真司	ベスト16				
		越智 亘	ベスト32				
		橋本吉弘	準優勝	準優勝	本戦	ベスト4	
1998年 平成10年度	男子	芳野 猛		ベスト16		ベスト4	
		白田 学		ベスト16		ベスト4	
		鈴木広幸		ベスト16			
		駒形亮介		ベスト16			
		岡本聖子	準優勝		本戦		
		横井佑未	ベスト8		優勝		
		田口景子	ベスト16	優勝	本戦		
	女子	久保陽子	ベスト16			ベスト4	
		木根潤晶子	ベスト16		本戦		
		片倉 恵	ベスト32	優勝	2R		
		吉川真司	ベスト16	ベスト16		ベスト4	
		竹下順二	ベスト16				
		鈴木道広	ベスト32				
		石浦純一	ベスト32	ベスト16			
1999年 平成11年度	男子	相原 玲	ベスト32				
		石神理貴		ベスト8			
		辻 雄馬		ベスト8			
		岡本聖子	優勝	優勝	ベスト8		
		木根潤晶子	ベスト4		ベスト4	優勝	
		横井佑未	ベスト16	ベスト16		ベスト4	
		田口景子	ベスト16	優勝	ベスト8	優勝	
	女子	金井奈央子	ベスト16	ベスト8			
		片倉 恵	ベスト32	ベスト8			
		永井圭子		ベスト16			
		森井景子		ベスト16			
		坂井美紗江		ベスト16			

年度	出場選手	インカレ		インカレインストア			
		S	D	S	D		
1999年 平成11年度	男子	堀川奈緒子					
		石浦純一	ベスト16	ベスト16		ベスト4	
		石神理貴	ベスト16	ベスト16	優勝	優勝	
		三好 勲	ベスト16		本戦		
		辻 雄馬	ベスト32	ベスト16			
		国吉智規	ベスト32			本戦	
		朴 潤九		ベスト16	2R		
	女子	吉川真司		ベスト16	ベスト4	本戦	
		菊池 恒		ベスト16		優勝	
		宮下知朗		ベスト16			
		山下智史		ベスト16			
		岡本聖子					
		田口景子	準優勝	準優勝	本戦	準優勝	
		金井奈央子	ベスト16			準優勝	
2000年 平成12年度	男子	片倉 恵	ベスト32	準優勝			
		飯田京子	ベスト32				
		川野美季		ベスト16			
		中川 麗		ベスト16			
		石神理貴	ベスト4	ベスト8	2R		
		吉川真司	ベスト4		準優勝		
		三好 勲	ベスト16	ベスト32	2R	ベスト4	
	女子	大迫幸輝	ベスト32				
		朴 潤九	ベスト32	ベスト8			
		宮崎靖雄	ベスト32	ベスト8			
		辻 雄馬		ベスト8			
		後藤光弘		ベスト8			
		石浦純一	準優勝	優勝	ベスト4	ベスト4	
		田口景子	ベスト16	優勝			
2001年 平成13年度	男子	金井奈央子	ベスト16	優勝			
		平田育子	ベスト16	2R			
		水野衣里子	ベスト16	本戦			
		五藤かおり	ベスト32	2R	本戦		
		宮崎靖雄	ベスト4	準優勝	ベスト8		
		朴 潤九	ベスト8	準優勝		本戦	
		国吉智規	ベスト32			本戦	
	女子	比嘉明人	ベスト32				
		北崎悦子	ベスト4		準優勝		
		金井奈央子	ベスト16	ベスト4		本戦	
		平田育子	ベスト16	ベスト4	本戦		
		水野衣里子	ベスト32	ベスト4		準優勝	
		五藤かおり	ベスト4	ベスト4		本戦	
		宮崎靖雄	ベスト4	準優勝	優勝	準優勝	
2002年 平成14年度	男子	比嘉明人	ベスト8				
		国吉智規	ベスト16	準優勝	準優勝		
		中川 亮	ベスト32	ベスト16		準優勝	
		乾祥一郎	ベスト32	ベスト16			
		後藤光弘		ベスト16			
		大山謙一		ベスト16			
		平田育子	準優勝	ベスト16	ベスト4		
	女子	北崎悦子	ベスト8	ベスト4	ベスト8		
		五藤かおり	ベスト16	ベスト16		ベスト4	
		水野衣里子	ベスト16	ベスト4	ベスト8	ベスト4	
		宮崎靖雄	準優勝	ベスト8		準優勝	
		比嘉明人	ベスト8		ベスト8		
		中川 亮	ベスト32	ベスト8			
		乾祥一郎	ベスト32			本戦	
2003年 平成15年度	男子	後藤光弘		ベスト8			
		大山謙一		ベスト8			
		水野衣里子	ベスト4	ベスト8	ベスト8	本戦	
		平田育子	ベスト8	ベスト32		優勝	
		北崎悦子	ベスト8	ベスト8			
		五藤かおり	ベスト16	ベスト32		優勝	
		比嘉明人	ベスト16	ベスト16	ベスト8		
	女子	乾祥一郎	ベスト16	ベスト16	ベスト8		
		大山謙一	ベスト16	ベスト16			
		平良和己	ベスト16	ベスト16			
		垣内崇寛	ベスト16	ベスト16			
		小松優介	ベスト16	ベスト16			
		佐地竜介	ベスト32				
		古城泰裕	ベスト32				
2004年 平成16年度	男子	北崎悦子	ベスト16	ベスト16	ベスト16		
		津布久萌	ベスト16	ベスト32		ベスト8	
		水野衣里子	ベスト8	ベスト8			
		平田育子	ベスト8	ベスト32			
		北崎悦子	ベスト8	ベスト8			
		五藤かおり	ベスト16	ベスト32			
		比嘉明人	ベスト16	ベスト16	ベスト8		
	女子	乾祥一郎	ベスト16	ベスト16	ベスト8		
		大山謙一	ベスト16	ベスト16			
		平良和己	ベスト16	ベスト16			
		垣内崇寛	ベスト16	ベスト16			
		小松優介	ベスト16	ベスト16			
		佐地竜介	ベスト32				
		古城泰裕	ベスト32				

年度	出場選手	インカレ		インカレインドア		
		S	D	S	D	
2005年 平成17年度	男子	安田紘子	ベスト32	ベスト32		ベスト4
		川崎光美	ベスト32	ベスト16		
		上條いずみ		ベスト16		
		原由紀代		ベスト32		
		森 美紀		ベスト16		ベスト4
		高橋 令		ベスト32		ベスト8
		富田真吉	ベスト32		ベスト8	
		大塚真之助	ベスト64			
		佐地竜介	ベスト128	ベスト16		
		古城泰裕		ベスト16		
	村居誠悟		ベスト32			
	新谷 啓		ベスト32			
	女子	森 美紀	ベスト16	優勝		
		原由紀代	ベスト32	ベスト16		ベスト4
		川崎光美	ベスト32	ベスト64		ベスト8
津布久萌		ベスト64	ベスト16			
高橋 令		ベスト64	ベスト16		ベスト8	
2006年 平成18年度	男子	坪奈津美	ベスト128	優勝		
		遠藤真理子		ベスト64		ベスト4
		土屋奈夏		ベスト32		
		角田良美		ベスト8		
		富田真吉	ベスト16		ベスト16	
		大塚真之助	ベスト32			
		牛田敦之	ベスト32			
		新谷 啓	ベスト64	ベスト32		
		小出侑門	ベスト64			
		佐地竜介		ベスト8		
	古城泰裕		ベスト8			
	女子	高橋 隼		ベスト32		
		森 美紀	ベスト64	ベスト16		
		津布久萌	ベスト32	ベスト16		ベスト4
		高橋 令	ベスト32	ベスト16		準優勝
坪奈津美						
2007年 平成19年度	男子	土屋奈夏	ベスト16	ベスト16		ベスト4
		角田良美	準優勝	ベスト8	ベスト16	
		宮崎優実	ベスト16	ベスト8		
		木下ミサ	ベスト32			
		大塚真之助	ベスト16		ベスト16	準優勝
		富田真吉	ベスト16	ベスト32	ベスト16	
		篠川智大	ベスト32			
		小出侑門	ベスト64	ベスト32		
		牛田敦之	ベスト64			
		古城泰裕	ベスト128			
	女子	青木 翔	ベスト128			
		井上貴博		ベスト32		
		風早一樹		ベスト32		
		宮崎優実	ベスト16	ベスト8	ベスト4	
		角田良美	ベスト16	ベスト8	ベスト16	
2008年 平成20年度	男子	木下ミサ	ベスト16	ベスト16		
		土屋奈夏	ベスト64	ベスト16		
		坪奈津美	ベスト128	ベスト16		準優勝
		井上貴博	ベスト8	ベスト8	ベスト16	準優勝
		富田真吉	ベスト16			ベスト4
		篠川智大	ベスト16	ベスト8	ベスト8	
		牛田敦之	ベスト32	ベスト32	ベスト16	ベスト4
		大原文平	ベスト64			
		土居諒大		ベスト32		
		高橋 隼		ベスト64		
	女子	風早一樹		ベスト64		
		宮崎優実	ベスト4	ベスト8	準優勝	
		木下ミサ	ベスト16	ベスト16		
		角田良美	ベスト16	ベスト8		
		長谷川梨紗	ベスト64	ベスト16		
2009年 平成21年度	男子	荒木史織	ベスト128			
		美濃越彩	ベスト128			
		井上貴博	ベスト8	ベスト8	ベスト16	
		篠川智大	ベスト16	ベスト8	ベスト16	ベスト8
		牛田敦之	ベスト32	ベスト32		ベスト8
		河原 純	ベスト64			
		土居諒大	ベスト64	ベスト32		
		田村和也	ベスト64	ベスト64		

年度	出場選手	インカレ		インカレインドア			
		S	D	S	D		
2010年 平成22年度	男子	井原 力		ベスト64			
		木下ミサ	ベスト16	ベスト16	ベスト8		
		荒木史織	ベスト64	ベスト16		準優勝	
		美濃越彩	ベスト64			準優勝	
		長谷川梨紗	ベスト128				
		宮本紗織	ベスト128	ベスト32			
		下村恵那		ベスト32			
		井上貴博	ベスト16	ベスト8			
		土居諒大	ベスト64	ベスト4		ベスト8	
		篠川智大	ベスト64	ベスト4			
	女子	田村和也	ベスト64	ベスト64		ベスト8	
		井原 力	ベスト64	ベスト64			
		高橋良平	ベスト128				
		長久保大樹		ベスト64			
		風早一樹		ベスト8			
2011年 平成23年度	男子	岡部慎一郎		ベスト64			
		宮本紗織	ベスト16	ベスト32	ベスト16		
		山本翔子	ベスト16	ベスト32	ベスト16		
		鈴木直子	ベスト64				
		荒木史織	ベスト64	ベスト8			
		伊波佳苗	ベスト64	ベスト32	ベスト16	ベスト8	
		長谷川梨紗	ベスト128	ベスト32			
		田村和也	ベスト32	ベスト32			
		林 倫正	ベスト32			ベスト8	
		女子	長久保大樹		ベスト32		
	宮本紗織		ベスト8	ベスト16		ベスト8	
	長谷川梨紗		ベスト16	ベスト16			
	荒木史織		ベスト16	ベスト32			
	伊波佳苗		ベスト32	ベスト16	ベスト16	ベスト8	
	2012年 平成24年度	男子	山本翔子	ベスト32	ベスト16	ベスト16	
鈴木直子			ベスト32	ベスト32			
伊藤優花			ベスト64				
境 有紀				ベスト32			
高橋良平			ベスト64				
林 倫正			ベスト64				
仲村元希			ベスト64				
女子			山本翔子	準優勝	準優勝	ベスト4	
			伊波佳苗	ベスト16	準優勝	ベスト16	優勝
			伊藤優花	ベスト64			
		白井卓也	ベスト96				
		仲村元希	ベスト32				
2013年 平成25年度		男子	山本翔子	ベスト8	ベスト4		
			伊波佳苗	ベスト32	ベスト4		
			伊藤優花	ベスト32	ベスト16		
	松本千広		ベスト64	ベスト16		ベスト8	
	小堀遠馬			ベスト32			
	仲村元希		ベスト96	ベスト32			
	田中亮寛		ベスト8	ベスト48	ベスト16		
	女子		橋本大貴	ベスト8	ベスト48		
			松本千広	ベスト32		ベスト16	
			仲村元希		ベスト48		
		大塚陽平	ベスト96				
		田中亮寛	ベスト16				
	2014年 平成26年度	男子	橋本大貴		ベスト48		
			松本千広	ベスト32		ベスト16	
			仲村元希		ベスト48		
大塚陽平			ベスト96				
田中亮寛			ベスト16				
女子			橋本大貴		ベスト48		
			松本千広	ベスト32	ベスト32		
			山藤彩香	ベスト32			
			辻本有佳里	ベスト64			
			田中文彩		ベスト32		
2015年 平成27年度		男子	高橋玲奈	ベスト8			

亜細亜の部活

入学前から卒業までの流れ

入学前

高校3年 ⇒ 大学1年

大切な時間 大学入学前から部活は始まっている

12月

年末合宿(12月20日～27日)

練習内容

・学生は全国各地から延べ100名を超す参加者(高校生・中学生)とともに練習やトレーニングを行なう。後輩たちとともに行なうことにより、テニスの基礎を確認、時間をかけて徹底的に基礎を磨く。



ときにOB、OGやプロ(スペシャルゲスト)も参加。レクチャーを受ける高校生や部員たち

・その年にやり残した課題、自分の改善点を徹底的に克服する。
・特にサービスは改善の必要がある場合が多く、この時期にグリップをコンチネンタルにして、基本を学ぶ。



全員コンチネンタルグリップへ移行

オリエンテーション

・部員が作成したカレンダーに基づいて、翌年1年間のスケジュールを説明。
・4月からスタートする大学生活、特に授業に関する説明がある(4年間で必要な124単位に関して)。1年生での単位数取得の方法とその重要性などのレクチャーを受ける。
・『テニス発見ノート』を作成。
・翌年2月から始まる合宿までの宿題となるのが読書。『五輪の書』と『不毛地帯』を読み、後日感想文を提出。

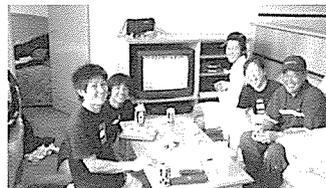


『五輪の書』と『不毛地帯』

1月

・冬休み(故郷へ帰省する学生が多い)

・四大大会のひとつ、オーストラリアン・オープン観戦。有志を募り、学生や監督・コーチとともにメルボルンへ。予選および本戦を観て、肌で“世界のテニス”を感じる(1月10日前後～20日前後まで)。



監督・コーチと同じ部屋で、夜中もテレビを観ながら談笑



オーストラリアン・オープンのセンターコート

2月

・高校を卒業した学生から2月の合宿に参加(12月年末合宿での宿題提出)。

・大学4年間でのテニス活動における準備(基礎体力や基礎技術の改善)。

・翌3月に大学で開催する男女の国際大会の準備をする。

・これからの生活拠点、活動の準備をする。

・国際大会参加を想定し、ITFのI-pin(アイ・ピン)登録と春の男子フューチャーズ、女子サーキットへの申し込みを行なう。

3月

・基礎練習から応用練習への移行期。

・体力強化を継続する。

・月末から始まる男子フューチャーズと女子サーキットへの参加を目指すとともに、大会運営に参加する。



スーパーバイザーから審判のレクチャーなどを受ける学生

4年間の目標を考える。 学生は本物を学べ!!

- ・Ever Upward「自らの可能性は、それを信じ続けた者だけが実現できる」(亜細亜大テニス部テーマ)の実行
- ・スポーツマンシップの獲得。人間的成長を目指す。
- ・大学王座・インカレ・全日本選手権など主要大会での優勝を視野に置く。
- ・海外などへ積極的に遠征し、世界ランキングに必要なATP・WTAポイント獲得を目指す。
- ・亜細亜大テニス部が使う重要ワード～意識改革／できるまでやる／適当や雑は一切無くす／時間を大切に
- ・そして、卒業する!

大学

1年

- ・1年間で40単位取りきれるように努力する。
- ・体力、技術、精神の向上を目指す。
- ・基礎体力、基礎技術の取得。
- ・大学テニス界での自分の位置を確立すること。春／夏の関東学生での予選突破や本戦での活躍。インカレでの活躍。学生ランキングを上げること。
- ・新しい生活に慣れ、部活動とともに大学生活においての自分のペースを確立すること。

大学

2年

- ・さらに40単位を取り、3年生で124単位取り切れるように努力する。
- ・勝負の年にする。
- ・体力、技術力のさらなる向上。
- ・積極的に対外試合や国内一般トーナメントに参加する。
- ・目標を忘れず、周りに流されないこと。

大学

3年

- ・3年生終了時に、124単位を取り切れるように努力する。
- ・勝負の年を充実させていく。
- ・海外遠征や国内トーナメントなどに積極的に参戦する。
- ・卒業後のことを見据えて、思いきりチャレンジする。
- ・卒業後に向けて進路を決定していく。部活動をきちんとこなしながら就職活動を行なう。

大学

4年

- ・4年間の集大成として、思いきり勝負する(そうなるように1～3年生をコツコツと精一杯努力しておくことが重要)。
- ・積極的に海外遠征でチャレンジする。
- ・卒業後の準備をする(プロ、実業団、指導者、教員、一般社会人など、それぞれの道へ)。
- ・教職科目を履修している学生は、母校にて教育実習を行なう。

Aプロジェクト

亜細亜テニス部員が4年間かけて達成することを“Aプロジェクト”と呼ぶ

・JTA(全日本ランキング)100位以内を目指す。(男子1519位～1位/女子775位～1位)そして、全日本選手権への出場、活躍を目標に努力する。

・年間52週のうち3分の1の休みをうまく活用してオープン大会へ積極的に参加、ランキングを上げる。
・テニスの戦略&戦術を学び、必要な技術に

磨きをかけていく。
・基礎体力の向上を目標に計画性をもち、目標達成の原動力にする。

戦術の研究 情報・理論の収集・勉強

コーチングスタッフは、ユニバーシアード元日本代表選手、全日本チャンピオン、インカレチャンピオン、グランドスラム出場経験者など。その経験を生かし、年間の練習プラン、メニュー作成から、実戦練習、戦術、ゲーム研究までを学生といっしょに行なう。

・堀内監督によるテニス講義「戦略と戦術」について、それに必要な「9つのボール調整」「ナチュラルスピンサービス」などが考え方のベースとなる。

・部室には、テニス、トレーニングに関する1000冊を超える書籍やテニス関連の映像教材が設置されていて、自由に利用できる。

・毎年1月に行なわれるオーストラリアン・オープン観戦の遠征や、国内主要大会観戦(デ杯・フェド杯・ジャパンオープン・東レPPO・全日本)に、積極的に出掛けて、理論を勉強する。情報収集の重要性。

・主催する男女国際大会でのゲーム分析(サービス、リタンの確率/エース・ミスの調査比較など)。出場学生のほか、参加選手のデータ収集も可能となり、非常に有効な情報収集、研究の場となる。

・自身の練習や試合を撮影し、部室のテレビなどを使ってチェック、改善に役立てる。

・主要大会のゲーム映像を部室の大型テレビで研究。

・関東大学テニスリーグなどのゲーム分析。

・時間や空間、場所取りなどテニスにおける戦術をゲーム分析含め映像やデータなどから読み取り、実践に役立つように処理し修得する。

試合後のミーティングが特に重要

トーナメントを終えたあとは、コーチングスタッフとミーティングを行なう。反省をもとに改善点を洗い直し、その反省を生かし、次のプランを作成し実践していく。

卒業生のプロたちも学生を強力サポート

卒業生で選手活動をしている比嘉明人プロ、宮崎優美プロ、佐藤博康プロ、井上貴博プロ、北崎悦子プロ、荒木史織プロ、長谷川梨紗プロ、木下ミサプロ、矢野洋プロなどが、大会の合間に練習に参加し、学生を引っ張っている。心・技・体を学生とともに鍛え、磨き上げていくことができるのも、いまの亜細亜の大きな特徴。卒業生プロたちは、卒業後も大学をホームコートとして活用している。

1年間の流れ

授業+練習(火-金◎16:00-20:30、土日◎9:00-18:00)+試合

練習(火-日◎9:00-18:00)
+試合

4月

5月

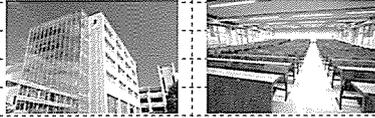
6月

7月

8月

9月

授業・テスト



前期授業(15週間)

テスト

休暇

学生大会

春の関東学生
(予選・本戦)



夏の関東学生
(予選・本戦)

インカレ

関東リーグ

テニス

女子サーキット
\$25K+\$50K(4大会)

男子フューチャーズ
F5~F8(4大会)

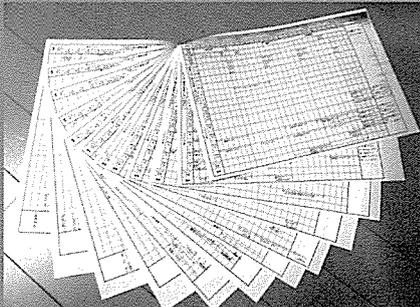
女子サーキット\$10K(2大会)

一般・国際大会

(テスト・主要学生大会期間を除き、授業との兼ね合いを考えて自身のレベルを)

年間スケジュール

- ・「国際大会チャリティークリニック」を年間20回を目標に開催
(※写真⑩)チャリティークリニックの風景
- ・毎年3月後半に男女国際大会を主催。男子F1フューチャーズ(\$1万) / 女子サーキット(\$1万)



12カ月のスケジュール。学事、学生大会、国際大会、JTAトーナメントを記載



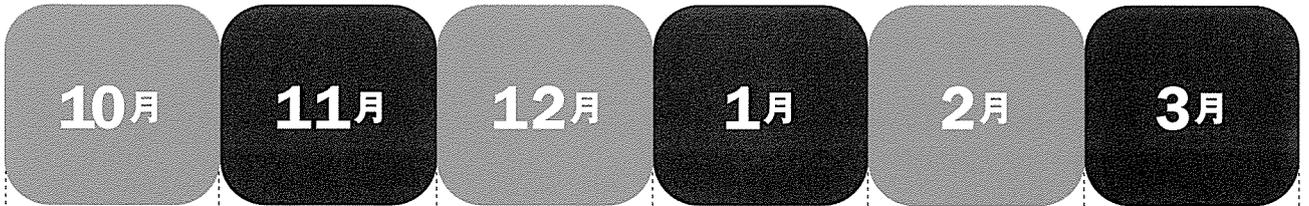
月間スケジュール

- ・対抗戦やトーナメントスケジュールの確認
- ・クリニックや行事の確認
- ・試合、練習計画作成



12カ月のスケジュール、学事、学生大会、国際大会、JTAトーナメントを記載

授業+練習 (火・金◎16:00-20:30、土日◎9:00-18:00) +試合	合宿+練習 (火・日◎9:00-18:00)	授業+練習 (火・金◎16:00-20:30、 土日◎9:00-18:00)	練習 (火・日9:00◎18:00) +試合+海外遠征
--	----------------------------------	---	--

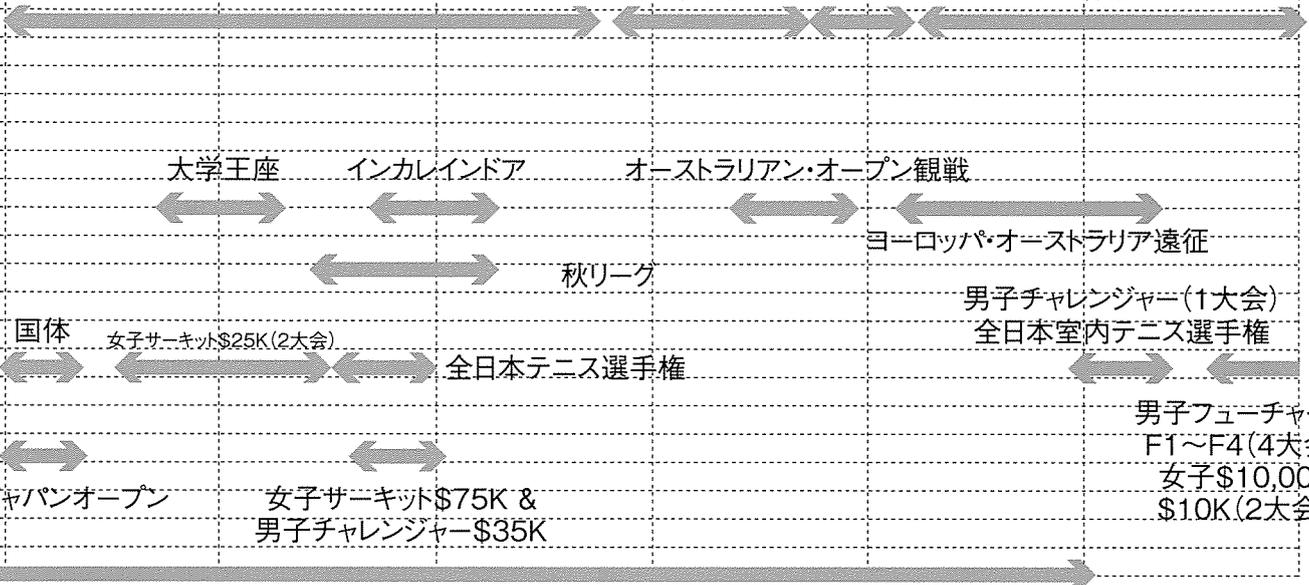


後期授業

休暇

テスト

休暇



考慮し20万~300万までの国内大会)

週間スケジュール

- ・基本的に毎週月曜日がOFF
- ・外部スクールへアシスタントコーチ派遣 / ①昭和の森TS、②武蔵野ドームTC
- ・毎週水曜日(授業期間中)は、武蔵野キャンパスにてお昼にミーティング
- ・土日には、その週の反省と次週の確認を含めミーティング

日常のオンコートスタッフ陣

- ・堀内昌一監督 / 森稔詞コーチ(週6日)
- ・岡本聖子プロ(週4日)
- ・宮崎靖雄プロ(週5日)
- ・赤堀奈緒プロ(週1日)
- ・佐藤武文プロ(週3日)

1日スケジュール

授業有り (練習時間 / 火・金◎16:00-20:30、土日◎9:00-18:00)

- ・基本的に1限が9:00からスタート。テニス部員はできるだけ3限までに授業を登録受講し、練習時間の確保に努める。
- ・10面のテニスコートを使用する。
- ・オンコート練習(ナイター設備があり、20:30まで練習可能)。
- ・3時間の練習と1.5時間のトレーニング。男子10km、女子8kmのランニング。
- ・400mトラックを使いインターバルやランニング、フットワークトレーニングなど。
- ・トレーニングジムにてウエイトトレーニング。コートではフットワークドリルやプライオメトリクストレーニングなどを行なう。
- ・雨の場合は、昭和の森TSインドアコートへ移動して、練習する場合もある。

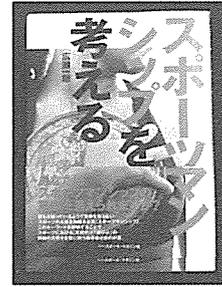
契約トレーナーとともにフットワークトレーニングを行なう



我々は本物のテニスを追求する。

心の追求

- ・スポーツマンシップの獲得(グッドルーザー〜潔く負けを認められる人になるためには…)
- ・メンタルトレーニング受講(月1回、部員は高妻容一先生の講義を受講)。メンタルのスキルアップを実践している。
- ・礼儀やモラルを大切にする(テニス部というチームで、仲間との協調性を磨き、団体行動において必要とされるモノを取得する)。
- ・PDCA(plan / do / check / action)の徹底。
- ・復習の徹底(試合報告書の作成や本を読み、座学を受けた際の感想文作成など)
- ・個々が毎日精一杯努力し、人間の成長を目指す。



テキスト『スポーツマンシップを考える』

技の追求

なぜ必要なのか?

テニスは対戦競技であり、ネットを挟んで相手と対峙し、1ポイントを奪い合うスポーツ。1ポイントを奪い合い、1ポイントの積み重ねが1ゲームになり、1ゲームの積み重ねが1セットになり、1セットの積み重ねが1試合になる。

そのようなゲーム特性を踏まえると対戦するふたりは、テニスコートの中で、「間」=時間をうまく使い、「場」=スペースを確保し、あるいは埋めることを考えて、実行に移す。テニスはお互いが「時間」と「場所」を奪い合うスポーツである。その手段として必要になるのが「技」。

現在の競技力は劇的に進歩しており、スピードもスピンのりカバリーも戦術も、より速く、より重く、より変化に富み、より高度に、より巧みになっている。スピードがある——すなわち時間がない——限られた時間の中で、プレーヤーの選択は、<いかに時間を有効に使うか>という、<戦術に基づいた技術>に進化している。

それは、<いかに無駄な時間をなくすか>ということにつながり、さらに、より機能的な運動に近づくという<再現性の高い運動>をすることでもある。それが、いま我々が目指している「技」である!

体の追求

- ・専属トレーナーによる年間50日間のトレーニング指導。

- ・毎日のランニング(男子10km/女子8km)

- ・火曜日・金曜日(平日)は3時間のオンコート練習と1時間30分のトレーニングで、徹底的に「技」と「体」を追求する。

- ・テニスコート(ナイター完備)、陸上トラック、トレーニングジムともに9:00-20:30まで利用できる。

- ・トレーニング1時間30分の内容は、韓国式(体幹)トレーニング、ジムトレーニング、オンコートフットワークドリル、メディシンボールでのプライオメトリックトレーニングなど。

- ・土・日・休日は6時間のオンコート練習となる。

……なぜ6時間もオンコート練習か

……シングルス3セットマッチを2試合、

ダブルス3セットマッチを1試合と

いう、現行ルールでの最大ゲーム数を

問題なくプレーするための準備。それ

に耐えられるだけの身体をつくることを

目標にしている。常に「将来」に

目を向けてトレーニングする。



目的意識を常に持ってランニング

すべてに共通、練習はできるまでやる!

どんなことが必要?

- 「再現性の高い運動」
- 「戦術に基づいた技術」
- 「時間をつくる」

・時間をつくとミスが減る。時間をつくと相手を「観る」「探る」「読む」ことができる。時間をつくと場所が確保できる。

・我々は、時間をつくるために必要な技術、「戦術的技術」も追求していく。

・ただボールを打つだけでなく、技術の効果をどう上げるかを考えながら、技術習得を目指す。

・必ずその技術を習得するために、時間で区切った練習はせずに、できるまでやる〜達成型の練習を行なう。

・対人練習はもちろんのこと、選手同士のコーチング練習、高校生やジュニア、一般プレーヤーを対象としたクリニックでの指導も、さまざまな角度から「技」を磨くためのものである。

もっとも追求している技術のひとつが「サービス」

試合の中で使う全ショットのうち、3分の1を占めるのがサービスである。ということは、3時間の練習であれば、1時間はサービス練習に費やす必要があると考える。サービスは、テニスの中で唯一のクローズドスキル(相手の影響を受けずに打てるショット)であり、自分自身でコントロールできるショット。サービスを追求することは、テニスの質を高める上で絶対に外せない。だからどんなに時間がかかろうとも、亜細亜では徹底的に追求し、改善し、習得を目指す。

基本的にストロークにおいては、ボール調整(9種類と考えられている)を行ない、練習に取り組み。各コートにはゴムで高さを設定し、目指すボールの種類をもって、この高さをクリアするまで練習は終わらない



19

88年、壘細壘大学テニス部は大々的な強化をスタートさせました。その舵取りをしたのが、私の恩師のひとりである壘細壘大学元学長、衛藤藩吉先生（故人）です。先生は「テニスは、ラケット1本で世界中どこでもプレーすることができ、半日でいろいろな国の人も親交を深めることのできる素晴らしいスポーツ」とおっしゃっていました。

私はいま、そのテニスを通して、志ある学生たちと日の出のテニスコートで汗を流しています。

関東大学テニスリーグ男子7部/女子5部からスタートし、大学王座優勝まで上り詰め、数々の全日本優勝者やグランドスラムでプレーする選手を輩出してきた壘細壘には、現在、ATP・WTAポイントを取得してグランドスラム出場を夢みる学生や、全日本、インカレ、関東学生に出場し、優勝することを目標に日々練習に励んでいる学生、ケガからの復帰を目標にリハビリしている学生などがいます。

そんな学生たちがいる現場では、目標を達成した学生が、新たな目標に向かいいっそう努力する瞬間、目標に届かずあきらめかけ、もがいている瞬間、再度挑戦している瞬間、目標を失い、迷っている瞬間など、それぞれの一喜一憂を目にします。その中で私の役目は、個々の「夢」を思い起こさせ、目の前で起きていることに左右されず、軸をもち、軸をぶらさず、目の前の小さなことからクリアしていくようにアドバイスし、導くことです。

大学4年間は、大人になっていく過程でもっとも重要な時期です。一見「楽しそう」に思えることが多々出てきて、気持ちがあふれることがあります。でも長い人生、いくらでも時間はあります。いましか打ち込めないものを見定め、自ら何をすべきか優先順位をつけて自分を磨いてほしいと思います。

テニスを長くやっているとうまくいかないことだらけで、あきらめそうになる瞬間もあります。しかし、小さい頃から好きで続けてきた「夢」を簡単にあきらめてはいけません。壘細壘で「夢」を必死に追い続けてみませんか。

私たち、壘細壘大学テニス部の目指す「夢」とは、テニスを通じて人間力を高めることにあります。大学王座やインカレを獲ることに収まらず、全日本選手権優勝やユニバーシアード、グランドスラムへの挑戦——と同時に、社会に出ても大きな力となるスポーツマンシップを修得することです。

「夢」の実現には、まず自分を信じて努力し、学生生活で仲間をつくり、学業で知識を深め、部活動を通して思いやりをもてるように、そして人に感謝できるように、人のためになれるように人間力を磨くことです。

現在、それらを経験してきたコーチングスタッフ、堀内監督をはじめ、卒業生たち——グランドスラム出場経験を持つ岡本聖子、インカレ・チャンピオンの赤堀奈緒、インカレインドア・チャンピオンの宮崎靖雄、そして私——全員学生のオリンピックであるユニバーシアード日本代表経験者が、日々コートに立ち、学生たちを指導しています。

現在の壘細壘大学テニス部のリーグ戦、個人戦の結果を振り返ると、課題は多く、私はもう一度初心に戻って、取り組まなければならないと思っています。自分の学生時代を思い出し、学生たちとコートに立ってボールを打ち合い、うれしいときはともに喜び、つらいときはともに歯を食い縛り、同じ夢を追いかけようと思います。「夢を変えずに自分を変えよう！」——私の好きな言葉です。いっしょに夢を叶えませんか。

夢を簡単にあきらめないで。
「夢」を変えずに
「自分」を変えましょう！
壘細壘で「夢」を必死に
追い続けてみませんか。

森 稔詞

(壘細壘大学テニス部コーチ)



挨拶

学長

栗田 充治

(亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部)

「日の出から世界へ」
の夢を持って
突き進んで！
たくさんのことを
学べるのが
亜細亜大学
テニス部です。

広島大学附属高校時代はバスケットボール部でした。3年の時キャプテンを任されました。練習メニューは自分たちで考えて練習をするというレベルでしたので、成績は余り奮いませんでした。

それでも、みなと練習する時間は高校生活の中の充実した時間でした。コートそばの国旗掲揚台の上に寝そべて眺めた秋の空の透明感に満ちた「青色」は今でもはっきりと目に浮びます。こうした解放感はその後、同じ様に味わうことは出来なかったようです。

大学でスキーを始めたところ、シーズンオフの鍛錬にとテニス同好会に誘われました。色々なつながりの同好者と安く借りられるコートを探しながら休日テニスを楽しむようになりました。

亜細亜大学テニス部は堀内監督はじめ、指導する方々が素晴らしい人ばかりです。部員の学生諸君も素晴らしい青年達です。

教員養成を担当しているとき、毎年数人のテニス部員が教職課程を履修していましたが、みんな、明るく誠実で頑張り屋の若者でした。

私がテニス部の活動で感心するのは、国際大会を開催するというその心意気です。堀内監督から「日の出（亜細亜大学運動部キャンパスがある）から世界へ」という夢のはなしを聞いたことがありましたが、素晴らしいビジョンだと感じました。国際大会と言っても、「男子フューチャーズ」「女子サーキット」とい



う最低辺のものですが、勝ち進めば世界ポイントを獲得でき、世界に挑戦できる足掛りとなる大会だと言います。しかも、この大会をテニス部員たちが運営するというのです。大会運営から学ぶことが多いというのが堀内監督の考えですが、私もその通りだと同感しました。選手として精進しながら、マネジメントなどたくさんのことを学べるのが亜細亜大学テニス部です。「日の出から世界へ」の夢を持って突き進んでくださることを期待しています。



部長 宇田川 裕

(国際交流センター部長)

社会に有為な人材の輩出、
社会貢献に取り組み、
“世界に開かれた
テニスチーム”を目指します。

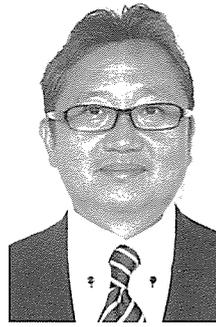
亜細亜大学テニス部は、50年を超える歴史と伝統、輝かしい戦績や、多方面で活躍される卒業生の存在だけではなく、他には実現できない画期的な練習プログラムや教育システムをもって運営され、常に前進し続けています。

テニスプレーヤーの誰もが、満足できる成果を上げたいと思っています。ただ、練習によって技術を磨き、単に大会に出場するだけでは、その目的は達成できません。プレーするのは人間ですから、全般を鍛えていくことが必要なのです。また、今般の激変する社会環境にあって、大学卒業後に社会人として逞しく生き抜くには、スポーツの技術や理論を通して、思考力、実践力を身につけ、友人との協働とさまざまな社会体験によりコミュニケーション能力を養って、人間力を高めることが重要となります。

これを実践するために、私たちはさまざまな実践プログラムを用意しています。まさに、心・技・体を鍛え上げる、人間力の高いバランスのとれた学生育成を行なうのです。

そして、海外遠征や国際テニス大会の運営によって、国際感覚をも磨いてゆくのです。

私たちは、社会に有為な人材の輩出やテニス競技普及等の社会貢献に取り組み、皆さんとともに“世界に開かれたテニスチーム”となることを目指していきたいと思います。



部長 金子 国彦

(学生生活課長)

明るく、爽やかで、個性豊かな
バランスのとれた人間に
成長してほしい。
国際社会に貢献できる
人材育成が目標です。

亜細亜大学テニス部は、スポーツ新興の一環として大学の強化クラブに指定されており、大学テニス界においてトップクラスの戦績を挙げています。これも堀内昌一監督、森稔詞コーチ等の熱心な指導による、部員ひとりひとりの日頃の努力と、チームとしてのまとまりがこのような良い結果につながったと思います。

本学は、単にテニスが強い大学を目指してはおりません。部員ひとりひとりが社会で活躍できるよう育成すべく、大学生活においてもいねいな指導を心がけております。特に授業のサポート体制は他大学にないものであります。同時に生活指導も行い人格形成においても、明るく、爽やかで個性豊かでバランスのとれた人間に成長していくことを目標としています。

また、大学という教育機関が、世界レベルへの登竜門となる国際テニス大会を主催することにより、本学の使命でありアジア地域を中心とした国際化の取り組みを実践する場となり、国際社会で貢献できる有為な人材の育成を図っております。

人柄がよく、やる気のある者、自分の可能性を信じぜひとも、亜細亜大学のテニス部にチャレンジしてください。クラブ一同、歓迎いたします。

衛藤 藩 吉 先生を偲んで

この出会いですべては始まった

文◎堀内昌一

「亜細亜大学学長の衛藤です。帰国したら大学で会おう!」——昭和62年7月、私がジュニア日本代表チームのコーチとしてロンドン(ウインブルドン)に遠征していたときにいただいた電話です。

帰国して学長室を訪ねると、衛藤先生はランニングシャツに下駄履きという出で立ちで私を迎え、大学改革についての思いをぶつけてきました。そこで私も、生意気にも自分の思いをぶつけてきました。日本テニス界は18歳以上の強化が課題であること、大学での指導の必要性、そして世界挑戦——当時の私は26歳です。

衛藤先生は、私の話をにこにこしながら聴いてくださり、こう言いました。「テニスはどこへ行っても誰とでも友達になれるスポーツ」「誠実な人柄のテニス選手は、どんな仕事もひとりやり抜くことができるよ」と。衛藤先生はテニスが好きで、自ら体験されて、それを知っていたからこそその言葉でした。

スポーツを強化する目的が、宣伝や経済効果を考へての手段となること、少なからず世の中で、衛藤先生の純粋な考え方には私は惹かれ、亜細亜大学を選ぶのにもう時間はありませんでした。あれから25年経ち、あのときがなかったら……いまの私もテニス部もありません。だから衛藤先生、心からありがとうございます。いつも見守っていてください。

亜細亜大学テニス部 指導スタッフ紹介

ディレクター兼テクニカルコーチ

教え子のコーチ陣に囲まれて、指導体制はとても充実しています。その指導に甘えることなく、自立した学生、選手、部活を目指しています。



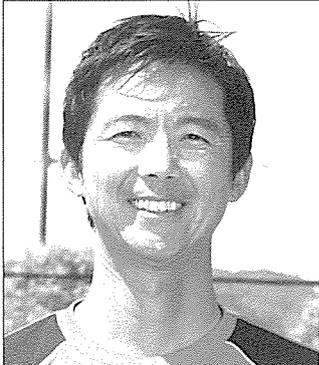
堀内昌一監督

(亜細亜大学教授/テニス部監督)

全体を統括し、学生がテニスに集中して競技力を向上できる環境を整えている。これまで育ててきたOB、OG複数名をコーチとして迎え、指導者が常駐するほか、遠征に帯同できる準備もある。そのほか、トレーニングコーチ、メンタルコーチ、メディカルスタッフも揃え、あらゆる角度から学生をサポートする。

ほりうち・しょういち◎1960年に東京都世田谷区に生まれる。1972年に中央大学付属高校に入学、戦績はIH都予選ベスト64だった。日本体育大学に入学し2年生のときアメリカのニック・ボロテリーに留学、その後New Mexico Military Institute 大学に留学。1982年には全米短期大学テニス選手権でベスト8に入った。帰国直後のインカレでベスト8に入り、翌年の関東学生では優勝。その後、ユニバーシアードに選ばれた。日本体育大学大学院修了後、1987年に亜細亜大学の衛藤藩吉学長と出会い、テニス部の監督を引き受ける。しかしそのときの亜細亜大学は男子7部女子5部、共に最下位であった。1988年、監督の指導力に惹かれ、前年のIHチャンピオンの岡田岳二さんや山崎史子さんをはじめ、高田充さんらの高校トップクラスの選手が亜細亜に入学し亜細亜大学の快進撃が始まった。ATP S 571位/D 713位 JOP S 17位/D 13位

テクニカルコーチ

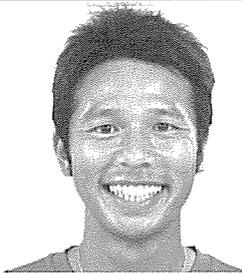


森 稔詞

(亜細亜大学学生生活課所属)

大学強化第一期生が母校に戻り、学生に“テニスの精神”を叩き込む全力指導をしている。週6日男女部員を指導。

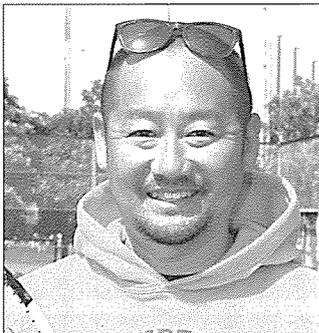
もり・としつぐ◎1969年12月22日大阪府で、父(故)顕郎と母孝子の間に生まれ、弟大明の2人兄弟。父の仕事の都合で東京へ上京。小学校在学中、地元の多摩ロケットスクラブで毎日壁打ちし週末は野球。中学校在学中、平日は多摩ローン、週末は朝日生命テニス教室(スクール)へ通う。のち、大阪にある名門清風高校へ進学。3年次インターハイでは団体・単・複すべて準優勝。全日本ジュニア18歳以下準優勝。その後、亜細亜大学へ進学し3・4年次インカレ単2連覇とアジア学生選手権単複2連覇。90年ユニバーシアード日本代表(イギリス)複ベスト8。卒業後プロ転向プリンスホテルと契約。92年全日本テニス選手権複優勝、94年全日本室内選手権単優勝、97年引退。現在、亜細亜大学堀内監督の下、後進の指導にあたる。07年ユニバーシアード日本代表監督。日本ランキング単5位・複4位/ATPランキング単579位・複473位が最高。大学1年生から8年間ナショナルチームメンバー。



宮崎靖雄

現役プロでありながら、週5日男子部員を指導している。アカデミックな思想を持ち合わせ、学生との打ち合いで与える影響は大きい。

みやざき・やすお◎1981年8月29日熊本県出身。小学4年からテニスを始め、中学3年初めて全国大会に出場(全国中学生テニス選手権)。熊本マリスト学園高校に入学。高校2年次、全国選抜室内ジュニア選手権優勝。3年次ウィンブルドンジュニア出場、全日本ジュニア複優勝。亜細亜大学に入学。全日本学生室内テニス選手権単優勝、複準優勝。03、05年ユニバーシアード代表。ユニバーシアード(トルコ)複ベスト8。日本ランキング単17位、複16位/世界ランキング単790位、複829位。現在は筑波大学大学院を修了しコーチをしている。



佐藤武文

大学時代に大きな成長をし、結果を出しているということもあり学生に大きな影響を与えている。

さとう・たけふみ◎1971年東京都港区生まれ。高校では関東ジュニアすら出場なしという目立った戦績を残していなかったが、亜細亜大学にて1年生春関で関東学生、2年でインカレ出場、3・4年次に夏関複優勝、全日本選手権複出場と多大な戦績を残す。卒業後も関西オープンダブルスで何度も優勝している。1999年テニスコーチとなる。小畑沙織、吉田友佳のツアーコーチとして世界を転戦するようになる。森上亜希子のツアーコーチだったときウィンブルドンのセンターコートで試合を行うまでに育てあげた。現在はCS放送GAORAでのWTA、ATPツアーのテレビ解説をしながら亜細亜大学の学生のコーチをしている。



赤堀奈緒

週1日女子部員を指導。5部だった亜細亜を1部の常連にした立役者は、そのハングリー精神と職人気質な身体の使い方を指導してくれる。

あかほり・なお◎1971年生まれ。1987年東海大学付属相模高等学校入学し2年次に全日本選手権ベスト8に入る。1990年亜細亜大学に入学し2年次にアジア学生テニス選手権(台湾)S優勝。全日本学生選手権Sベスト4、D優勝。全日本学生室内選手権S、D優勝。群馬オープンS、D優勝。3年次には関東学生選手権S優勝。全日本学生選手権S優勝、D準優勝。全日本選手権Sベスト16Dベスト4になる。最高学年のときは、ユニバーシアード準優勝。1994年大東銀行入行。1995年テニスプロ転向。1997年に全日本選手権Sベスト16、D優勝。1998年藤枝椎間板ヘルニアで引退。1999年～現在、民間クラブのテニスコーチ。2001～2004年東京医療専門学校(鍼灸)。2004年～亜細亜大学コーチをしながら鍼灸マッサージの仕事をする。2011年～現在、祖母ヶ谷大蔵で治療院を開業中。

テクニカルコーチ



岡本聖子

週4日女子部員を指導。「プロに負けない学生プロ」を体現した張本人が、母校に戻って来た。明るい笑顔の指導で部活が楽しくなっている。

おかもと・せいこ◎1978年に大阪府豊中市に生まれる。小学校高学年でテニスを始め、中学、高校とテニスの名門校である夙川学院に進学。インターハイ団体3位、単ベスト8、複ベスト4の成績を残す。その後、亜細亜大学堀内監督の「プロに負けない学生」という言葉に惹かれ、亜細亜大学へ進学。卒業後、プロ転向し、グランドスラムの全豪ダブルス2年連続出場、シングルス予選すべてに出場する。全日本タイトル8、WTAツアータイトル1、ITFサーキット決勝進出最多記録を持つ。2年前に現役を引退し、これまでの経験を元に、後輩の指導、プロ選手のサポート、テニスウェアの開発を行っている。

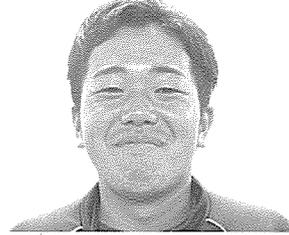


北崎悦子

週1女子部員を指導。大学卒業後にプロ転向し、現在は大学院で研究活動をしている。テニスの指導だけでなく学生の悩みにも親身になって考えてくれる。

きたざき・えつこ◎1982年東京都出身。東海大浦安高校卒。00年全日本ジュニア18歳以下単ベスト8、01年亜細亜大学入学。01年夏関・単優勝、インカレ単ベスト4、インカレインドア単準優勝。03年インカレインドア複優勝。卒業後にはプロ転向をし、07広島国際女子オープン単優勝。09年東レPP0予選出場。自己最高位はWTA単516位12年現役引退。現在、女子部員の指導と筑波大学大学院でコーチング原論・トレーニング学領域を勉強中。

トレーニング担当



長久保大樹

週1日トレーニングを指導。母校への思いが強く、厳しいトレーニングでも背中をおしてくれる。

ながくぼ・だいき◎1989年7月19日生まれ。学生時代は春関複ベスト4、新進複優勝、インカレ複ベスト8、インカレインドア複ベスト8、全日本学生テニス選手権複出場、ニック全日本テニス選手権複ベスト16に入る。現在はACTA(アジアチャリティーテニスアカデミー)でコーチをしながら学生のトレーニングを指導している。

トレーニング担当



青木祐子

月に数回トレーニング全般を指導。試合時にはチームに帯同して、コンディショニングからマッサージまでを行う。

あおき・ゆうこ◎1971年神奈川県鎌倉市生まれ。東京学芸大学人間科学課程にてバイオメカニクス・トレーニング理論・運動処方等を学ぶ卒業後日産スポーツプラザ株式会社に入社。インストラクターとして勤務資格取得のため退社し帝京医学技術専門学校に入学。柔道整復師の資格を取得。社会人アメリカンフットボールチームのトレーナーや高校バスケットボール部のトレーナーとして活動し2007年から亜細亜大学テニス部にトレーナーとして参加。

メンタル担当



高妻容一

月に1回、メンタルトレーニングを指導。学生自らがトレーニングできるように、スケジュールトレーニングという役割を作って、トレーニングが継続できるように努力している。

こうづま・よういち◎1955年、宮崎県生まれ。福岡大学(体育学部体育学科)卒。中京大学大学院(体育学研究科体育心理学)修了後、フロリダ州立大学へ留学(スポーツ心理学など)、博士課程中退。1993年、州立フロリダ大学へ1年間の研究留学。近畿大学教養部助教授を経て、現在、東海大学体育学部教授。1985～2001年、日本オリンピック委員会のメンタルマネジメント研究班員。1994年からメンタルトレーニング・応用スポーツ心理学研究会をスタート。所属学会は「国際メンタルトレーニング学会」など10を数える。

コンディショニング担当



平石貴久

亜細亜大学テニス部の心強いチームドクター。血液検査を定期的に行うなどして、身体に関する基礎知識を指導する勉強会を行うなどして、学生の体調を管理している。

ひらいわ・たかひさ◎1950年鹿児島県生まれ。東京慈恵会医科大学卒業。専門は内科、循環器科、スポーツ医学、放射線診断、東洋医学。鍼灸あん摩マッサージ指圧師。介護予防運動指導員。日本体育協会公認アスレティックトレーナー。駒澤大学卒業後、小守スポーツマッサージで修業し、1977年からフジタ工業サッカー部のトレーナーに就任。'81年に独立し、日本トレーナー協会所属、三宅スポーツマッサージを設立。医療法人社団貴生会理事長。東京ミッドタウンメディカルセンター平石貴久特別外来ドクター。

学内スタッフ



宇田川 裕(国際交流センター部長)

亜細亜大学テニス部OBで、男子部部长である。現在は亜細亜大学職員として、学校の仕事もしながらテニス部の運営や就職の手伝いをしている。亜細亜大学国際大会事務局長。



金子国彦(学生生活課長)

亜細亜大学テニス部OBで女子部部长である。現在は亜細亜大学職員として年度始めに履修カリキュラムのミーティングをしたり、部活との兼ね合いで履修ができない授業がある学生の、時間割変更などのサポートをしている。

部員名簿

①学部②出身地③出身校④生年月日⑤血液型⑥テニス歴⑦身長
⑧好きな選手⑨趣味⑩主な戦績⑪目標⑫高校生にひと言⑬自己PR

男子

硬式庭球部

仲村元希

(主将)4年

①経済学部②奈良県③大阪産業大学附属高校④1993年6月3日⑤O型⑥15年⑦183cm⑧アルマゴロ⑨サプリメント、おはじき⑩'15新進複ベスト4、亜細亜フューチャーズ単ベスト16⑪1部昇格⑫世界を感じろ⑬まいどおおきに。奈良県出身です。初対面の人には必ず怖いと言われる僕ですが喋ると自然に笑顔があふれます。こんな僕でもATPを取ることが出来ました。この勢いで1部昇格させます。



秋山和潤

(副将)4年

①国際関係学部②岐阜県③麗澤瑞浪高校④1993年7月20日⑤B型⑥15年⑦172cm⑧錦織圭⑨釣り、温泉旅行⑩'15関東学生⑪インカレベスト8、1部昇格⑫テニスをやるには最高の環境です!⑬とりあえず気合いと根性でコート走り回ります。お祭り男なので、リーグ戦では、コートを盛り上げチームの勝利に貢献してみせます。



小林浩貴

(主務)4年

①経済学部②宮城県仙台市③仙台商業高校④1994年2月12日⑤A型⑥12年⑦173cm⑧ファビオ・フォニーニ⑨ラーメン、つけ麺巡り⑩'15新進複関東学生⑪コソコソと努力し、自分がなりたい姿になる⑫後悔ないように⑬私はランニング大好きです!ついこの間28kmランニングしてきました!少し変?とか言われますが、すぐ太ってしまうので体重には気を付けています!そんな小林を宜しくお願いします!



宮脇駿

4年

①国際関係学部②愛知県③名古屋高校④1993年10月31日⑤A型⑥12年⑦168cm⑧錦織圭⑨映画、音楽⑩'15新進複ベスト16⑪インカレ本戦出場、1部昇格⑫テニスを極めるならここです。楽しく頑張ろう⑬笑顔は本物です。コート上で走り回ります!



西岡靖雄

4年

①法学部②三重県③四日市工業高校④1993年10月8日⑤AB型⑥15年⑦165cm⑧マッケンロー、ヒンギス、クルム伊達公子、西岡良仁⑨史跡巡り⑩'15関東学生複ベスト32⑪怪我なく終える!⑫人生はマイナスにはならない全力を尽くしても勝てない相手がいることの面白さに気づいてください!⑬私は人情が一番大切だと思います。なぜなら人は必ず誰かとつながっているのだから。



豊田 魁

4年

①国際関係学部②山形県③日本大学山形高校④1993年10月13日⑤A型⑥15年⑦179cm⑧A・ロディック、L・ヒューイット⑨音楽、映画鑑賞⑩'13春関複2次SF⑪関東学生⑫国際関係学部に入れば留学が出来ます!⑬亜大テニス部のプロガーです。これからどんとん学生の大大会成績やクリニックの情報を配信していきます!



糸井 彬

4年

①法学部②千葉県③麗澤高校④1993年7月6日⑤A型⑥10年⑦180cm⑧ Nadal⑨食べ歩き⑩'14春関複2次F⑪関東学生⑫目標に向かって頑張る⑬千葉から来ました両利きです。出せる力を全て出して学生目指します。



松本 亘

4年

①経営学部②埼玉③浦和学院④1993年12月18日⑤?⑥19年⑦182cm⑧サンブラザ⑨麻雀、登山、太陽⑩'14秋季リーグ13位(Bチーム)⑪1部昇格後の乾杯⑫俺が抱きしめてやる⑬こんにちは、亜細亜大学のジョニー・デップです。最高学年になりチームを引っ張る立場になりました。みんな頑張ろうね。



田村 亮

4年

①法学部②高知県③高知中央高校④1993年4月7日⑤A型⑥10年⑦177cm⑧パエス、ウィリアムス姉妹⑨料理、主に煮物、あみもの⑩'15新進複ベスト16⑪ダブルスインカレ出場、1部昇格⑫大切なのはメンタル⑬卒業、1部昇格、今年は達成しなければいけない事が多いですが、頑張ります。



井上 祐貴

4年

①法学部②山形県③日本大学山形高校④1993年8月13日⑤O型⑥9年⑦167cm⑧錦織圭⑨音楽鑑賞⑩'15新進単2次SF '13春関複2次SF⑪関東学生⑫テニスするなら亜細亜!⑬山形魂で頑張ります!



土居 祐太

3年

①経済学部②東京都③獨協埼玉高校④1994年9月20日⑤O型⑥7年⑦185cm⑧ノバク・ジョコビッチ⑨ショッピング⑩'15新進単2次SF複2次F⑪関東学生になること⑫努力は必ず力になる!⑬僕は背が高いのでサーブを軸としたプレースタイルです。まだ線が細いのでたくさんトレーニングしてフィジカルをつけていきます。



李 国淵

3年

①経営学部②韓国③金川高(韓国)④1993年10月15日⑤A型⑥8年⑦178cm⑧チャップリン⑨日本語の漢字勉強⑩'14新進単ベスト64⑪インカレベスト16⑫1分1秒をたいせつに⑬コミュニケーション力が高い。頭がいい。



村田道隆

3年

①法学部②埼玉県
③法政二高④1994
年6月21日⑤A型⑥
9年⑦193cm⑧サ
フィン⑨将棋⑩'14
春関複2次F⑪目標
のない人生なんてない。
人は皆胸に秘めた
思いがある。⑫高校生
の皆さん亜細亜で
待ってます⑬193cm
のビックサーバー
です。みんなからラオ
ニッチと呼ばれて
ます。ラオニッチ目
指して頑張ります!



大塚陽平

3年

①経済学部②熊本
県③秀明英光高校
④1994年5月27日
⑤A型⑥14年⑦
175cm⑧ロジャー
フェデラー⑨勉強⑩
'15新進複本戦出場
⑪インカレ出場⑫亜
細亜と一緒に汗を流
そう⑬得意のフォ
アとサーブを活か
して今年こそは本
戦に上がります!



橋本大貴

2年

①経済学部②北海
道③秀明英光高校
④1995年8月14日
⑤A型⑥9年⑦
175.8cm⑧杉田祐
一⑨漫画、料理⑩
'13全国選抜、イン
ハイ団体3位'14
インカレダブルス出
場⑪インカレ優勝
1部昇格⑫亜細亜
に入れれば強くな
ります。⑬明るく
!ポジティブ!元気に!!



結城慎之介

2年

①国際関係学部②
新潟県③東京学館
新潟高校④1995年
10月21日⑤O型⑥
16年⑦170cm⑧ハ
メス・ロドリゲス⑨
サッカー、ディズニ
ーに行くこと⑩'15
関東学生⑪インカ
レベスト8⑫亜細
亜に入れればかな
らず強くなります。
頑張らしましょう。
⑬得意のフォアハ
ンドとフットワーク
を武器に攻めま
くります。



田中亮寛

2年

①国際関係学部②
神奈川県③湘南工
科大学附属高校④
1996年1月2日⑤A
型⑥11年⑦170cm
⑧錦織圭⑨音楽⑩
'14インカレベスト
8⑪1部昇格⑫亜
細亜と一緒にテニ
スをしましょう!⑬
今年からは攻め
めます!



伊藤 陸

2年

①経済学部②東京
都③堀越高等学
校④1995年9月27
日⑤A型⑥14年⑦
179cm⑧マイク・ブ
ライアン⑨昼寝⑩
'15新進複2次F⑪
関東学生⑫頑張
ろう!⑬髪はなるべく
切りません。



四釜泰知

2年

①経営学部②山形
県③長井高等学
校④1994年5月9日
⑤B型⑥5年⑦
164cm⑧ジル・シ
モン⑨カラオケ⑩
'14春関1次2R⑪
関東学生⑫やれば
出来る⑬1年間色
々と経験が詰ま
りました。今年
はテニスの実力
を大きく飛躍
させたいと思
っています。がんば
ります。



宮 遼太

2年

①短期大学部②東
京都③日本大学
明誠高校④1996
年3月5日⑤B型⑥
9年⑦170cm⑧モ
ンフィス⑨映画鑑
賞⑩'14春関1次
SF⑪関東学生
になる⑫亜細
亜でテニスをし
ましょう⑬持前の
体力でコート
の中を走り回
ります。いつも
笑顔で心が
けています。



坂本 徹

2年

①経済学部②静岡
県③四日市工業
高校④1996年1月
11日⑤B型⑥10
年⑦170cm⑧ダ
ビデンコ⑨音楽鑑
賞⑩'14春関単
2次F⑪ベンチ
プレス150kg⑫部
活に勉強などい
ろいろ頑張っ
てください。⑬
インカレ目指
して頑張ります。



恒松拓末

2年

①法学部②埼玉
県③大成高校④
1996年1月26日⑤
A型⑥12年⑦
178cm⑧ツォン
ガ⑨サイクリン
グ⑩'15新進複
ベスト16⑪イン
カレベスト4⑫
今を大切に⑬自
分はサーブとボ
レーが得意です。
この良い環境
を活かせるよう
に頑張りたい
です。



梅岡優大

2年

①国際関係学部②
兵庫県③大阪産
業大学附属高校④
1995年6月19日⑤
B型⑥9年⑦185
cm⑧恒松拓末⑨
野球⑩'15新進複
1次F⑪インカ
レ出場⑫頑
張りましょう⑬
身長を活かせる
ようにランニ
ングや筋力して
いきます。



芦澤 翔

1年

①国際関係学部②
長野県③松商学
園④1996年11月
30日⑤O型⑥8
年⑦172cm⑧越
智真⑨ギター⑩
'14全日本jr18
歳以下男子ダ
ブルス長野県予
選ベスト8⑪
インカレ出場⑫
一日一生、今
できることに
全力を。⑬もう
弱い自分に負
けたくありませ
ん。とにかく
努力に努力を
重ね強くな
ります。



部員名簿

①学部②出身地③出身校④生年月日⑤血液型⑥テニス歴⑦身長
⑧好きな選手⑨趣味⑩主な戦績⑪目標⑫高校生にひと言⑬自己PR

林 大祐

1年

①法学部②千葉県
③秀明八千代高校
④1996年11月10日
⑤A型⑥9年⑦178
cm⑧ノバク・ジョコビ
チ⑨フットサル⑩'14
全国選抜団体ベスト
32⑪インカレ出場⑫
亜細亜に来て一緒に頑張りましょう。⑬
サーブとフォアが得意です。大学4年間で
さらに磨きをかけて頑張っていきます。



原 崇人

1年

①経済学部②埼玉県③秀
明英光高校④1996年6
月25日⑤A型⑥8年⑦
176cm⑧モンフィス⑨読書
⑩'13全国高校選抜テニ
ス大会団体3位⑪インカレ選
手になること⑫高校の3年
間はテニスが一番伸びる時
だと思つて1日1日を大切にしてい
てより良い3年間にして
ください。⑬埼玉県からやりました。自分
はフォアハンドを得意としています。大
学の4年間で今以上に強くなるた
めに周りの人の倍努力して頑張ってい
きます。



小林暖周

1年

①経済学部②大阪
③大阪産業大学附
属高校④1996年
12月7日⑤AB型
RH+⑥8年⑦
176.8cm⑧ミカエ
ル・ロドラ⑨釣り、サイ
クリング、映画鑑賞⑩
'14全国選抜団体ベスト32⑪インカレ出
場⑫本気になれる環境があります。⑬自
分には強い向上心があります。その向上
心と弛まぬ努力でインカレを目指します。



佐藤 亘

1年

①経済学部②長崎県③
海星高校④1997年3月8
日⑤O型⑥8年⑦174cm
⑧ラファエル・ナダル⑨
ゲーム、勉強⑩'14全国高
校選抜テニス大会出場⑪
関東学生に出場して勝つ
こと。⑫亜細亜大学はテニ
スをする環境がとても整っている場所
なので是非来てください。⑬大学では
テニスも勉強も妥協せずに、文武両
道を目指して生活していこうと思
います。テニスでは本選で勝ちあが
れるように強くなります。



相馬海斗

1年

①経営学部②埼玉
県③所沢中央高校
④1996年12月14日
⑤AB型⑥4年⑦
164cm⑧フェルナ
ンド・ゴンザレス⑨ギター
⑩'15夏関単1次1R
⑪インカレ出場⑫悔
い残らない高校生活を送ろう!⑬自
分はテニスに全身全霊をかけてテニ
スと正面きって向きあいそしてテニ
スに熱く生きる!



松本千広

(主将)4年

①経済学部②千葉
県③幕張総合高校
④1993年9月8日⑤
A型⑥13年⑦
156cm⑧アングリク
ケルパー、澤柳璃子
⑨デズニール⑩'14イ
ンカレベスト32、インカ
レ室内ベスト16⑪インカレ優勝、
王座優勝⑫アジアで強くなりましょ
う!⑬どんなボールも最後まで諦め
ないでコートの中を走りまわります!
左利きなのでサーブとフォアで勝
ちます!



山浦はる香

(副将)4年

①国際関係学部②
埼玉県③山村学園
高校④1993年5月
15日⑤A型⑥10年
⑦158cm⑧ラオニ
ッチ⑨食べること⑩'14
関東学生⑪インカレ
出場⑫部活と学校を
両立しましょう!⑬よく食べて、よく
寝て、よく喋ります!ラストの年
はよく走れるように頑張ります。



八島ちひろ

(主務)4年

①法学部②福島県
③日本大学東北高
等学校④1993年7
月20日⑤A型⑥11
年⑦157cm⑧マリア
・シャラポバ、ネスター
・ポシュピシユル⑨映
画鑑賞、スポーツ観
戦⑩'13インカレ予選複出場⑪王
座出場⑫一緒に汗を流しましょ
う!⑬自分の運動神経を活かして
コート走りまわります!



安野聡美

4年

①法学部②埼玉県
③山村学園高校④
1993年8月5日⑤
AB型⑥10年⑦163
cm⑧ラオニッチ⑨映
画鑑賞⑩'14関東学
生⑪インカレ⑫一
緒に亜細亜で頑張りま
しょう!⑬しっかり冬にたくわえた
のでこれから走りまわります。



山藤彩香

3年

①法学部②神奈川
県③野田学園④
1994年12月17日⑤
A型⑥11年⑦
167cm⑧ビーナス
・ウィリアムズ⑨カラ
オケ⑩'15春関ベ
スト32⑪インカレ
ベスト8⑫楽しくテニ
スをしましょう!⑬どこからでも
ハードヒットします!笑



辻本有佳里

3年

①法学部②大阪府③
園田学園高校④1994
年11月27日⑤A型⑥13
年⑦160.5cm⑧クル
ム伊達公子⑨ネット
サーフィン⑩'15新
進単複ベスト16、
'15春関単ベスト64、
複ベスト32⑪インカ
レ本戦出場⑫一緒に頑
張りましょう!!!⑬亜細
亜国際がきっかけで、選
手としてだけでなく審判員
としても国際大会等で活
動するようになりました。亜細
亜で経験できる様々なこと
を糧に今後も頑張ります!



旗手ひかる

3年

①経済学部②三重県
③鈴鹿高校④1994年10月11日⑤A型⑥10年⑦167cm⑧リー・ナ⑨ショッピング
⑩ ①関東学生になる②テニスも遊びも勉強も全力でやりましょう③1年の時は怪我をしてしまい、今年やっと復帰する事ができました!後、一年半いっぱい食べていっぱい寝て最後までやり切ります!今年こそは頑張りたいと思います!!



平田智子

3年

①経済学部②東京都③昭和第一学園高校④1994年7月25日⑤O型⑥11年⑦159cm⑧フェデラー⑨音楽を聴くこと⑩単複1次F⑪関東学生になること⑫誰かに否定されても自分が決めた事には自信を持つ⑬落ち着きがない所があるけど、明るいです。良い意味で天真爛漫と言われます。



田中文彩

2年

①法学部②愛知県
③愛知県立津島東高校④1995年8月16日⑤O型⑥10年⑦163cm⑧フェレル⑨ご飯を食べる事⑩'15春関東ベスト64複ベスト4⑪インカレ優勝⑫テニスを大学でも続ける人は是非亜細亜大学で頑張ってください!⑬厳しい練習も諦めず頑張れる所だけが取り柄です!宜しくお願いします!



足立菊華

2年

①国際関係学部②東京都③柳川高校④1995年9月16日⑤O型⑥8年⑦165cm⑧マディソン・キーズ⑨ショッピング、映画鑑賞⑩'15関東オープン複ベスト4⑪インカレに出場する事!⑫大学生活と一緒に充実したのしましょう!⑬どんな壁も明るく笑顔で乗り越えます!



近郷桃子

2年

①経営学部②埼玉県③弥栄高校④1996年3月13日⑤O型⑥4~5年⑦157.5cm⑧ナダル⑨食べる事、寝ること⑩'15新進単2次SF⑪全力で頑張ります!⑫全力でテニスに打ち込みたい方は是非亜細亜大学へ!⑬たくさん練習して、努力して、あと3年間の大学生活になりますが、全力で部活に取り組んで行きたいと思います。



山口真琴

1年

①法学部②福岡県③九州文化学園高④1997年1月21日⑤B型⑥14年⑦168cm⑧ユージェニー・ブシャル⑨食べる、寝る⑩'14年全国高校総体単ベスト8⑪インカレ優勝、王座優勝⑫亜細亜大学でトップを目指しましょう。⑬食べる事と寝る事が自分にとっての幸せです。ハードヒッターであり、球と足が速いです。自分の持ち味を活かして4年間頑張ります。



高橋玲奈

1年

①法学部②山形県
③宮崎商業高校④1996年8月8日⑤AB型⑥12年⑦165cm⑧荒木史織⑨食べる事⑩'14インターハイ団体ベスト8⑪インカレベスト4に入る事、王座を取る事⑫亜細亜に来たら強くなれます!⑬山形生まれで宮崎の高校に行った田舎者です。左利きを活かし、意識高く目標に向かって練習して行きます!



渋谷 遥

1年

①法学部②埼玉県③野田学園高校④1996年10月25日⑤O型⑥10年⑦164cm⑧牛島里咲⑨タコパ⑩'14インターハイ団体ベスト8⑪関東学生⑫アジラのメロンパンすごく美味しいので食べに来てください!⑬テニスはまだまだ下手ですが強くなるように頑張ります!あと、勉強が苦手なのでちゃんと単位を取れるように頑張ります!



楚南美波

1年

①経済学部②沖縄県
③沖縄尚学高等学校④1996年8月20日⑤O型⑥10年⑦158cm⑧ウォズニアッキ⑨料理⑩'14全国選抜テニス大会団体ベスト8'14全国インターハイ個人ダブルスベスト16⑪学生タイトルを取る⑫亜細亜は環境が良くて沢山練習出来るので絶対強くなれます!⑬沖縄出身で明るくて元気です!コートを走り回って両手を活かして4年間頑張ります。



中沢夏帆

1年

①経済学部②千葉県③藤代高校④1996年8月19日⑤O型⑥10年⑦160cm⑧ジョコビッチ⑨音楽鑑賞⑩'14インターハイ団体ベスト16長崎国体出場⑪インカレ単複出場⑫亜細亜と一緒に強くなります!⑬話したり笑ったりする事が大好きです!辛い時こそ笑顔で4年間必死に頑張ります!



大西沙衣

1年

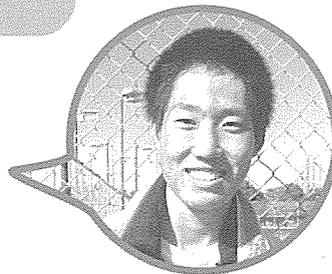
①経済学部②千葉県③東京学館浦安高校④1996年10月4日⑤O型⑥13年⑦163cm⑧ノバク・ジョコビッチ⑨食べる事、寝る事⑩'14全日本ジュニアダブルスベスト16⑪インカレ出場⑫環境が整っており上手になれるチャンスです。⑬どんなボールも気合いで返します。辛い時こそ笑顔で頑張っています!



亜細亜大学テニス部

1年生

芦沢 翔の1日



6:30 起床

寝坊をしないようにアラームを何度もかけ頑張って起きます。

9:00 学校到着&授業開始

朝から頭をフル回転。フレッシュマンイングリッシュに必死に取り組みます。

10:40~12:10 授業(2限)

2限も頑張ります。

12:10~12:50 昼休み&昼食

1,2限を頑張った体に栄養補給。学友会館二階のから揚げ丼が大好きです。

12:50~14:20 授業(3限)

お腹いっぱい眠い中最後の授業に取り組みます。終わり次第日の出グラウンドに直行。

15:30 日の出グラウンド

到着次第コート準備。みんなで協力して行います。

16:15 部活動開始

自分の中でのメインイベント!自らの課題に向き合い全力で練習します。

19:00 トレーニング

筋トレ、ダッシュ、ランニング。

他大学に負けないようフットワークやフィジカルを手に入れる為追い込みます。

20:30 部活終了

練習したコートに感謝の気持ちを込めて片付けます。

23:30 就寝

明日に備え体を休めます。心地よい夢の中へLet it go!!



部活と勉強の両立に励み
充実した毎日を送っています。
亜細亜大学には強くなる為の材料が
沢山あるので自分の
やる気次第でどんな事も達成できます。
ぜひ亜細亜大学へ!!!

1年生

大西沙依の1日 (寮生)



7:00 起床

同期の楚南に起こしてもらって、頑張って起きます!寮の朝ご飯を食べます。

9:00~ 授業

1年生、必修授業のフレッシュマンイングリッシュ!少人数クラスの英語の授業です。

12:00~ 12:50 昼休み

新しくできた『アジアプラザ』という食堂で同じテニス部で経済学部で楚南と中沢とお昼ご飯!

12:50~ 14:20 3限

お腹いっぱい眠いけど頑張ります。

授業が終わったら、電車でテニスコートのある日の出キャンパスに移動!

15:30 日の出到着

同期と協力してコート準備!

16:15 部活開始

毎日、練習みんなで盛り上げて頑張ります!

19:00 ランニング

トレーニングもしっかりやります。

20:00 部活終了

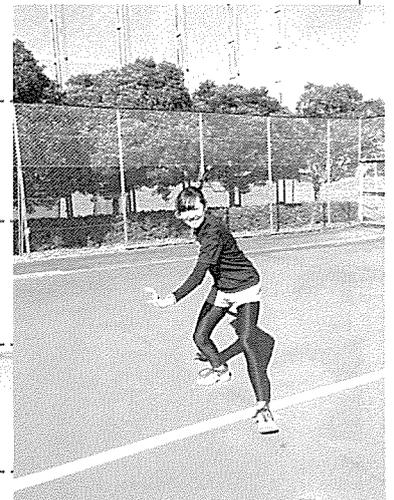
今日も1日頑張りました!豊田に寮があるので電車で帰ります。

21:25 夜ご飯

寮のご飯はまあまあおいしいです!

24:00 就寝

明日も1限から頑張ります☆



亜細亜大学はテニスが強くなるための環境がそろっています!
一緒にテニスをしましょう!

高校生のみんなへ

いっしょに テニス しようよ!

部員から
ひと言



みんな
仲良し♡

1部
昇格!

♪



ハイ
チーズ!



最高!

がつつくぞ!





ブヒっ♡



疲れた～



亜細亜大学に
カモン!!



楽しいよ☆



最高の
思い出♪



学生は、 部活と授業の 両立を目指す。

面 白いもので、テニスの本当に強かった卒業生を顧みると、学業優秀とまではいかなくとも、単位をいつのまにか取っていた選手ばかりでした。岡田岳二、森稔詞、山崎史子、赤堀奈緒、宮地弘太郎、岡本聖子、駒田政史、佐藤博康、宮崎靖雄、宮崎優実など、多くの卒業生の中でも特にレギュラーでタイトルを獲った選手ほどその傾向は強く、目標が明確であり、そのため好き嫌いにかかわらず、何事においても判断と行動は積極的でした。

競技成績だけではなく、プロとして活躍できた選手以外にも、企業で活躍できる卒業生も含め、明確なことは「部活」と「授業」との両立ができることが、すべての成長に繋がっているということです。

成長する選手とそうでない選手の違いは、「必要なこと」と「好きなこと」の区別ができるかできないかです。「将来」に必要なことと「いま」に必要なことを明確に理解して行動できる選手こそ、成長する選手です。

部活ではまず、新1年生に対して、11月の入試後にオリエンテーションをし、12月までに「4年間」と「今年」の目標を16ページにわたる「自己発見ノート」に書かせることにしています。自分のテニスや将来を確認させ、自分を気づかせる第一歩です。次に年末の合宿に参加し、そこで「今の自分」と「今後の自分」に必要な体力、技術、精神力の確認を、私たちといっしょに行ないます。

そして2月～3月の2ヵ月合宿を通じて、1年間の準備を徹底的に行なうこととしています。肝心なのは“自己の選択”ですから、練習環境や指導者がどんなに指導しても、最終的に判断し、実行するのは学生本人です。流されず自分の将来を見据えて選択できたものが勝利をつかみます。

そのときに必ずといっていいほど“教養”が大切になります。テニスはミスのゲームであって、自分本位の試合は、レベルが上がれば上がるほど、相手との駆け引きの中で“無理”や“無駄”が通用しなくなります。効率性や確率が大きな勝利のウエイトを占めてきます。そこでミスをどのように修正するかの能力が試されるわけです。

部活と授業の両立ができない選手はバランスを失い、「相手を知ること」も「自分も知ること」も「テニスやゲーム状況を知ること」も、そしてそれらを「説明すること」もできず、修正を失い自滅していくことになります。

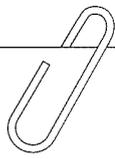
テニスは実に正直で、バランス感覚をもたない選手には勝利をプレゼントすることはありません。ですからテニスの競技力に、まさしく部活と教養はプラスに働くのです。文◎堀内昌一





文武両道





法学部 Law

全学部生 ● 1,732人 男女比 ● 男1,352人(78.1%):女380人(21.9%)

辻本有佳里^(3年)の場合

「自分の可能性を広げるために」

法学部には、法科大学院・公務員・企業・現代法文化の4コースがあり、2年生から自分が選んだコースに沿って法律を学びます。途中でのコース変更も可能なので、自分のやりたいことに合わせて、それらを選択できます。

私は企業コースに在籍しているのですが、会社法や民法、行政法を必修科目として学ぶことによって、企業に就職した際に必要な法律の知識を学んでいます。しかし、法学部だから法律しか勉強しないというわけではなく、政治に関する科目から経済

的な科目まで内容は様々です。私も元々は心理学に興味があったのですが、法学部では犯罪心理学を学べ、また教職課程でも心理学を学べるということを知り、この学部で学びたいと思いました。

法律は難しく感じる部分も多いですが、多面的に物事を考える力も身に付くので、勉強しておいて損になることはありません。むしろ、法律を学びながら自分のやりたいことを見つけ、将来に繋がる学びが出来る学部だと思います。

週間スケジュール

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1限目		日本史	倫理学(教職)	外国史II	教育原理(教職)		
2限目	民法III		数学入門II	知的財産法		練習&トレーニング	練習&トレーニング
3限目	基礎数理IV		知的財産法	民法III	英語総合VI		
4限目	会社法・商行為法		練習&トレーニング	英語総合IV	教育相談	フリー	フリー
5限目	会社法・商行為法	英語総合II		練習&トレーニング	練習&トレーニング		
16:00 ~ 20:20	オフ	練習&トレーニング					
20:30		解散	解散	解散	解散		

基礎学力が高まるカリキュラム

法学部では、全学生がキャリア開発教育を受けています。全学共通科目の「基礎数理」を必修科目とするほか、専門選択科目として「公務員教養」を配置し、各種就職試験に対応しています。

公務員試験にも対応した充実の科目群

各種資格取得のほか、公務員を目指す学生を重点的にサポートします。国家・地方公務員試験に対応する科目を配置するとともに、課外講座「公務員試験講座」との連携も図っています。

ゼミを中心とした少人数教育の展開

法学・政治学の学び方を身につける1年次の「オリエンテーションゼミ」「基礎演習」、卒業研修を通じて学生が自立して専門的調査・分析を行う能力を育成する「演習」(専門ゼミ)など、少人数教育を展開します。「演習」では、卒業論文やプレゼンテーションなどの形式で、4年間の学習成果を形に残します。

公務員コース

行政事務、警察、消防士など、国家・地方の公務員試験を受験する学生のためのコースです。公務員試験科目を中心としながら、法的要素のある優れた公務員の養成をめざした科目編成になっています。

企業コース

企業に就職する学生を想定し、法律の基本科目に加え、企業の組織や企業に取引に関する専門科目を中心に、ビジネスに直結する法律科目を配置しています。

法律専門職コース

裁判官、検察官、弁護士、司法書士、行政書士などの専門家や法律関連の資格所得をめざす学生のためのコースです。実定法科目をしっかり学習します。

現代法文化法コース

現代社会の多種多様な問題に対して、法的なものの方、考え方からアプローチできる能力の修得をめざします。亜細亜大学アメリカプログラム(AUAP)や中国の留学機会を活かすなど、より柔軟に履修科目を選択できます。

主な勤務先

積水ハウス/大日本塗料/LIXIL/中国電力/全日本空輸/東日本旅客鉄道(JR東日本)/ニトリ/みずほ銀行/ゆうちょ銀行/明治安田生命保険/大和証券/京王プラザホテル/東京地方検察庁/新宿区役所/警視庁/入国警備官

経済学部 Economics

全学部生 ● 1,271人 男女比 ● 男子1,018人(80.1%):女子253人(19.9%)

土居祐太(3年)の場合

「経済学を学ぶ」

私が在籍している経済学部は、その名の通り経済を学ぶ場です。1年次では、経済学の基礎を身につけ、2年次からはその基礎を活用し、より専門的なことを学びます。

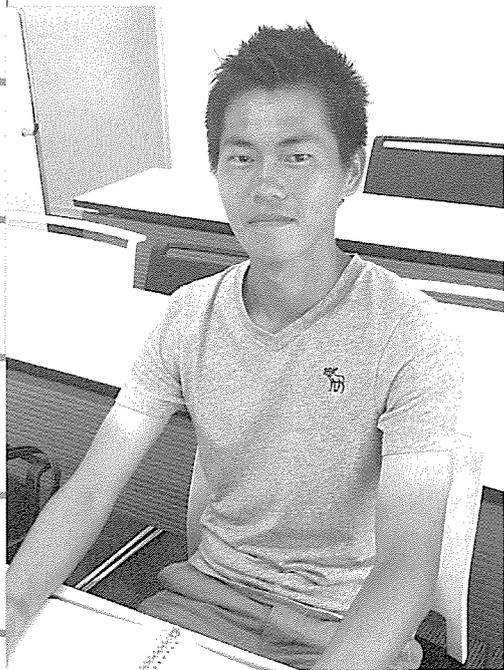
私は、現状の世の中の動きを知ること、今後の経済の傾向や対策が見えてくると思います。経済に正解はないと思うので、私自身がとても重視している自分で考える力を養うことが出来ます。

その力は、教養を高めるだけでなく、テニスにおいてもプラスに働

きます。テニスでは、相手がどんなプレーヤーなのかを知ることで、どのようにプレーすればいいのかが見えてきます。

また、どのようにプレーするのは自己判断です。自分で考え、決断する力を養ったことで、確実に学業面やテニス面で以前より成績が上がっています。

経済学は、自分の視野を広げてくれるので、とても魅力的だと実感しています。



週間スケジュール

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1限目		経済法				練習&トレーニング	練習&トレーニング
2限目	貨幣経済論	金融論	空間経済学	財政学	民法		
3限目	経済統計論	経営学	経済史文献講読I	経済学中級英語I			
4限目	オフ	練習&トレーニング	練習&トレーニング	練習&トレーニング	練習&トレーニング	フリー	フリー
5限目							
16:00 ~ 20:20							
20:30		解散	解散	解散	解散		

特徴

基礎から応用まで体系的に学ぶ新カリキュラム

1年次から2年次前期まで「入門経済学」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」などで経済学の基礎をしっかりと身につけ2年次後期からは自分の関心に沿った選択科目で発展的に学習。経済の深く広い知識を基礎から応用まで系統的に学びます。

将来の志望に合わせて豊富な専門科目から選択

会計・税務・金融の専門家、国家・地方公務員、グローバル社会で活躍する人材など、将来の志望に合わせて理想的な履修モデルを設定し、それに必要な専門科目を開講。進路に合わせた科目選択ができます。

少人数クラスで問題解決型人材へ成長

1・2年次には経済データに親しみながら分析ツールを学び、3・4年次には充実した演習や文献購読で深い専門性と多角的な見方を修得。少人数クラスより、現実社会への応用力のある、問題解決能力の高い人材を育成します。

カリキュラム紹介

現代経済コース

経済を深く理解できる社会人を目指します。経済学の基礎から応用まで幅広く学べます。

税務・会計インテンシブコース

経済と会計ができるビジネスパーソンを目指します。1年次からコースの基礎科目を学びます。

主な勤務先

みずほ銀行/三井住友銀行/住友信託銀行/積水ハウス/住友林業/飛鳥建設/TKC/ソフトバンク/ソニー・ミュージックエンタテインメント/帝国ホテル/富士通/ワコール/ブルボン/全業工業/国分/セブン-イレブン・ジャパン/東急ストア/ユニアデックス/みずほインターベース証券/ワタベウェディング/日本郵便

国際関係学部 International Relations

全学部生 ● 1,359人 男女比 ● 男子520人(38.3%):女子839人(61.7%)

足立菊華(2年)の場合

「国際力を身に付ける」

国際関係学部には、2つの学科があります。まず、国際関係学部では国際法、国際政治、国際経済、国際協力など多様な科目を学びます。2年次後期に全員「5ヶ月間のアメリカ留学」を体験します。

そして、私の在籍している多文化コミュニケーション学科では異文化交流、観光学、言語学、文化人類学、など幅広い国際教養科目を学びます。又、学科名にあるように英語に加え韓国語、中国語、インドネシア語、ヒンディー語、アラビア語、スペイン語の中から1つを必修で学びます。私は、インドネシアに5年間住んでいた経験を

生かして、インドネシア語を必修科目として学んでいます。ネイティブの先生がスピーキングを担当していただいたり、他にもライティングと文法を日本人の先生が教えてくれます。検定なども取る事が出来、社会に出る前に取得出来るスキルとして強みになると思います。留学生の生徒も多く在籍しているので身近に異文化に触れる機会がある素晴らしい学科だと思います。亜細亜大学で開催されるフューチャーズという国際大会でも、学校で学んだ事を活かして外国人の選手とコミュニケーションを取る事が出来ます。

世界を視野に入れた、幅広い分野での活躍を夢見る学生に国際関係学部をお勧めします。

週間スケジュール

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1限目					F・E		
2限目	古典文学	文化人類学入門	オリエンテーションゼミ	F・E		練習&トレーニング	練習&トレーニング
3限目	日本文学	インドネシア語	インドネシア語	生物学II	スポーツの科学		
4限目	東洋史	練習&トレーニング	インドネシア語	テニスB	練習&トレーニング	フリー	フリー
5限目	経済学入門		フィールドワーク入門	テニスB			
16:00 20:20	オフ	練習&トレーニング	練習&トレーニング	練習&トレーニング			
20:30		解散	解散	解散	解散		

外国語によるコミュニケーション能力の習得

英語の学習を基礎としつつ(TOEIC600点以上を目標)、韓国語、中国語、インドネシア語、ヒンディー語、アラビア語、スペイン語の中から1言語を地域言語として選択し、1年次から本格的に学びます。

フィールドワークによる現地体験型学習

国内外での現地調査(フィールドワーク)を通して、自分の感性で多文化に触れ、課題を葉発見する力を鍛えます。調査後の発表でプレゼンテーション能力の修得にも注力します。

社会人類学、社会学を柱とする多文化理解

アジア、アフリカ、中南米の文化から観光、宗教、多文化インターシップなど多彩なテーマの科目を用意。文化人類学、社会学を軸に、国際社会に役立つ幅広い教養が身につきます。

経済ビジネスコース

幅広い視野と判断力を身につけ、国際企業人や国際公務員など、世界で活躍できる人材になるために必要な知識を学びます。

平和政策コース

本コースでは、紛争解決や平和構築の問題を政治と法の側面から学ぶことで、海外で活躍するために必要な広い視野と深い洞察力をもった人材を育成します。

国際協力コース

開発途上国の経済発展や貧困、格差、感染症など開発問題と開発援助について、さまざまな角度から学びます。問題解決に必要な知識と、知識を現場で活用するための実践力を同時に養います。

主な勤務先

積水ハウス/ワコール/花王/資生堂/東芝/NHK/JR東日本/全日本空輸/ユニクロ/三井住友カード/ヒルトン東京/第一生命保険/セコム/外務省/警視庁/防衛省/ディスコ/ツツミ/明治安田生命保険/近畿日本ツーリスト/トランスコスモス/日本郵便

経営学部 Business

全学部生 ● 2,177人 男女比 ● 男1,174人(53.9%) 女1,003人(46.1%)

近郷桃子(2年)の場合

「経営学を学んで」

経営学部では、2つの学科があります。私が通っている経営学科では、主に「経営」、「マーケティング」、「会計」の3つの領域を学ぶ事が出来ます。私は、特にマーケティング領域に興味があり、その領域で言えば製品やサービスの生産から、卸・小売を含む流通、販売までの広い範囲に渡るマーケティングの基礎からマーケティングの体系的な知識まで習得して行く事が可能です。又、会計科目の基盤となる「簿記原理」と「会計学」を学習する為、日商簿記3級を目

指せる知識が付きまします。もう1つのホスピタリティマネジメント学科では、「ホテル&ブライダル」、「フードサービス」、「パッセンジャーサービス」、「トラベル」、「スポーツ・ホスピタリティ」という5つの分野について学べ、多くの研修を伴い、現場で必要なスキルを養う事が出来ます。この様に、経営学部では、色々な角度から企業や組織を学び、実生活で応用が出来るので企業に就職した際にも役立ちます。少しでも興味がある方は経営学部に入ってみてはいかがでしょうか。

週間スケジュール

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1限目	管理会計論文	管理会計論	経営組織論	生理学		練習&トレーニング	練習&トレーニング
2限目	経営組織論	法学	流通論	流通論			
3限目							
4限目	オフ	選択英語		選択英語	数学入門		
5限目							
16:00 ~ 20:20	オフ	練習&トレーニング	練習&トレーニング	練習&トレーニング	練習&トレーニング	フリー	フリー
20:30		解散	解散	解散	解散		

聴く力を養う「インタビュー実践」

オリエンテーション・ゼミナールでは、産業界で活躍する企業人への「インタビュー実践」を導入。職業意識を高めるとともに、大学で何を学ぶべきかについて先人の知恵を学びます。1クラス約15名の少人数制ゼミナールです。

行動力と主体性を養うアクティブ・トレーニング

基礎ゼミナールでは、約30のテーマの中から学生自身が興味のあるテーマを選択し、自ら設定した課題について、実際に現場を訪れたりしながら調査・分析を実施します。グループワーク形式で学習を行い、成果をプレゼンテーション形式で発表します。能動的に学ぶ姿勢が身につきます。

就職力を養う実践プログラム

経営学科では企業経営に関する多様な理論を学習しますが、修得した知識を現実に活かすことを目的にトップマネジメント特別講義、インターシップ、ビジネス体験プログラム、といった体験型授業が設置されています。理論と体験を融合することで就業力を高めます。

主な勤務先 | 東急建設/東芝/パナソニック/タニタ/JR西日本/ユニクロ/みずほ銀行/三井住友銀行/日本郵便/警視庁/ワコール/みずほフィナンシャルグループ/三井住友銀行

経営学科

「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」という4つの経営資源を管理する。ノウハウを学ぶ。コミュニケーション能力や情報処理能力、数量的分析力といった幅広い教養と、企業経営に関わる専門的で実践的なマーケティング、経営戦略、会計、人材管理の知識を修得します。

ホスピタリティ・マネジメント学科

平成28年4月、従来の「クラブ領域」を、スポーツとホスピタリティを融合した「スポーツ・ホスピタリティ」として整備拡充しています。基本的なマネジメントスキルとホスピタリティマインドを学び、未来のホスピタリティ業界、そしてスポーツ業界をリードし得る人材を養成していきます。

カリキュラム紹介

短期大学部 Junior College

全学部生 ● 464人 男女比 ● 男子84人(18.1%) 女子380人(81.9%)

各種科目を力強くサポート

日商簿記3級、日商販売士3級、情報検定など各種資格の取得を授業を通してしっかりサポートします。

特徴

取得単位を活かせる編入制度

成績上位者は、各学部3年次への編入も可能。短期大学で取得した卒業要件単位は編入学する学部単位として認定されます。

コミュニケーション力を育成

企業、団体の協力を得て、実務研修や職場体験を実施。実務家による指導も多く職業基礎能力やビジネスマナーを習得します。

大学に入って、変わりました! こんなに変わりました!

CASE 1 仲村元希(4年)の場合

関西出身の私が関東の大学を選んだ理由は、レベルの高いところでテニスがしたいと思ったからです。正直、亜細亜大学は第一希望ではありませんでした。しかし今では亜細亜に入れて良かったと思います。その理由は、テニスに打ち込める環境があるからです。亜細亜には、ハード8面オムニ2面のコートがあり、思う存分練習することができます。また、常にスタッフの方が練習を見てくれてアドバイスをしてくれます。自分で考えなければいけないときもちろんありますが、コーチがいてくれるということが悩んだときにすごく頼りになりました。大学に入り、試合中の考え方がとても変わりました。高校生の頃は、自分のこと中心に考えていたのですが、大学では相手の心理や試合の流れを考えるようになり、テニスの奥深さを少し理解出来た気がします。

また、JOP大会やITFの試合にも積極的に出場出来るのが他大学に比べていい点だと思います。格上の人と試合することも多くなり、自分のテニスをレベルアップさせるきっかけにもなります。亜細亜ではフューチャーズも開催していて、本戦WCをいただき、3年目にしてATPを取ることが出来ました。また、ダブルスではタイの元デ杯選手とあと一步のところまで戦うことが出来ました。その試合に勝てばダブルスでもATPを取れていたと思うととても悔しいです。ですが、大学生の私たちでも十分勝つチャンスはあることを実感しました。海外の選手や日本のトップ選手と戦えるチャンスはめったにないので、とてもいい刺激を受けることが出来、自分のテニスに対する考えが大きく変わりました。

リーグ戦では、一昨年に2部に落ちてしまいましたが、必ず1部に昇格する気持ちで部員全員が日々の練習に取り組んでいます。部員それぞれが高い目標を持っていることも亜細亜の良さだと思います。今年が最後になりますが、インカレで一つでも多く勝ち上がり、リーグ戦で全てを出し切れるように準備していきたいと思っています。



森 総詞
コーチ



から見た 仲村元希

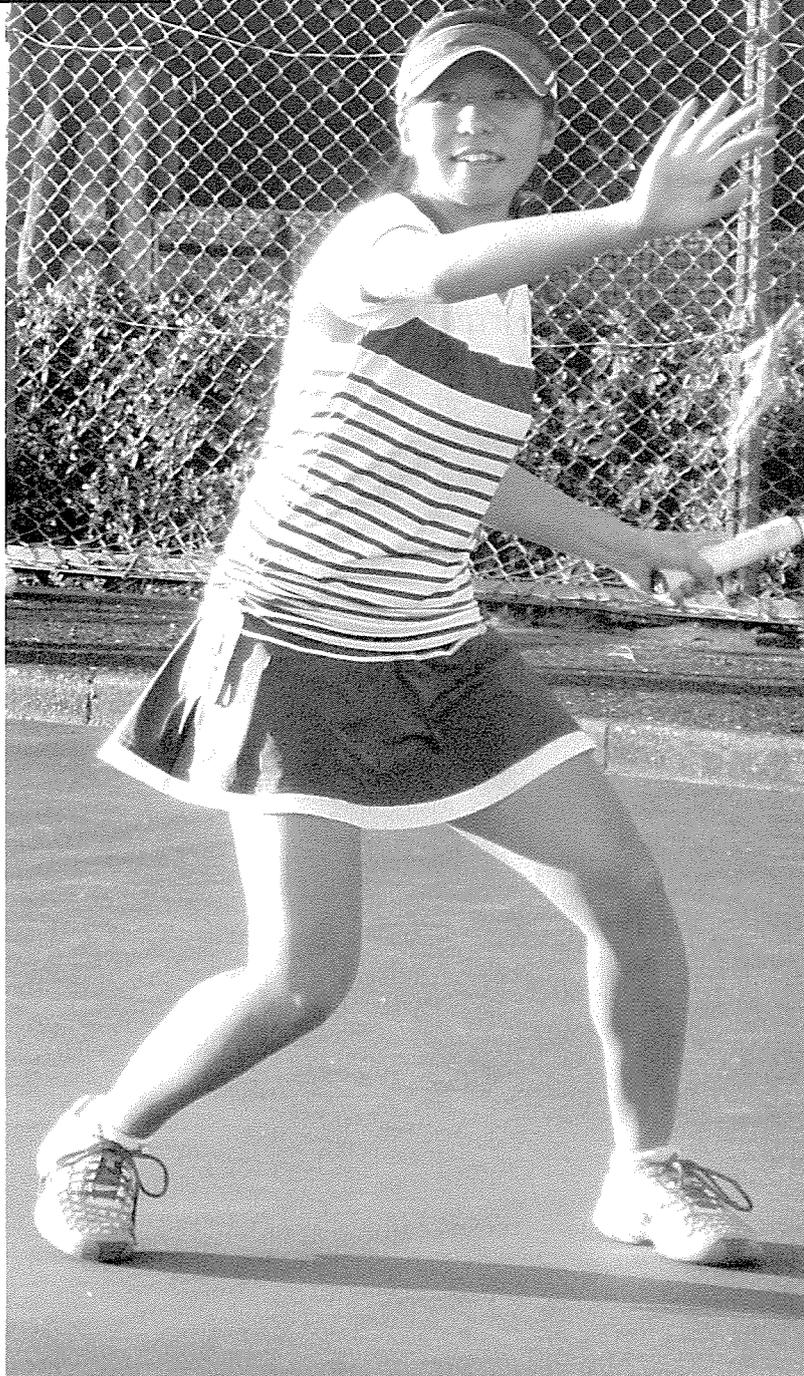
一見クールに見えるが、とても負けず嫌いな一面を持っている。バックハンドとネットプレーを武器にオールラウンドなプレーでゲームを作るタイプで、最近フォアハンドも安定感を増しプレーの幅も広がってきている。今年3月に行われたF1 亜細亜フューチャーズで自身初のATPポイントを獲得し、世界ランカーの仲間入りを果たした。よく考えたプレーの中で、勝負どころでの思い切ったプレーが常に出るようになれば勝率も上がること間違いなし。1年生から比べると安定感の質が上がり、期待が活躍される。

CASE 2 松本千広(4年)の場合

私は今、4年生となりアジア女子ローンテニス部主将を務めています。1年生の頃は関東学生、2年生はインカレ、3年生でインカレ室内に出場し、3月には甲府国際でWTAポイントを1点獲得しました。私が大学に入学した時の実力では、WTAポイントなんてほど遠く絶対に手に届く物ではないと思っていました。しかし、亜細亜大学テニス部に入部し、テニスに対する考え方が大きく変わり、プレースタイルも高校生の頃と比べると、とても変わったと思います。

亜細亜大学の練習は基本を大事にしているので、基礎練習が多くその中から応用練習を行います。特にサービスはピッチングから練習していて、毎日の練習前には必ずキャッチボールをしています。練習時間、トレーニングの時間もしっかりと確保されておりテニスの上達する最高の環境だと思います。それに加え監督、コーチが練習を見てくださりアドバイスをたくさんしていただけます。その中でも亜細亜大学はただコーチに見てもらっただけでなくて自分自身で考えることを大切にしています。基本的に毎日の練習メニューは学生が考えています。学生が考えたことに対して、コーチからアドバイスをいただくというのが亜細亜のスタンスです。テニスは試合になれば一人が考えて、一人でプレーしなければいけません。その為にも日々の練習から自分で考えることはとても重要になります。私は高校生の時は試合中、ただ自分のやりたいことをしているだけでした。考えてテニスを出来なかった私は当然、勝ち続けるのは難しかったです。しかし亜細亜大学に来て、テニスに対する考え方が大きく変わり、戦績も出始め、高校生の頃では絶対に勝てないと思っていた人に勝てるようになりました。自分の目標を次、次と達成していくことができ、テニスがとても楽しいです。一度立てた目標も、達成すればまたもう一段階上の新しい目標ができる。その繰り返しです。なので、もっともっと強くなって大学最後の年で最高の戦績を出したいです!

高校生のみなさん、亜細亜大学でテニスを学びませんか?こんな環境はなかなか無いと思います。一緒に頑張りましょう。



岡本聖子
コーチ



から見た 松本千広

彼女が2年生の冬合宿の時「チームを強くしたい。その為にはまず自分が強くならなくては」と言っていたことを覚えています。それからは有言実行。昨年のリーグ戦では3年生ながらNo1として活躍し、チーム全体に「やれば出来る!」という雰囲気を作ってくれました。

自分のテニスに限界を作らず、貪欲に取り組む彼女の真摯な姿勢は、一生懸命頑張って前向きにトライしていれば結果は必ず出てくるということを示してくれています。今年は試合経験を積み、応用力を磨いていけば、更なる飛躍が出来ると信じています。

CASE 3 田中亮寛(2年)の場合

私が亜細亜大学に入学して最も変わったと感じるのは、自分で考えて練習するようになったことです。高校生の時は部活ではなく、テニスクラブが練習拠点だったのでメニューやアドバイスは与えられることが多かったのですが、亜細亜大学に入学してからは、自分で練習メニューを考え、コーチに自分からアドバイスを求めることが増えました。それによって自分のテニスを深く考えられるようになったことが、昨年の成績につながったと思います。

亜細亜にはテニスコート10面、400メートルトラック、トレーニングセンターなど最高の練習環境が整っている上、たくさんの熱意ある一流のスタッフの方々に毎日練習を見ていただける環境は

他の大学をみても少ないと思います。私はこの環境を最大限に活かし、インカレで優勝することを目指し日々努力しています。

また、チームとしての目標は1部に昇格することです。昨年のリーグ戦、入れ替え戦ではとても悔しい思いをしました。個人としてもコンディションが万全でなかったことや、あまり勝ち星を挙げられずチームの勝利に貢献できなかったことをとても悔しく思います。今年のリーグ戦では昨年の経験を生かしてチームの勝利に貢献し、1部昇格という目標を達成したいと思います。

今年の後期には国際関係学部の必修として、5ヶ月間アメリカに留学します。この新たな挑戦で視野が広がり、今までとは違った物の見方が出来るようになり、人として成長出来るようになりたいと思います。大学生活も2年目になり、高校生の時に感じた心配や不安はなくなって、下宿生活にも慣れました。私は監督、スタッフ、OBOGを含む諸先輩方に支えられ、同期と共に充実した毎日を送ることができています。また大学側も体育会の活動に大変理解があり、一般の試合に出る機会もたくさんあります。亜細亜大学テニス部には、好きなテニスを続けながら大学生活を送れる環境が整っています。

佐藤武文
コーチ

から見た 田中亮寛

フェド杯監督の吉田友佳さん。彼女の選手時代に私はウインブルドンの前哨戦から本戦そしてUSオープンとその間の練習相手を務めていました。そんな彼女が田中亮寛のテニスを始めた頃からのコーチということで、不思議な縁を感じます。

彼のストロングポイントはブレない思考です。それは頑固のそれではなく、堀内監督と我が校に数人いるコーチからのアドバイスを真摯に聞き、それを受け入れ実践する。そして最終的に自分にフィットしたアドバイスを自分のものにする。この繰り返しを愚直に行うのが彼の強み。やはり学生本人が自分の頭で考え、実践する事こそ、向上する大切なプロセスだと考えています。

インカレ優勝以上の活躍を彼には期待しています。

CASE 4 田中文彩(2年)の場合

私が亜細亜大学を選んだ理由は、もっと高いレベルに挑戦して行くために必要な環境が整っていると感じたからです。大勢のコーチ陣が熱心に指導して下さいことや、日々の部活に真剣に取り組む先輩方を見て、ここに進学して良かったと思います。私は高校3年生の時には全国大会にも出られず、入部したばかりの時とはとにかく必死に付いて行くことしか出来ませんでした。環境が変わったこともあって毎日悩むことばかりでしたが、コーチや先輩の支えを受けながら逃げずに向き合えたことが、少しずつですが自分の成長に繋がっていると思います。また、高校時代よりもトレーニング時間が増え、自分に足りないことに気付いて取り組むことが出来るので、テニスの幅も以前より広がってきたように感じています。学生トレーナーという役割にも付き、部のトレーニングについてトレーナーの方と考えることでよりトレーニングの大切さが理解出来たと思います。

昨年度の関東リーグでは、単複で出場させて頂きましたがチームの勝利に全く貢献出来ませんでした。各大学のプライドを掛けた戦いはとても緊張感があり、今まで経験したものと違い、戦うごとに自分の課題が明確になり、なぜもっと苦手な練習をしてこなかったのかと悔やみました。しかし今年は今から王座出場という目標に向かって、お互いに指摘し合って練習することが出来ています。チームに貢献し、活躍することが今年の目標です。また個人の目標はインカレで優勝することと全日本選手権に出場することです。達成のために、この環境や1日1日を無駄にせず、自分で考え練習に励んでいきたいと思っています。

学生は授業がありテニスとの両立は大変ですが、毎日が楽しく自己管理をする勉強になり、貴重な経験が出来てい



ます。また、亜細亜大学ではオープン大会に積極的に出場し、プロに勝つ学生になることを目標として掲げています。高校までとは違うステージでのテニスを経験し、気付くことの無かった課題を知り、より強くなるチャンスを亜細亜では得られると思います。



岡本聖子
コーチ



田中文彩

昨年度の関東学生リーグでは、1年生にして、単複共に出場し、その経験が彼女を大きく成長させたと思います。彼女の身体は決して大きくなく、力もそれほど強くないのですが、頭を使ってプレーできることが1番の強みです。自立心も強く、課題を明確にし、自ら練習、トレーニングに取り組むことができます。時に、思考が先行しすぎて、挑戦しなかったり、動きが鈍くなる時がありますが、今年は、全国大会での結果に期待しています。

CASE 5 結城慎之介(2年)の場合

て亜細亜大学へ入ろうと決めた一言となりました。

春関、夏関では本戦に上がって関東学生資格を取ることを目指していましたが、結果は納得できるものではありませんでした。しかし、10月の秋季リーグからだんだん調子が上がり始め、2月の新進でシングルスにおいて本戦に上がることができました。入学する前から目標として掲げていた関東学生になるという目標を達成することができました。ここまで来るのに長い道のりだったと実感しています。

私が亜細亜に入って一番変わったと思うことはメンタルです。亜細亜に入って学生同士で切磋琢磨しながら練習していく中で、絶対誰にも負けたくないという気持ちに変わっていききました。テニスはメンタルですごく左右されてしまうスポーツなのでいかにメンタルを強く持てるかが重要になってくると思います。

亜細亜は練習環境、トレーニング環境すべてが整っています。また、スタッフの方々は素晴らしい技術を持った人

がたくさんいます。ですがその環境に甘えては強くなりません。自分でどれだけ吸収できるかだと思います。高校のときは何もしなくても教えてもらっていましたが、大学では自分から聞きに行かないと何もしてくれません。今回新進で関東学生の本戦に上がることは出来ましたが、まだまだこの結果で満足はしていません。今年は2年目で勝負の年なので、インカレに出場し、リーグで活躍して1部に昇格できるように頑張りたいです。



森裕詞
コーチ



結城慎之介

サーブとフォアハンドを武器にオールラウンドなテニスの特徴。人物的には明るく誠実さを感じる好青年です。はじめ、会話をした時と試合を観た時のギャップに少々驚いたのを覚えています。「考えている」というよりも「自然とやっている」という印象の強い選手でした。彼自身のポテンシャルは、インターハイシングルスBest16の実績からも頷けます。今後は、大学生活で思考力に磨きをかけ表現力を身につけること。テニスとは、一見関係のなさそうに見える部分の向上により、今後の彼の活躍に期待したいと思います。

私が亜細亜に入ったきっかけは高校1年生の時に年末合宿に参加したことが始まりです。そこでは充実した練習内容とレベルの高い練習が行われていました。その後、高校3年生のインターハイのシングルスでベスト16に入り、そのインターハイで勧誘していただいた際にももらった「テニスをするなら亜細亜」というアジパンの言葉が、新潟から上京し

2003 Australian Open Review

亜細亜大学、メルボルンへ行く。

「大学に行ったら
世界に行けないなんて
言わせない」

2003年1月、賑わうオーストラリアン・オープンの会場内を
ウロウロする日本人学生のグループがいた。
全国でもトップクラスを誇る亜細亜大学テニス部のメンバー6人。
彼らは世界最高峰グランドスラムを
「観る」という「意味」を持ってそこにいた。

文◎吉松忠弘 写真◎高野 徹
記事提供◎テニスマガジン(2003年5月号)

学校教育とクラブスポーツ、
大学テニスの共存

学校教育とスポーツは、それほど切り離さなくてはいけないものだろうか。昨今の論調は「地域に根ざすクラブスポーツ」を題目に、学校体育を批判し、「学校など」という形容詞で、短絡的にスポーツ強化のためには学校（日本的な記憶・暗記教育のことではあろう）は「害」と指摘する。

しかし、現実主義者から見ると、そう簡単にことは運ばない。落伍者は「失格」という価値観を共有したい大多数が、あと戻りできない社会を形成している以上、その中で「安定」や「慎重」を求めることは決して責められない（好き嫌いは別として）。

国際通とか海外志向の高い指導者や関係者はその現実を無視し、「もっと海外に」やら「学校なんか」と言う。ならば世界でも高水準にある約97%の高校進学率、約50%の大学進学率（平成15年度文部科学省の教育指標の国際比較から）は無意味なのだろうか。その率が減り、学校体育がなくなり、義務教育が終了すれば、スポーツにかけられる人が増えることが得意の「文化の創造」ということだろうか。そして日本国民は本当にそれを望んでいるのだろうか。

壮大なテーマになり、それを解説することがこの本道ではないので割愛する

が、現時点で中等教育以上（義務教育以降をこう呼ぶ）の学校を無視はできない。クラブスポーツも裾野を広げることが重要であり、つまり共存するしか日本の将来は見えてこないだろう。

その中であってテニスも同じ悩みを抱える。特に究極の個人スポーツであるテニスは、若年層からの強化が重要視されており、それは学校教育となかなか相容れない。高校までなら18歳以下というジュニア枠に入り、まだ救いはあるだろう。しかし大学のテニスは、日本でもっとも忘れ去られた存在である。日本のテニスには、ジュニア、社会人、プロという構図しかないようにも思える。

ただ、この先、クラブスポーツや学校体育の共存を考えるなら、大学テニスを無視するわけにはいかない。そして大学テニス自身も、自ら動き出す必要がある。今年のオーストラリアン・オープンで、亜細亜大学テニス部がとった「観戦」という行動は、文字にしてみると他愛のないことだ。しかし、少なくとも共存への小さな一歩だったことだけは確かである。

選手とコーチに必要な
目標に対する逆算の理論

音頭取りは、OBで昨年（2002年）の4月からコーチに就任した森稔詞だった。森はグランドスラム本戦出場を経験して

いないが、予選には数回チャレンジしている。その自分より才能がありそうないまの大学生が、手をこまねいているのが歯がゆかった。

「本気でチャレンジすればできないことはない。できないと決める方がおかしい。だったら行ってみようと。僕自身もいまのグランドスラムを見ていなかったから、学生全員にメールを出して、自費だけで行こうと誘った」

自費の有志なので遠征ではない。集まったのは、男子で昨年インカレ・ベスト4の宮崎靖雄、同ベスト8の比嘉明人、01年関東学生新進戦ベスト4の平良和己、女子で01年インカレ・ベスト4の北崎悦子の4人である。

しかし、この4人に森、堀内昌一総監督を加えた6人がオーストラリアン・オープンに来て、観戦して帰ったというだけなら、残ることは稀薄に違いない。

「驚き」や「感嘆」が彼らを揺さぶるに違いないが、それだけだ。時間が経てば、少なからずとも消滅する。まして20歳代は、精神よりも実体験だ。物理的な接触到に優るモノはない。森は、その体験を学生たちにさせた。宮崎、北崎を予選出場に挑戦させ、宮崎は予選のサインアップまでたどり着いた。

「運営の人たちが、何でおまえなんて来ているんだって、冷たい視線なんですよ。このランキングでよくここまで来たなんて。あー、ここは実力世界なんだなと、ランクを上げないとダメなんだなと思いましたね」

宮崎の世界ランキングは1116位。もちろん出場には、通例なら箸にも棒にもかからない。しかし今年の予選は欠場者が続出し、出場者の最低ランキングは904位にまで下がった。チャンスは本当に目の前に転がっていたのである。しかし、そこに選手がいなければ出場できないのは自明の理だ。

北崎はエントリーをしていなかったため、予選のサインアップはできなかったが、予選初日にラッキーローザーのサインアップができた。

「初めは自分なんかサインアップしていいかなって思ったんです。引き気味でした。でも、試合を見ていたら、何倍も努力しないとダメだけど、私でも何とかなると。それに、ここに自分が立っていたらと思いつながら、試合を見ることができたのは大きかったです」



比嘉と平良は、先のふたりのような体験はできなかったが、会場で練習を執行する。もちろん厳密に言えば、選手でもない人間がコートを使用するのは違反だ。予選の最終日に、朝7時半から空いているコートを見つけて4人で練習をした。そのぐらいの厚かましさがなければ、世界のテニス界ではやっていけない。

「心構えからして、ここで戦っている選手は違う。勝つ意識や執念がすごい。技術とかいう以前の問題で、気持ちから入れ替ええない」

比嘉は話す。平良も同様だ。

「僕と同じくらいの身長 of の選手もいて、できないことはない。でも、彼らは勝たなきゃ食えないんだという意識がすごい。日本ではありえないですから」

彼らは帰国する前の日、念願だったセンターコートに初めて入り観戦した。

「ここに立てるようにならないとダメなんですわね」

北崎は、こうつぶやいた。

堀内監督はもっと早くこれを見ていたら、と少し悔やんだ。堀内監督は世界を知らないわけではない。テニスでアメリカの大学に留学し、また日本のジュニアの監督としてもウインブルドンに遠征したりしている。しかし大学の教員、監督という枠は多くのしがらみを生み、実質的に世界から遠ざかっていたことも確かだ。

「実際にそこにいないと逆算できないんですね。カレッジに行ったら世界に行けないなんて言わせたくない。そのためには選手もコーチも逆算じゃないとダメなんです。関東学生取ったらインカレ。インカレ取ったら全日本というプラスじゃなくて、グランドスラムがあって、そこに行くにはインカレや全日本があるという逆算じゃないと。そのためには、グランドスラムを実感していないと言えないし、選手も実感できないんですよ」

わずか10日ほどの滞豪だった。しかし6人が感じ、肌で触った日々は誰にも教えられないことである。そして問題はここからなのだ。この10日間が実を結ばなければ何も意味はない。

杉山愛は、27歳にしてテニス人生最高の瞬間を、ティアIIのステートファーム女子クラシックの単複優勝で飾った。遅いということはない。そして、それはステップを踏み出さなければ、いつまで経ってもやってこない。



堀内昌一 総監督

「僕が監督になったのは大学王座やインカレを最終目標にするためじゃない。大学は自分の力を伸ばすことが目標。そのためにはもう一回、自分がいるなことを見えないとダメになる。原点に戻ってみるとそこには夢があったはず。だから選手にはカレッジに夢を持って来てほしい。その夢を与えるのが僕ら自身の挑戦でもある」

森 稔詞 コーチ

「大学3年のときにJOP大会で貯めたお金でオーストラリアとアメリカのサテライトに初めて行った。そのときに感じたことを同じいまの大学生に味わってもらいたいと思っている。頂点を見ていれば、この先リアルに映像として残るはずだから」

北崎悦子 (2年)

「雑誌とか見ていて夢の舞台だったのが、実際に観て気持ちの面では変わりがないと感じた。(グランドスラムは)日本とテニスを盛り上げる環境が全然違う」

平良和己 (2年)

「周りの雰囲気違って、観客もすごい。圧倒された。選手たちのボールを打つタイミングも全然違うし、ミスで決まらない」

宮崎靖雄 (3年)

「(オーストラリアに来て)テニスに対する考え方が変わった。特に本村(剛一)さんに勝ったエスケデは、ショットは同じなのに体力や展開が違う。すごく印象的だった。みんな宿舎ではラケットに鉛を貼ったりして、"これで外国選手の重い球に負けにくいかな"などと言ったりしていた」

比嘉明人 (2年)

「ジャパンオープンくらいしか見たことがなくて、そのジャパンオープンでもすごいと思ったのに、こっちはそれ以上だった。もっと体とか強くないと戦えない」



卒業生、それぞれの道

プロへ To a Professional

岡本聖子
 テニスを始めた頃からの夢、
 グランドスラム出場を
 叶えることができました

私は小学校高学年でテニスを始め、夙川学院
 中部へ進学、同高校を卒業するまでの6年間、
 (高校では3年間の寮生活) 亜細亜大学での4
 年間、部活動でテニスを学びました。中学、高
 校ではテニスの上達を考えるよりも、顧問の先
 生や先輩方に怒られないことを一番に考え、休
 日はなし、“根性論”でひたすら走るという過
 酷な毎日を送っていました。先輩に理不尽に怒
 られては泣いて、同級生以外はすべて敵だと思
 いながらテニスをしていたくらいです(笑)。
 いま思い返せば、一生の友達と、誰にも負けな
 い根性を身につけた6年間でした。

その後、「プロに負けない学生」という堀内
 監督の言葉に惹かれ、亜細亜大学に進学し、完
 壁な練習環境の中、全国から集まるレベルの高
 い仲間たちと出会い、そ
 して恩師である堀内監督、
 OB・OGコーチからの温
 かい指導を受ける事がで
 きました。

東京という私にとって
 未知な場所でありながら
 も、中高6年間の部活経
 験と新しいテニス環境が
 合致し、大学3年生のと

きにインカレで単複優勝、全日本選手権大会で
 単準優勝、複ベスト4という結果を残すことが
 できました。そして、私はこの結果をきっかけ
 に、世界でプレーするプロたちを意識し始め、
 卒業を待ってプロ転向をしたのです。

高校時代の私には『部活』という、「自由
 が奪われ、個性が出しにくい場」というイメ
 ージがありました。でも、亜細亜大学に入って部
 活でテニスをする中で、工夫や努力が身につ
 き、本当に大切なものを見つけ、自分の個性が
 確立されたように思えます。

テニスを始めた頃からの夢だったグランドス
 ラム出場を叶えることができたのも、亜細亜大
 学をはじめ、支えてくださったみなさまのお陰
 だと思っています。

この亜細亜大学のテニスコートに、可能性を秘
 めた若い選手たちが来てくれることを、願っ
 ています。

おかもと・せいこ◎1978年3月14日生まれ。大阪府出身。夙川
 学院高校卒。95年インターハイ団体ベスト4、単ベスト8、複ベ
 スト4。96年亜細亜大学へ入学。97、98年大学王座優勝、98年
 インカレ単複優勝。全日本準優勝。卒業後にプロ転向し、グ
 ランドスラムはダブルスで全豪2年連続、シングルスはすべての予選
 に出場した。全日本複8勝、WTAツアー複1勝(浅越しのぶ)。
 WTA単最高位は178位(2006年1月)。2010年現役を引退し、
 現在は後輩の指導、プロ選手のサポート、テニスウェアの開発を
 行なっている

長谷川梨紗
 (プロテニスプレイヤー)
 亜細亜で大切な仲間
 に出会えました

私は亜細亜大学に入り、テニス以外でもと
 も大切なことに気付かされ、また大切な仲間に出
 会えました。

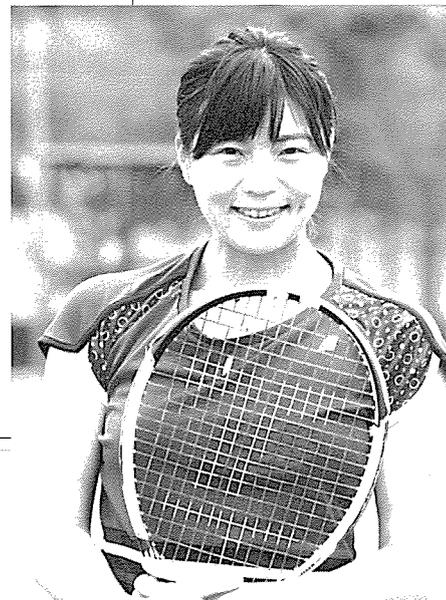
もちろん、テニス部に入ったからには文武両
 道で勉強、テニスを一生懸命やる。というのは
 当たり前のことだと思います。当時は監督に毎
 日毎日怒られながら部活に励んでいました。そ
 のおかげで忍耐力が付き、メンタルが強くな
 ったと実感しています(笑)それと同じ位自分
 にとってプラスになったことは最高の仲間に出
 会えたことです。入学前は元々一匹狼的な所が
 あり、どちらかというと暗い人間だったと思
 います。しかし、この部活に入ってから周りの仲
 間のおかげで、自分の奥底に眠っていた少しぶ
 飛んだ素の部分が目覚めだしました。年々、よ
 く笑うようになり、部活が楽しくなっていく
 つれて、もっと強くなりたい。という気持ちも
 増していきました。もちろん、テニスは個人ス
 ポーツですので周りはライバルになるわけ
 ですが、一步コートから出ると同志、戦友となる
 のです。特に同期は4年間苦楽を共にし、先輩に

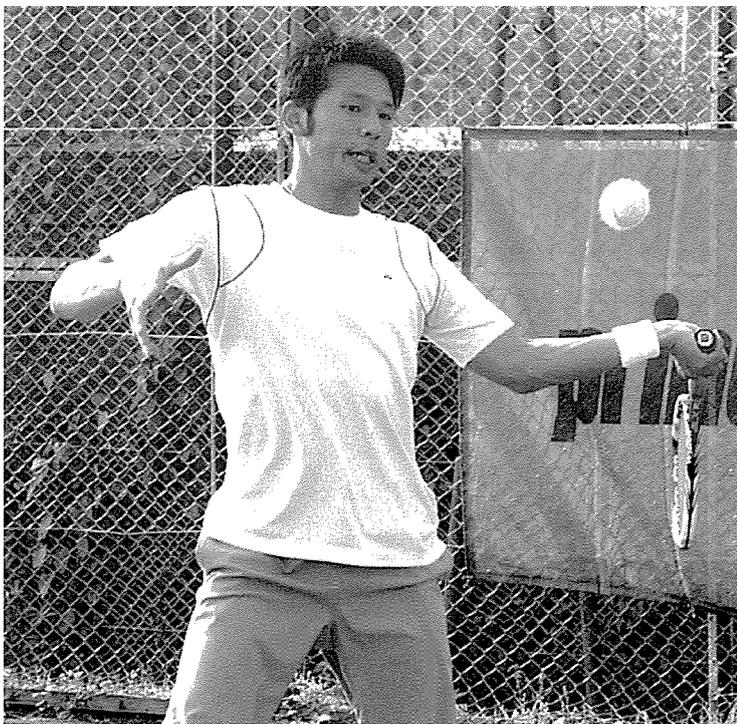
怒られることも沢山して、泣いて笑ってたま
 に喧嘩、最後には家族のような大きな存在にな
 りました。

私は大学4年間で、新たな自分を見つける
 ことが出来ました。いい意味で度胸が付き、今
 ではインドやエジプト遠征等一人で行く行動力
 とメンタルを発揮しています。

周りの人たちがいなければ、
 今の自分には出会えなかった
 ので、やはり亜細亜大学に入
 った良かったと強く実感しています。

はせがわ・りさ◎1990年1月23日生まれ。熊
 本県出身。東海大学付属望星高卒。08年
 亜細亜大入学。11年、インカレ単複ベ
 スト16。11年大学を卒業し、プロに転向。全日本
 選手権単複出場、三重国際女子オープン複
 優勝、毎日テニス選手権単ベスト8、ニュー
 デーリー国際オープン複優勝。WTA最高位は単
 926位(15年4月)、複652位(12年10月15
 日付)





――指導者&大学院へ――

To a Leader & Graduate school

は監督の指導に救われていましてあります。指導者の言葉はときに人生を変える力をもちます。私は堀内監督の言葉をいまでも憶えています。「どんなときでもさらに上のステージを目指せ」「自分に限界をつくるな」「何事にもチャレンジしろ」「テニスが強いだけでは意味がない」――これらの言葉は私の人間形成に大きく影響し、もはやそれは私の一部となりました。世間では『教育』に関するさまざまな問題がもたがっています。私が考える教育問題において一番大事なことは、「尊敬できる教育者」に出会うことだと思います。私は、堀内監督は間違いなくそれに値する人だと思いますし、心から尊敬しています。

私は亜細亜大を卒業したあと、プロテニスプレーヤーとして活動し、世界を目指してきました。海外転戦する生活の中で、あるときプレーヤーとしての自分ではなく、別の自分がこんなことを考え始めたのです。「海外と日本のスポーツ観の違い」「スポーツ生活者のスポーツを享受する能力の違い」「スポーツの価値に対する認識の違い」「なぜ日本のスポーツは多くの国民にとって身近な存在となり得ていないのか」「スポーツをさらに多くの人に余暇のひとつとして気軽に、平等に行なわれるものとするにはどのような経営がなされるべきか」などです。そのような疑問がやがて好奇心へと変わり、研究することを始めました。いまは、これまでとは違う形でテニス界に貢献していきたい――そう思うようになり、『体育経営学研究』の道を歩んでいます。

現在は筑波大学大学院に通いながら、亜細亜大のコーチをしています。学生たちに対する技術指導はもちろんのこと、私がこれまで経験してきたことを彼らに伝え、活かしてもらえるように、それによってたくさんの可能性を秘めた社会人になってもらえるように日々指導にあたっています。

大学という場所は、社会人になる前の最後の教育の場です。現在、私が周りを見渡す限り、勉強とテニスの両面で、本気で取り組んでいる組織は数少ないと思っています。亜細亜大は、学生が本気でチャレンジできる場所です。この素晴らしい環境を活用して、有意義な学生時代を歩んでみたいと考えている高校生の入部を待っています。

みやざきやすお◎1981年8月29日生まれ。熊本県出身。熊本マリスト学園高校卒。98年全国選抜室内ジュニア選手権優勝。99年ウィンブルドンジュニア出場、全日本ジュニア複優勝。00年亜細亜大学に入学。02年全日本学生室内単優勝、複準優勝。03、05年ユニバーシアード代表(05年トルコで複ベスト8)。JTA最高位単17位、複16位、ATP最高位単790位(05年)、複829位(05年)。04年に大学を卒業、プロ転向し選手活動を続ける。現在は筑波大学大学院にて体育経営学を勉強する一方、亜細亜大で後進の指導にあたっている

「自分に限界をつくるな」
監督の言葉は、いまでは私の一部となっています

宮崎靖雄

(筑波大学大学院卒／亜細亜大学テニス部コーチ)

私の亜細亜大学との出会いは中学3年のとき。堀内監督が私の出身地である熊本に、テニスの指導に来てくれたことがきっかけでした。当時、熊本県テニス協会は私が高校3年のときに行なわれる予定だった『熊本国体』に向けて、強化を図っていました。その中で協会が亜細亜大学に少年少女の競技力向上の要請をし、協力していただくこととなったのです。

当時の熊本県のテニスは“全国レベル”とは言い難く、当然、私自身のテニスも全国レベルではありませんでした。全国大会に出場するためのエントリー方法さえ知らないという状況です。そんな環境の中で育てきて、堀内監督の指導を受けたのですから、見るもの聞くものすべてが新しく、「亜細亜大へ練習に行きたい」「堀内監督の指導を受けてうまくなりたい」と思うのに時間はかかりませんでした。

中学3年の冬に東京に行き、亜細亜大の合宿に参加。およそ2ヶ月弱、大学生と同じ練習をさせていただきました。当時の亜細亜大は男女とも全国1位でしたから、先輩方にとっては私の存在は迷惑だったと思います。しかし私にとっては毎日が刺激的で楽しく、そのときの光景は昨日のこのように思い出されます。

高校生になると、休みのたびに練習に参加させていただくようになり、一方で堀内監督が熊本に出向いてくださり、指導していただくこともありました。そのような状況が続く中で、堀内監督の熱意が私の視野を世界へと向けさせてくれました。

熊本国体が終わっても、私の心の中では「世界を目指したい。そのためには日本一の指導力を誇る亜細亜大に行きたい」という想いが募っていき、進学を決めたのです。

振り返れば、私の学生時代はテニスに没頭した日々でした。さまざまな成功もありましたが、たくさんの失敗もありました。そのようなとき

就職ガイダンス

卒業・就職までのスケジュール

1年 働く意味を知り、
なりたい自分を見つける

2年 自分の強み、興味、
関心を仕事に向ける

キャリアガイダンス

キャリア形成の取り組みをサポートする説明会で、ワークシートなどを用いてキャリアに関するレクチャーを実施します。

● キャリアフィールドワーク

「働くこと」をリアルに捉え、職業観をより明確にすることを目的としている。大学生版「社会見学」のようなもので、就職をより強く意識する絶好のチャンスです。

● 就職準備講座

夏季集中講座。就職活動の3大要素、「自己分析」「企業訪問」「模擬面接」を学びます。

● キャリア講演会

社会で活躍する著名人や卒業生を招いての講演会を行ない、学生時代に「何をすべきか」を知り、その後の「生き方」を考えていきます。

● 職業興味検査

進路の方向性を客観的に理解するための機会。「職業と自分」を考えていきます。

キャリア・就職支援プログラム

● 個人面談

「学生一人と徹底的に向き合い、同じ目線で将来を見つける」キャリアセンターは常に学生とひとつになり、各自の興味・関心や個性を見据え「進路」を模索します。

● グッドカンパニーフェア

2月、3月、5月に企業の人事担当者の方に来ていただき「学内企業説明会」が行われます。約200社を招き、業務内容などを細かく説明してもらえます。

● キャリアデザイン

なりたい自分への道を描くスキルを身につける。

● 卒業生との語らい

亜細亜大学の卒業生をキャンパスに招き、就職活動体験や業界・企業に関する情報を教えもらうことができ、年齢が近く適切なアドバイスをもらうことができる。

● 業界研究セミナー

「業界」の概念を学び、志望企業をイメージする。日本を代表する企業約20社の人事担当者を招き、企業の動向や採用情報、求める人材像などを詳しく解説してもらいます。このセミナーをきっかけに進路を決定する学生も多数います。

資格取得支援および 各種講座も多数あり

- 公務員試験講座
[1講座6コース]
- 民間企業就職試験講座
[1講座2コース]
- 資格取得講座
[10講座15コース]
- TOEICテスト対策講座
[1講座16コース]
- 語学会話講座
[3講座15コース]
- 福祉関係講座
[3講座6コース]

専門課程

① 教職課程 [社会科、英語科(国際関係学部のみ)]

中学校、高校の一種教員免許状の取得を目指します。取得できる教科は、高等学校の公民・商業・英語高等学校の商業は、経営学部経営学科のみ。中学校の社会・英語中学校・高等学校の英語は国際関係学科のみ。学校図書館に配置される司書教諭の資格も取得できます。幅広いプログラムで実力のある教員を養成しています。

② 図書館学課程

図書館法によって定められている図書館司書の資格を取得できます。同時に、情報システムを駆使できる専門職を育成します。

③ 社会教育主事課程

生涯学習の企画・立案を行なう専門職を目指します。本課程修了で社会主事の講習を履修したことになります。

亜細亜大学では、入学時から多彩なキャリア・就活支援プログラムを展開。
自分に合った職業に就けるように全学年を通し、個別面談を中心に細かなサポートを行なっています。

3年 自分の適正を見極め、
目指す業界、
職種を絞り込む

4年 就職活動本番!
自信を持って選考へ

就職支援ガイダンス

キャリア・就職支援に関するセミナーや目的別講座を実施します。3年次には介護体験、4年次には教育実習が行われます。

● 自分を知る

自己理解、自己分析、履歴書作成を支援します。

● 業界・企業を知る

「人事担当による模擬面接」に「ビジネスマナー講座」「文献情報入手講座」「内定者に聞く「就活の基礎」」「卒業生との語らい」「業界研究セミナー」などの実施。

● いざ就活!

「グッドカンパニーフェア」「学内企業説明会」「専任職員による個別面談」の実施。

Hop

Jump

インターンシップ体験

2、3年次の夏休みに「インターンシップ体験(就業体験)」に参加するのが一般的。1年次にも参加できます。

「教育実習に行ってきました」

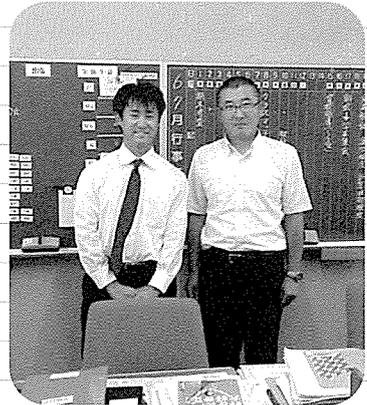
教育実習は新しい感覚ばかりで、自分にとって知らない世界を体験することができました!

私は3週間高校3年生の現代社会を担当させていただきました。今までは教わる立場でしたが、教える立場に立つのは初めてでした。人に教えるためには2倍も3倍もの知識が必要だということ、生徒に興味を持たせることが大切ということを学びました。特にこの「生徒に興味を持たせる」ことはとても難しく、一番悩んだ部分でした。これは、教師だけでなく、社会人にとっても必要なことだと思います。他人の興味を引くということは、この社会で生きていく上で最も考えなければいけないことだと思います。今まで21年間教えてくださった先生方の大変さを少しだけ理解できた気がします。

授業は教師のイマジネーションと個性が表れる場所だと思いました。様々な先生方の授業を見学させていただきましたが、どれも進め方や生徒とのコミュニケーションの取り方が違います。同じ範囲であっても違います。私はそこにやりがいを感じました。生徒が反応してくれたときの喜びや、逆に反応してもらえなかった時のなにもいえない気持ちがとても楽しく感じました。高校生の現社は、私の経験上では高確率で寝ます。そこで、どうしたら寝る生徒が少なくなるかを必死で考えました。また、最初は時間配分がわからず、

私の場合は20分も余ってしまいました。ですが、2回、3回と数をこなしていくうちに50分授業をぴったりで終わらせるようになりました。研究授業では、最高の授業を行うことができました。最後に生徒と撮った集合写真は忘れられない1枚になりました。

教師は他人に影響のある仕事であり、人生を決めてしまう恐れのある職業だと思いました。今回そのような現場に立つことができ良かったです。今後の私の人生においてこの経験はプラスになることでしょう。教職は人生の幅を限りなく広げることができます。是非、新入生の皆さん考えてみてください!!



西岡 靖雄

(法学部法律学科 社会科・公民科4年)

亜細亜大学テニス部◎主な就職先一覧

大正製薬 / パイオニア / 松下電工 / NEC / パナソニック / 豊田自動織機 / 朝日生命保険 / 大沢商会 / セコム / 伊藤忠商事 / ゼネラル石油 / ヤナセ / ワールド / 東芝 / 島津製作所 / NTT東京 / 日本舗道NIPPO / 北日本物産 / NTT北海道 / 福岡銀行 / 日本生命 / 平和堂貿易 / 東急百貨店 / 松下通信工業 / 大東銀行 / アイシン精機 / 山陽新聞 / ディスコ / 野村証券 / ヨネックス / みずほ銀行 / レオパレス21 / 常盤薬品 / ANA / プリンズホテル / 警視庁 / 神奈川県警察 / JR北海道 / トヨタ自動車 / プリヂストンスポーツ / アマアススポーツジャパン / イカイ / KONAMI / JA山梨 / 明治安田生命保険 / 三井住友海上火災保険 / アドヴァン / エームサービス / ウェスティンホテル

私たち亜細亜大学が“国際大会”を開催する意味がある

2015年国際大会開催レポート

男子亜細亜大学 国際オープンテニス

予選◎3月7-9日、本戦◎3月10-15日/本学日の出校地テニスコート/
賞金総額1万ドル

女子亜細亜大学 国際女子オープンテニス

予選◎3月21-23日、本戦◎3月24-29日/本学日の出校地テニスコート/
賞金総額1万ドル

はじめに

本学主催の男子国際大会は9回目、女子大会は4回目を無事迎えました。今年の男子大会は仁木拓人選手(三菱電機)、女子大会はスー・チーウェン選手(台湾)が優勝しました。今年もたくさんの方のご協力を得て、無事全日程を終了することができました。

国際大会を国内で開催する利点、継続が必要な理由、そして私たち大学生が開催する意義などをここに記し、読んでくださったみなさまに少しでもご理解いただければ幸いです。



国際大会の仕組み

現在日本国内で開催されているフューチャーズ・サーキット大会は、何大会あるでしょうか。ITF(International Tennis Federation;国際テニス連盟)によると、2015年は男子が8大会、女子が15大会でした。この数字は果たして多いのか、少ないのか。この大会数を世界と比較してみると、

男子…世界第30位(1位はトルコの52大会)

女子…世界第8位(1位はトルコの50大会)

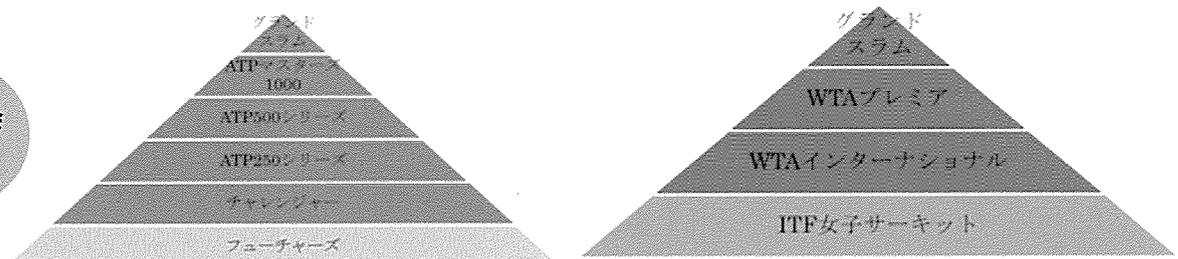
でした。日本で活躍する選手たちが世界の舞台で戦うためには、まずは世界各地で開催されている国際大会に出場してポイントを獲得し、世界ランキングを上げる必要があります。しかし、ポイントを獲得するのは容易なことではなく、体力面、金銭面、その他で様々な負担を伴います。多くの人が憧れるグラ

ンドの舞台に立てるのはほんのひと握りなのです。

図1をご覧ください。この図のように、亜細亜大学テニス部が毎年3月に開催しているフューチャーズ・サーキット大会はピラミッドの最下部に位置し、憧れの舞台への登竜門であるのです。今や世界のトップ10に入る錦織圭選手でさえ、はじめはフューチャーズに出場し、地道にポイントを積み重ね、活躍の舞台と自身のレベルを高めてきました。18歳2ヶ月にしてATPツアー250(デルレイビーチ国際テニス選手権)で初優勝することができたのも、実はフューチャーズへの出場が基盤となっていたのです。ちなみに錦織選手のフューチャーズ初優勝は2006年、16歳のときでした。

図1

国際大会
格付け



フューチャーズ大会の必要性

図2は日本人選手のATP、WTA世界ランキングをゾーン別に分け、その人数をグラフに示したものです。ATP・WTAのホームページ内のランキングから日本人選手のランカー数を計算し、データしてみました。詳細な数値は以下の表1にまとめてありますのでそちらをご覧ください。

ここから分かることは、いかに日本人選手の世界ランカーの多くが1400位以下のランクに集まっているかということです。女子に至っては1400位台の選手はいなかったものの、1500位以下の選手は男女ともに急激に増えています。この選手層を全体比で表してみると、男子は約36%、女子は約20%という数字が出ました。この割合にあたる選手たちがもっとグレードの高い大会に出場しようと思えば、更にポイントを積み重ねなくてはなりません。

更に、フューチャーズ大会をもっと開催すべきだという意見

を肯定するにあたり、重要視すべき点がもうひとつあります。それは、世界ランキング300位台の選手でさえフューチャーズ大会に出場し続けているということです。

先ほどの図1で示したように、フューチャーズの1ランク上にはチャレンジャーというものが存在します。この大会に出場しようと思えば、少なくとも世界ランキング300位以内に入っていないと、実力で出場することはほぼ不可能です。出場ができ、そして1つでも勝ちをもぎ取ればランキングも一気に上がることは間違いないでしょう。しかし、多くの選手はその機会に巡り会えないまま、時間が過ぎてしまうのです。今の世界ランキング300位以下の日本人選手にとって、よっぽどのチャンスが訪れるか多大な援助がない限り、フューチャーズ大会の「どき回り」から抜け出す方法は無いに等しいと言えるのではないのでしょうか。

図2

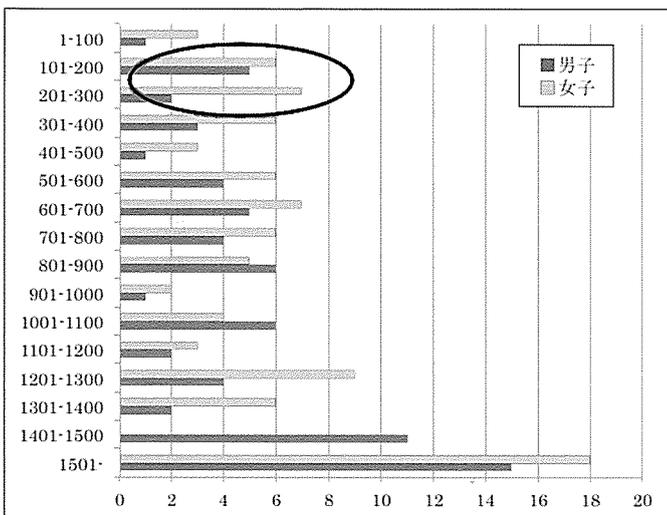


表1 日本人選手のゾーン別ランカー数と獲得ポイント

ランキング	男子選手数	ポイント	女子選手数	ポイント
1-100	1	3945	3	778~664
101-200	5	462~341	6	425~245
201-300	2	224~205	7	210~132
301-400	3	131~112	6	131~82
401-500	1	70	3	63~52
501-600	4	63~48	6	49~36
601-700	5	47~36	7	34~23
701-800	4	28~23	6	22~16
801-900	6	22~16	5	14~12
901-1000	1	14	2	9
1001-1100	6	9~8	4	7~6
1101-1200	2	7~6	3	5
1201-1300	4	5~4	9	4~3
1301-1400	2	3	6	2
1401-1500	11	2	0	--
1501-	15	1	18	1
計	72人	--	91人	--

日本テニス界における現実

日本国内でも、男子はフューチャーズからATPツアー-500まで、女子はITFサーキットからWTAプレミアまで幅広く開催されています。国内開催の国際大会で言えば、ジャパンオープンと東レパンパシフィックが最高ランクにあたります。このような大会ともなると、海外から世界200位前後の選手たちが予選からでも出場しようと日本へ訪れます。彼らの目標はもちろんグランドスラムへの出場です。しかしグランドスラムへ出場するには世界ランキングを128位程度まで上げる必要があり、選手たちはスポンサーの有無にかかわらず、旅費だけで年間1000万円以上もかけて世界中の大会を回り続けています。賞金を獲得できても、それにかかった経費を考えればマイナスになることの方が多くなります。どの選手も赤字を覚悟して世界を飛び回っているのが現実なのです。日本人選手はというと、このジャパンオープンに出場したくても世界ランキングが足りず、予選に出場することすら叶いません。小学校や中学校、高校、全日本などで優勝を重ねてきたエリート選手でさえ、なんとかワイルドカードをもらって予選に出場することができ、それでも1回戦や2回戦で世界の強敵の前に敗れてしまいます。それが本戦ともなると、実力で出場できる選手もそういません。そのため、プロになれるのはかなりの実力と経済的に余裕のある選手のみとな

ってしまうのです。そうして多くの日本人選手は大手企業の社員として実業団選手の道を選択するのです。日本は衣食住が整ったとても良い国ではありますが、日本人選手の海外進出が滞っていることも事実です。だからこそ、日本国内で開催される国際大会は日本人選手のレベルを上げるためのキーポイントと言えるのです。





大学で国際大会を開催するメリット

☆Opportunity＝機会を与える☆

亜細亜大学が国際大会を開催するにあたって最も大切にしていることは、選手、学生、観客問わず、フューチャーズ開催に関わるすべての人に対して「機会づくりをしたい」というのが私たちの思いです。

亜細亜大学で行っている機会づくりには以下のようなものがあります。

【選手】

- ・ジュニア、一般、大学生に対して予選のWCを与える大会の開催
- ・プロアマクリニックによりファンサービスができ、大会期間を利用して応援して下さる方々への還元ができたり、新しいファンができる
- ・大学シリーズ(亜細亜、早稲田、山梨学院、筑波の4大学)によるフューチャーズ開催でポイントを獲得できるチャンスを増やす
- ・大会期間中に選手が自由にコート、トレーニングセンター、陸上トラックなどを利用できるように手配しているため、コンディションを整えることに対して不安が少なく済む

【運営側の学生】

- ・学生に本戦WCを用意し、本戦に出場する機会を与える
- ・主審、線審に入ってプロの試合を間近で観られる
- ・自分たちのホームコートなので決勝戦までお金をかけずに観戦できる
- ・全試合終了後に良いイメージを持って自分たちの練習に生かせる
- ・各部署の仕事を通して多くの方々や企業と関わり、就職活動をする際に進路選択の幅が広がる
- ・就職活動の自己PRで自信を持って学生生活について話せる

【資金】

- ・大学のコートを使うことによりコート代がかからない
- ・学生が運営するため人件費が削減できる

【観客】

- ・東京の中心部まで行かずとも、外国人選手を含めたプロの試合を無料で観戦できる
- ・大会期間が3月なので春休みを利用して観戦に来られる
- ・京都チャレンジに続く大学シリーズでの開催のため選手が集まりやすく大会のレベルが高い
- ・クリニックなどの参加型イベントを用意しているため選手と身

近で交流できるチャンスがある

【スポンサー】

- ・アジアパン(亜細亜大学テニス部紹介冊子兼国際大会報告書)に会社名が掲載
 - 亜細亜国際は小口スポンサーが多いため、スポンサーへの還元や勧誘の際に配るアジアパンに掲載されることで社名が広まる
- ・大会に多く出場する若手選手の中から新しくサポートしたいと思う選手が見つかる可能性がある

☆競技力向上☆

亜細亜大学では男女大会の計2週を運営しているため、「1日フルで大会のためにコートを使えば学生の練習時間が減るのでは？」と思われるかもしれませんが。しかし学生アシスタントディレクターが中心となって各部署のリーダーと連携を取り、部員が練習する時間を確保できるようなシフトを組んだり、空いている時間を使ってランニングをするように促したり、学生用にコートを確保して自分たちの練習に使ったりしています。更には選手にプラクティスをお願いして、一緒に練習をさせて頂くこともあります。

また、トレーニングセンターでトレーニングをしている選手がどんなトレーニングを、どれほどの重さで、どのくらい行っているのかを記録に残し、それを共有できるように工夫したり、選手の試合をビデオで撮り、普段の部活の空き時間を利用して観るようにしています。これは自分たちのホームグラウンドで開催する際の大きな利点であると思います。なかなか見ることのできないプロ選手のコート外での過ごし方に発見も多く、大会期間後になっても自分たちの練習のモチベーションになっていたりと、良いイメージの中で練習やトレーニングに励むことができるようになります。

運営側に立つ自分たちのメリットの中で一番大きなものであるのが、WC(ワイルドカード)という主催者推薦枠を亜細亜の学生がもらえるという点です。本戦に用意されているWCのうちの全4本と、予選に用意されている8本のWCのうち4本を亜細亜大学の学生が獲得できます。この限られたWCを決めるため、大会期間前に部内戦を行って国際大会出場の機会を手に入れます。これも「競技力向上」の一環であり、先ほど述べた「機会づくり」にもつながるのです。この本戦WCによって見事ポイントを獲得し、世界ランキング入りできた学生が過去にも数名います。

亜細亜大学国際大会——9年目の変化

亜細亜大学国際オープンも今年で9回目を迎えました。今年は例年に比べて予選のカットラインが高く、レベルが高かったと思います。この傾向は、日本人も国際大会にどんどんチャレンジしていることになります。大学生も国際大会に出場するようになってきましたが、出場している大学に限られているのが現状です。学生はもっと国際大会にチャレンジするべきだと私は考えます。若い選手の活躍は、見られましたが今大会のファイナリストは28歳の仁木拓人選手(三菱電機)と29歳の吉備雄也選手(ノア・インドアステージ)でベテラン勢の対決になりました。結果は仁木選手が悲願の優勝となりました

それに比べ女子大会のファイナリストは19歳のスー・チー・ウェン選手(台湾)と19歳の岡村恭香選手(橋本総業)の10代同士の対戦となりました。男子大会に比べ、女子大会で若手の選手が活躍する理由は、国内国際大会の数だと思います。女子大会は男子大会に比べ、国内国際大会の数が2倍程あります。つまり、女子は国際大会に参加する機会がたくさんありポイントを取る

チャンスがたくさんあります。その為、日本の女子選手は上のステージにチャレンジする機会が多くなるということになります。

昨年は亜細亜フューチャーズの本戦出場選手の平均年齢では、日本人選手が24.1歳、外国人選手が24.4歳で日本人選手が初めて下回りました。しかし、今年は日本人選手が23.9歳、外国人選手が21.5歳となりました。昨年に比べて、どちらも平均年齢は下がっていますが、日本人選手は外国人選手に比べると平均年齢が高いことが分かります。若い日本人が活躍する為には、もっと国際大会を増やし若い選手に機会を与える事が必要だと思います。その為にこの亜細亜大学国際オープンテニス大会を続けていく必要があります。同時に、国内国際大会を増やさなければ1大会のレベルが上がってしまい、若い選手がポイントを取る機会が減ってしまうので日本では、フューチャーズ大会を増やしていく必要があります。

本戦出場選手平均年齢

F1 亜細亜大学国際テニスオープン

年度	日本人	外国人
2007	23.9	23
2008	25.8	21.5
2009	23.2	23.2
2010	23.4	21.6
2011	23.2	21.1
2012	21.5	21.1
2013	23.2	23.1
2014	24.1	24.4
2015	23.9	21.5
平均	23.5	22.2



まとめ

亜細亜国際には大口のスポンサーはついていません。1年中を通して行っている計24回のテニスクリニックやジュニア大会の運営、学校からの援助のおかげでこの大会は成り立っています。大学生が資金集めから大会運営までこなすのは大変な時間と労力が必要となり、練習時間も他の大学と比べれば少なくなってしまうことは一目瞭然です。もちろん、失敗もたくさんあります。しかし、他の大学に通っているはこのような経験をすることはありません。だからこそ今まで見えなかったことが見えるようになったり、学ぶものがあるのです。それが良い結果として、あるいは何かしらの形に表されて返ってくることはないかもしれません。それでも自分たちはより良い大会にしようと試行錯誤し、人の気持ちを考えることや探究心を持つこと、付加価値という言葉の意味を身をもって学ぶことができます。それが後に積極的に何かをするようになったり自信を持つことにもつながり、大会運営を経験する度に、人間として、少しずつではありますが成長することができました。

我々が開催するように全国各地でフューチャーズ大会が開催されれば、もっと多くの将来の有望な選手が日本から誕生することになるかもしれません。そしてグランドスラムという舞台上でプレーすることを夢見て毎日必死にボールを追いかける選手たちにとって最大のサポートであり、日本のテニス界の底上げにもなります。フューチャーズを開催することがどれほど素晴らしい意味を持つかがより多くの人に伝わっていれば幸いです。

最後になってしまいましたが、亜細亜大学国際オープンテニスは今年度(2016年)大会で男子は10回目、女子は5回目という節目の年を迎えることができました。2011年には東日本大震災があり、大会をやむを得ず中止することとなりましたが、その後も大会を開催し続けることができていたのも、歴代の先輩方や大会に亜細亜大学テニス部に関わってくださっている皆様のおかげです。本当にありがとうございます。今後共、変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

歴代優勝者一覧

■第1回大会(2007年)

○シングルス

優勝 イム・キューテ(中国) (6-4.6-7(6).6-2)

準優勝 茶園鉄也(ミキプルーン)

ベスト4 ザン・シャオユアン(中国)

ペノー・ポッテロ(フランス)

○ダブルス

優勝 ユ・シユアン/ザン・シャオユアン(中国)

(6-2.7-6(3))

準優勝 佐藤博康/リー・ミン(フリー/中国)

ベスト4 ウォン・ハング・ティー/ナン・ヒュン・ウー(韓国)

イム・キューテ/ウォン・ホーティー(韓国)

■第2回大会(2008年)

○シングルス

優勝 伊藤竜馬(ミキプルーン) (6-2.6-4)

準優勝 チェン・ティー(台湾)

ベスト4 岩見亮(北日本物産)

近藤大生(アイシン精機)

○ダブルス

優勝 近藤大生/佐藤博康(アイシン精機/フリー)

(3-6.7-6(3).[10-2])

準優勝 ゴング・マオシン/リー・ジェン(中国)

ベスト4 ベン・シエン・イン/ヤング・チュン・ファ(台湾)

比嘉明人/篠川智大

(テニスユニバース/亜細亜大学)

■第3回大会(2009年)

○シングルス

優勝 イ・チュハン(台湾) (6-2.6-7(1).7-5)

準優勝 杉田祐一(三菱電機)

ベスト4 アン・ジェソン(韓国)

フォーリエ・アレクサンドラ(ベルギー)

○ダブルス

優勝 佐藤博康/イ・チュハン(フリー/台湾)

(6-2.6-3)

準優勝 比嘉明人/篠川智大

(テニスユニバース/亜細亜大学)

ベスト4 ゴー・スティブンス/レーク・ジェームス

(オーストラリア)

茶園鉄也/近藤大生

(ミキプルーン/アイシン精機)

■第4回大会(2010年)

○シングルス

優勝 井藤祐一(空旅ドットコム) (7-5.1-6.6-4)

準優勝 守屋宏紀(北日本物産)

ベスト4 関口周一(ファーイーストジュニアTAA中央林間)

スカット・マークレン(アメリカ)

○ダブルス

優勝 佐藤文平/イ・チュハン(橋本総業/台湾)

(6-2.6-3)

準優勝 岩見亮/近藤大生(北日本物産/アイシン精機)

ベスト4 井藤祐一/佐藤博康(空旅ドットコム/フリー)

スターハム・マイケル/スカット・マーレク

(台湾/アメリカ)

■第5回大会(2011年)東日本大震災のため中止

■男子第6回大会、女子第1回大会(2012年)

男子

○シングルス

優勝 内山靖崇(北日本物産) (6-2.7-6(5)) 準優勝

近藤大生(アイシン精機)

ベスト4 田川翔太(早稲田大学)

ハン・リャン・チー(台湾)

○ダブルス

優勝 近藤大生/イ・チュハン(アイシン精機/台湾)

(7-6(4).7-5)

準優勝 ガオ・ベン/ガオ・ワン(中国)

ベスト4 井藤祐一/ワラmanoウォング・キチボン

(ライフ・エヌ・ピー/タイ)

ハン・リャン・チー/オウヤン・ボウエン(台湾/中国)

女子

○シングルス

優勝 米村明子(島津製作所) (1-1Ret) 準優勝

飯島久美子(北日本物産)

ベスト4 山外涼月(志津テニスクラブ)

ポーヤン・ウォン(中国)

○ダブルス

優勝 穂積絵莉/手塚玲美(フリー/ミキハウス)

(6-4.6-7(1).[10-7])

準優勝 伊藤和沙/森友香(島津製作所)

ベスト4 北崎悦子/菅野知子(フリー/島津製作所)

荒木史織/長谷川梨紗(亜細亜大学)

■男子第7回大会、女子第2回大会(2013年)

男子

○シングルス

優勝 近藤大生(アイシン精機) (7-5.6-1)

準優勝 ハン・リャン・チー(台湾)

ベスト4 松井俊英(ライフ・エヌ・ピー)
内山靖崇(北日本物産)

○ダブルス

優勝 関口周一/エイドリアン・シコロ
(三菱電機/スロバキア) (6-3.6-4)

準優勝 吉備雄也/奥大賢(イカイ)

ベスト4 近藤大生/小ノ澤新(アイシン精機/北日本物産)
リー・シン・ハン/ウォン・チー・ハン(台湾)

女子

○シングルス

優勝 ユ・ミ(韓国) (1-6.6-1.6-2)

準優勝 イ・ジン・ア(韓国)

ベスト4 岡田上千晶(エームサービス)
日比野菜緒(木曾川ローンテニスクラブ)

○ダブルス

優勝 ハン・ナレ/カン・ソ・ギョン(韓国)
(6-4.6-7(4).[10-6])

準優 穂積絵莉/二宮真琴(フリー/西宮甲英高等学校)

ベスト4 荒木史織/中野佑美(たちかわジュニアテニスアカデミ)
イ・ジン・ア/ユ・ミ(韓国)

■男子第8回大会、女子第3回(2014年)

男子

○シングルス

優勝 ディ・ウ(中国) (6-2.6-4)

準優勝 仁木拓人(柴沼醤油販売)

ベスト4 近藤大生(アイシン精機)
竹内研人(北日本物産)

○ダブルス

優勝 松井俊英/小ノ澤新(ライフ・エヌ・ピー/北日本物産)
(6-4.7-5)

準優勝 今井慎太郎/鈴木貴男(早稲田大学/イカイ)

ベスト4 ワン・チー・フ/ディ・ウ(台湾)
井藤祐一/近藤大生(ライフ・エヌ・ピー/アイシン精機)

女子

○シングルス

優勝 井上雅(テニスラウンジ) (1-6.7-5.6-1)

準優勝 ヌニダ・ルアンサム(タイ)

ベスト4 田中優季(メディカルラボ)
澤柳璃子(ミキハウス)

○ダブルス

優勝 波形純理/米村明子(北日本物産/島津製作所)
(6-2.6-4)

準優勝 チェ・ジヒ/井上明里(韓国/イラコテニスカレッジ)

ベスト4 二宮真琴/澤柳璃子(橋本総業/ミキハウス)
井上雅/美濃越舞(テニスラウンジ/YCA)

■男子第9回大会、女子第4回(2015年)

男子

○シングルス

優勝 仁木拓人(三菱電機) (6-3Ret)

準優勝 吉備雄也(ノア・インドアステージ)

ベスト4 井藤祐一(ライフ・エヌ・ピー)
イー・ダック・ヒー(韓国)

○ダブルス

優勝 吉備雄也/仁木拓人(ノア・インドアステージ/
三菱電機) (6-3.3-6.[11-9])

準優勝 井藤祐一/小ノ澤新(ライフ・エヌ・ピー/イカイ)

ベスト4 江原弘泰/志賀正人(日清紡ホールディングス/フリー)
ホー・チャー・ジェン/イ・チュハン(台湾)

女子

○シングルス

優勝 スー・チー・ウェン(台湾) (6-3.3-6.6-4)

準優勝 岡村恭香(橋本総業)

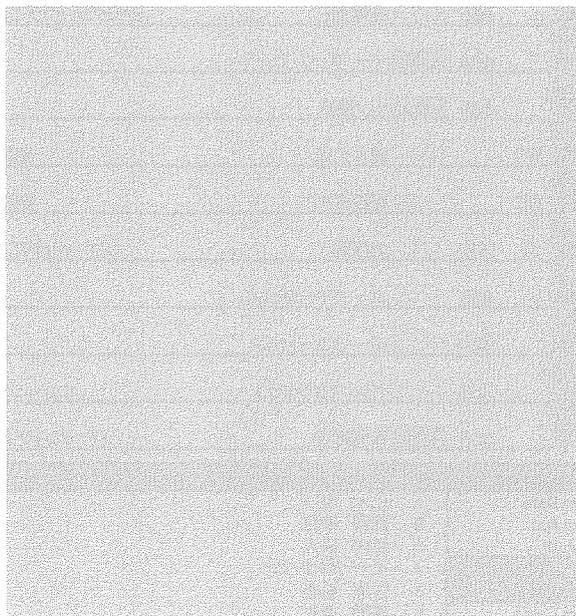
ベスト4 井上明里(レスポートサックジャパン)
久次米夏海(山梨学院大学)

○ダブルス

優勝 岡村恭香/米村明子(橋本総業/島津製作所)
(2-6.6-2[10-5])

準優勝 久見香奈恵/高畑寿弥(フリー/橋本総業)

ベスト4 布目千尋/山本みどり(北日本物産/フリー)
宮村美紀/吉富愛子(フリー/早稲田大学)



2015垂細垂大学国際オープンテニス 男子シングルス本戦

Asia Univ.Int'l Tennis

Japan F1 Men's Futures

SINGLES
MAIN DRAW



Week of	City, Country	Prize Money US\$	Tourn. ID	ITF Supervisor/Referee
2015/3/9	日本,東京-西多摩	10000	M-FU-JPN-01A-2015	

St.	Rank	Seed	Name	Nationality	2nd Round	Quarterfinals	Semifinals	Final
1	302	1	仁木拓人	三菱電機				
2	Q 1200		今井慎太郎	早稲田大学	5-7 7-6(4) 6-4	仁木拓人		
3	Q 1360		笹井正樹	フリー		6-2 6-1		
4	Q		谷本真人	慶應義塾大学	6-4 6-4			
5	Q 1262		ジャリ・チャップリン	オーストラリア			仁木拓人	
6	951		鈴木昂	笠利クラブ	6-4 6-4	ジャリ・チャップリン	7-6(6) 6-3	
7	Q 1155		竹島駿朗	イカイ		6-3 (6)6-7 6-4		
8	622	8	ピエトロ・リシャルディー	イタリア	6-3 6-3			
9	437	3	竹内研人	北日本物産				仁木拓人
10	Q		松尾友貴	イカイ	6-2 6-4			7-6(5) 6-3
11	762		井藤祐一	ライフ・エヌ・ピー		井藤祐一		
12	844		奥大賢	紀洋石油	6-2 6-4			
13	WC		仲村元希	垂細垂大学			井藤祐一	
14	Q 1848		大友優馬	法政大学	6-4 6-2		6-1 6-2	
15	745		ルカ・パンカルディー	イタリア		ルカ・パンカルディー		
16	557	5	江原弘泰	日清紡ホールディングス	7-5 7-6(7)			
17	585	6	斉藤貴史	石川県津幡町テニス協会				仁木拓人
18	J E 999		チュン・ユンソン	韓国	7-5 6-4			6-3 ret
19	WC		田中亮寛	垂細垂大学		菊池玄吾		
20	820		菊池玄吾	エキスパートパワーシズオカ	1-6 6-4 7-6(3)			
21	704		志賀正人	フリー			イー・ダック・ヒー	
22	920		小山慶大	中央教育研究所	5-7 7-5 6-3		7-6(2) 6-0	
23	965		長尾克己	ミナミグリーンテニスクラブ		イー・ダック・ヒー		
24	468	4	イー・ダック・ヒー	韓国	6-2 6-3			
25	589	7	小ノ澤新	イカイ				吉備雄也
26	WC		橋本大貴	垂細垂大学	6-2 6-1			3-6 6-4 7-5
27	WC		恒松拓未	垂細垂大学		大西賢		
28	Q 1627		大西賢	ノア・インドアステージ	6-3 6-3			
29	953		ホー・チャー・ジェン	台湾			大西賢	
30	1097		イー・チュー・ハン	台湾	6-4 6-4		6-3 1-6 7-5	
31	758		ベン・マクララン	ニュージーランド				吉備雄也
32	355	2	吉備雄也	ノア・インドアステージ	7-6(4) 7-5		2-6 6-2 6-4	

www.itftennis.com/mens

Acc. ranking	# Seeded players	# Lucky Losers	Replacing	Draw date/time:	2015年3月19日 12:39
Rkg Date	1 仁木 拓人			Last Direct Acceptance	イー・チュー・ハン
Top Acc	2 吉備 雄也			Player representatives	橋本大貴
Cut-off	3 竹内 研人			Signature	
Seed ranking	4 イー・ダック・ヒー			# Protected Ranking: Name (Line)	松本えるだ
Rkg Date	5 江原 弘泰				
Top seed	6 斉藤 貴史				
Last seed	7 小ノ澤 新				
	8 ルカ・パンカルディー				

Asia Univ.Int'l Tennis

Japan F1 Men's Futures

DOUBLES MAIN DRAW



Week of	City, Country	Prize Money	Tourn. ID	ITF Supervisor/Referee
2015/3/9	日本,東京-西多摩	10000	M-FU-JPN-01A-2015	松野えるだ

St.	Rank	Seed	Name	Nationality	2nd Round	Semifinals	Final	Winners
1	1020	1	井藤祐一 小野澤新	ライフ・エヌ・ビー イカイ	井藤/小ノ澤 6-1 6-0	井藤/小ノ澤 0-6 6-2 10-7	井藤/小ノ澤 6-3 6-4	
2			アオキソン・ワン ゾン・スー・ハオ	中国 中国				
3	1543		長尾克己 奥大賢	ミナグリーンテニスクラブ 紀洋石油	長尾/奥 6-2 6-7(3) 11-9			
4	1838		ジャリ・チャップリン ベン・マクラ克蘭	オーストラリア ニュージーランド				
5	1430	4	ピエトロ・リシャルディー ルカ・パンカルディー	イタリア イタリア				
6	2055		岸僚太 綿貫敬介	JITC 明治安田生命	岸/綿貫 6-4 6-3	江原/志賀 4-6 6-4 10-8		
7			江原弘泰 志賀正人	日清紡ホールディングス フリー				
8	2255		菊池玄吾 竹島駿朗	エキスパートパワーシズオカ イカイ	江原/志賀 7-6(2) 4-6 11-9			
9			近藤大基 小野陽平	慶應義塾大学 明治大学				吉備/仁木 6-3 3-6 11-9
10	WC		橋本大貴 仲村元希	亜細亜大学 亜細亜大学	仲村/橋本 3-6 6-4 10-7			
11			小山慶大 鈴木昂	中央教育研究所 笠利クラブ		ホー/イー (4)6-7 7-6(7) 16-14		
12	1429	3	ホー・チャー・ジェン イー・チュー・ハン	台湾 台湾	ホー/イー 6-1 6-2			
13			今井慎太郎 岡村一成	早稲田大学 早稲田大学			吉備/仁木 6-2 6-3	
14	WC		西岡靖雄 田中亮寛	亜細亜大学 亜細亜大学	今井/岡村 6-4 6-0			
15	WC		秋山和潤 恒松拓未	亜細亜大学 亜細亜大学		吉備/仁木 6-4 6-4		
16	1263	2	吉備雄也 仁木拓人	ノア・インドアステージ 三菱電機	吉備/仁木 6-2 6-2			

www.itftennis.com/mens

Acc. ranking	#	Seeded teams	#	Lucky Losers	Replacing	Draw date/time:
Rkg Date	1	井藤祐一	1			2015年 3月19日 12:29
Top DA		小野澤新				Last Accepted team
Last DA	2	吉備雄也	2			近藤大基, 小野陽平
		仁木拓人				Player representatives
Seed ranking	3	ホー・チャー・ジェン	3			橋本大貴
Rkg Date		イー・チュー・ハン				Signature
Top seed	4	ピエトロ・リシャルディー	# Protected Ranking: Name (Line)			松野えるだ
Last seed		ルカ・パンカルディー	1	2		

2015亜細亜大学国際オープンテニス 女子シングルス本戦

Asia Univ.Int'l Tennis
ITF Women's Circuit

SINGLES
MAIN DRAW



Week of	City, Country	Prize Money US\$	Tourn. ID	ITF Supervisor/Referee
2015/3/23	日本,東京-西多摩	10000	W-C10-JPN-02A-2015	松野えるだ

St.	Rank	Seed	Family Name	First name	Nationality	2nd Round	Quarterfinals	Semifinals	Final
1	437	1	宮村美紀	プロ・フリー		宮村美紀			
2	715		米村明子	島津製作所		6-2 6-2	宮村美紀		
3	Q		川崎光美	テニスユニバース		川崎光美	7-5 6-2		
4	WC		山藤彩香	亜細亜大学		6-0 6-2	宮村美紀		
5	Q		金井綾香	早稲田大学				岡村恭香	
6	Q		村瀬早香	慶應義塾大学		1-6 6-0 6-4	村瀬早香	6-1 6-4	
7	WC		高橋玲奈	宮崎商業高校			岡村恭香		
8	556	5	岡村恭香	橋本総業		6-1 6-0	1-6 6-2 6-1		
9	503	3	久見香奈恵	フリー					岡村恭香
10	941		長谷川梨沙	管轄アスレチックトレーニングセンター		6-3 6-4			3-6 6-4 6-4
11	672		秋田史帆	フリー			秋田史帆		
12			吉富愛子	早稲田大学		6-4 6-4	6-4 6-3		
13	807		井上明里	レスポートサックジャパン				井上明里	
14	Q		小林夏実	慶應義塾大学		6-3 6-4	6-4 6-3	6-4 7-6(10)	
15	659		越野由梨奈	フリー					
16	636	8	中野佑美	島精機製作所		6-4 Ret	7-5 6-0		
17	631	7	樋口由佳	日本体育施設					Winner: スー・チャー・ウェン
18	Q		千村もも花	TTC		6-1 Ret			6-3 3-6 6-4
19	Q		宮地真知香	早稲田大学			宮地真知香		
20	WC		田中文彩	亜細亜大学		6-3 6-2	4-6 7-5 6-4		
21	WC		松本千広	亜細亜大学				久次米夏海	
22	Q		久次米夏海	山梨学院大学		4-6 6-4 6-3	6-3 4-6 6-4	3-6 6-3 6-4	
23	943		ニーサ・バインズ	オーストラリア			6-3 4-6 6-4		
24	507	4	ナオミ・トッカ	ハンガリー		6-1 6-4			
25	618	6	高畑寿弥	橋本総業					スー・チャー・ウェン
26	863		渡邊廣乃	サントピアテニスクラブ		7-6(1) 6-4			6-3 6-3
27	906		藤岡希	フリー			高畑寿弥		
28	Q		西郷幸奈	志津テニスクラブ		5-7 6-4 7-6(3)	6-3 6-2		
29	947		加治遥	園田学園大学				スー・チャー・ウェン	
30	1002		華谷和生	神戸学院大学T.C		6-3 6-2		6-3 6-0	
31	936		布目千尋	北日本物産			スー・チャー・ウェン		
32	483	2	スー・チャー・ウェン	台湾		1-6 6-2 7-6(4)	7-5 6-4		

www.itftennis.com/mens

Acc. ranking	#	Seeded players	#	Lucky Losers	Replacing	Draw date/time:
Rkg Date	1	宮村美紀	1			2015 3/23 12:45
Top Acc	2	スー・チャー・ウェン	2			Last Direct Acceptance
Cut-off	3	久見香奈恵	3			華谷和生
	4	ナオミ・トッカ	4			Player representatives
Seed ranking	5	岡村恭香	5			井上明里
Rkg Date	6	高畑寿弥	6			布目千尋
Top seed	7	樋口由佳				Signature
Last seed	8	中野佑美				松野えるだ
			# Protected Ranking: Name (Line)			
			1	2		

2015亜細亜大学国際オープンテニス 女子ダブルス本戦

Asia Univ.Int'l Tennis
ITF Women's Circuit

DOUBLES
MAIN DRAW



Week of 2015/3/23 City, Country 日本,東京-西多摩 Prize Money US\$ 10000 Tourn. ID W-C10-JPN-02A-2015 ITF Supervisor/Referee 松野えるだ

St.	Rank	Seed	Name	Nationality	2nd Round	Semifinals	Final	Winners
1	744	1	岡村恭香 米村明子	橋本総業 島津製作所				
2	WC		松本千広 田中文彩	亜細亜大学 亜細亜大学	岡村/米村 6-1 7-5			
3	Q		川崎光美 西改由衣	テニスユニバース Vfoot work		岡村/米村 6-7(7) 7-5 10-8		
4	1404		秋田史帆 井上明里	フリー レスポーツサックジャパン	秋田/井上 6-2 6-2			
5	1382	3	布目千尋 山本みどり	北日本物産 プロ・フリー			岡村/米村 1-6 6-4 10-5	
6	1487		川崎好美 中野佑美	島精機製作所 島精機製作所	布目/山本 6-4 6-3			
7	WC		辻本有佳里 山浦はる香	亜細亜大学 亜細亜大学		布目/山本 6-3 6-1		
8	WC		中沢夏帆 楚南美波	亜細亜大学 亜細亜大学	中沢/楚南 6-2 7-5			
9	Q		山藤彩香 下口あみる	亜細亜大学 亜細亜大学			岡村/米村 2-6 6-2 10-5	
10	2058		小堀桃子 西郷幸奈	HISM 志津テニスクラブ	小堀/西郷 6-2 6-3			
11	1968		華谷和生 酒井優理子	神戸学院大学T.C 長崎県スポーツ専門員九州文化学園高校		宮村/吉富 7-5 4-6 10-4		
12	1219	4	宮村美紀 吉富愛子	プロ・フリー 早稲田大学	宮村/吉富 6-0 6-3			
13	2061		長谷川梨沙 加治遥	管轄アスレティックトレーニングセンター 園田学園大学			久見/高畑 6-4 7-5	
14	1463		藤岡希 渡邊廣乃	フリー サントピアテニスクラブ	藤岡/渡邊 2-6 6-3 10-5			
15	1407		緒方葉台子 ナオミ・トツカ	グラスコート佐賀テニスクラブ ハンガリー		久見/高畑 6-0 6-1		
16	810	2	久見香奈恵 高畑寿弥	フリー 橋本総業	久見/高畑 6-3 6-4			

www.itftennis.com/mens

Acc. ranking	#	Seeded teams	#	Lucky Losers	Replacing	Draw date/time:	2015 3/23 12:25
Rkg Date	1	岡村恭香 米村明子	1			Last Accepted team	
Top DA	2	久見香奈恵 高畑寿弥	2			長谷川梨沙 加治遥	
Last DA	3	宮村美紀 吉富愛子	3			Player representatives	
Seed ranking	4	布目千尋 山本みどり				布目千尋	
Rkg Date						Signature	
Top seed						松野えるだ	
Last seed							

2015亜細亜大学国際オープンテニス男子シングルス予選

Asia Univ.Int'l Tennis

SINGLES



Japan F1 Men's Futures

QUALIFYING DRAW

Week of	City, Country	Prize Money US\$	Tourn. ID	ITF Supervisor/Referee
2015/3/9	Nisi-Tama,tokyo,JPN	\$10000	M-FU-JPN-01A-2015	Eida MATSUNO

St.	Rank	Seed	Family Name	First name	Nationality	2nd Round	Finals	Qualifiers
1		1147	1	小野陽平	明治大学	小野陽平		
2				小野誠佳	TTC	6-4 7-6(2)	小野陽平	
3				湯原雅人	Fテニス	湯原雅人	6-2 6-2	
4				福田剛	ジェームズ 石井真テニスアカデミー	6-1 6-2		大西賢
5				西岡靖雄	亜細亜大学	西岡靖雄		6-2 6-1
6				尾山翼	登戸サンライズ	6-23-66-2	大西賢	
7		1969		近藤大基	慶應義塾大学	大西賢	6-2 6-4	
8		1627		大西賢	ノアインドアステージ	6-2 6-4		
9		1155		竹島駿朗	イカイ	竹島駿朗		
10				秋山和潤	亜細亜大学	6-0 6-3	竹島駿朗	
11				逸崎凱人	慶應義塾大学	逸崎凱人	6-2 6-4	
12	WC			糸井彬	亜細亜大学	6-4 6-3		竹島駿朗
13				渡邊将司	慶應義塾大学	三好健太		6-1 6-1
14				三好健太	早稲田大学	7-6(6) 6-2	小野田賢	
15	WC			井上智文	慶應義塾大学	小野田賢	4-66-46-4	
16		1660		小野田賢	柳生園T.C	6-3 6-4		
17		1200		今井慎太郎	早稲田大学	今井慎太郎		
18				村上彰啓	法政大学	6-2 6-1	今井慎太郎	
19				越智真	江崎グリコ	諱五貴	7-5 6-1	
20				諱五貴	明治大学	6-2 7-5		今井慎太郎
21				井上貴博	たちかわJTA	井上貴博		6-0 6-1
22				福岡勇成	テニスハウスfun	6-2 6-4	岡村一成	
23				吉川雄介	ウィルテニスアカデミー	岡村一成	6-3 6-2	
24		1486		岡村一成	早稲田大学	6-0 6-2		
25		1262		ジャリ・チャップリン	オーストラリア	ジャリ・チャップリン		
26				松崎勇太郎	早稲田大学	6-3 6-2	ジャリ・チャップリン	
27	WC			伊藤陸	亜細亜大学	藤井信太	6-3 6-3	
28				藤井信太	Fテニス	6-4 6-2		ジャリ・チャップリン
29	WC			結城慎之介	亜細亜大学	土居祐太		6-4 4-6 7-6(7)
30				土居祐太	亜細亜大学	6-2 6-4	綿貫敬介	
31				長濱勇太	ドームテニスアカデミー	綿貫敬介	4-6 6-2 6-3	
32		1503		綿貫敬介	明治安田生命	6-2 6-1		
33		1313		岸僚太	JITC	岸僚太		
34				井上晴	MTSテニスアリーナ三鷹	7-5 6-3	松尾友貴	
35				松尾友貴	イカイ	松尾友貴	6-3 6-2	
36				黒田壮悟	ファーイーストJr.TA	6-1 6-2		松尾友貴
37				榎原健一	フリー	榎原健一		6-3 6-0
38				スウィートアラン	アメリカ	6-1 6-2	ロンギ正幸	
39		2038		沼尻啓介	NJTC	ロンギ正幸	6-4 6-4	
40		1627		ロンギ正幸	たちかわJTA	6-4 6-1		
41		1360		笹井正樹	フリー	笹井正樹		
42				長船雅喜	パブリックテニス小倉	6-3 6-0	笹井正樹	
43				矢野洋	ケイエスシー	久松亮太	6-44-67-6(4)	
44				久松亮太	アース製菓	6-44-66-2		笹井正樹
45	WC			李国淵	亜細亜大学	田村和也		6-1/7-5
46				田村和也	テニスユニバーズ	7-5 6-4	守谷総一郎	
47	WC			大西晃司	麗澤高校	守谷総一郎	6-1 6-1	
48		1718		守谷総一郎	ITSテニスアリーナ三鷹	6-1 6-0		
49		1370		アオキソン・ワン	中国	アオキソン・ワン		
50				小林浩貴	亜細亜大学	6-2 6-2	谷本真人	
51				谷本真人	慶應義塾大学	谷本真人	6-0 6-3	
52				安田純	多摩大学	6-1 6-1		谷本真人
53				喜多元明	エキスパートシズオカ	喜多元明		6-2/7-6(4)
54				中西聖也	サリュートテニス専門学校	6-34-66-4	喜多元明	
55				大和田秀俊	中央大学	上杉海斗	3-6 7-5 6-3	
56		1575		上杉海斗	慶應義塾大学	6-3 6-3		
57		1470		ゾン・スーハオ	中国	ゾン・スーハオ		
58				細谷元基	荏原SSC	6-32-66-4	野口政勝	
59				野口政勝	京都東山テニス	野口政勝	6-4 6-3	
60				濱中重宏	ひばりヶ丘新豊TC	6-7(3)6-27-5		大友優馬
61				古田剛司	ミヤムラテニスセンター	大塚陽平		6-2 6-0
62				大塚陽平	亜細亜大学	6-2 6-0	大塚陽平	
63		1848		大友優馬	法政大学	大友優馬	6-4 6-1	
64		1722		西脇一樹	明治大学	6-1 6-2		

www.itftennis.com/mens

Acc. ranking	#	Seeded players	#	Seeded players	#	Alternates	Replacing	Draw date/time: 06 MAR 2015 18:22
Rkg Date	1	小野陽平	9	岡村一成	1			Last Accepted player
Top DA	2	竹島駿朗	10	綿貫敬介	2			小林浩貴
Last DA	3	今井慎太郎	11	上杉海斗	3			Player representatives
Seed ranking	4	ジャリ・チャップリン	12	ロンギ正幸	4			大塚陽平
Rkg Date	5	岸僚太	13	大西賢	5			仲村元希
Top seed	6	笹井正樹	14	小野田賢	6			Signature
	7	アオキソン・ワン	15	守谷総一郎		# Protected Ranking: Name (Line)		
	8	ゾン・スーハオ	16	西脇一樹	1	2		松野えるだ

Asia Univ.Int'l Tennis

ITF Women's Circuit

SINGLES

QUALIFYING DRAW



Week of	City, Country	Prize Money US\$	Tourn. ID	ITF Supervisor/Referee
2015/3/23	Nishi-Tama,tokyo,JPN	\$10000	W-C10=JPN-02A-2015	Eida MATSUNO

Sl.	Rank	Seed	Family Name	First name	Nationality	2nd Round	Finals	Qualifiers
1		1021	川崎好美	鳥精機製作所		川崎好美		
2			宮本愛弓	志津テニスクラブ		6-1 6-0	細沼千紗	
3			秋山みなみ	テニス		細沼千紗	W.O	
4			細沼千紗	早稲田大学		6-0 6-2	金井綾香	7-5 4-6 7-6(5)
5			早稲田大学			6-2 3-6 6-2	金井綾香	
6			青梨花子	テニス		6-3 4-6 6-4	金井綾香	
7			鈴木玲子	湘南平テニスクラブ		6-0 6-1	西本恵	
8			狛江インドアJr.ATPチーム			3-6 6-1 6-1	西本恵	5-7 6-1 6-3
9		1063	牛島里咲	高崎テニスクラブ		6-3 6-3	西村浩沙	6-0 3-6 6-2
10			宮原未穂希	JITC		6-2 6-2	小林夏実	
11			崎谷昌太	明治安田生命		6-2 6-2	小林夏実	
12			西本恵	慶應義塾大学		6-0 6-2	小林夏実	
13			西村浩沙	テニス		6-2 6-2	千村夏実	
14			山崎奈美	山崎テニスクラブ		6-1 6-0	千村夏実	
15	WC		小林夏実	慶應義塾大学		6-3 6-2	千村夏実	
16			森地早香	近大姫路大学		6-2 6-3	村瀬早香	4-6 6-0 7-5
17		1089	千村夏実	広島建設		7-6(2) 6-1	村瀬早香	
18			宇野真彩	苅原SSC		6-4 6-2	村瀬早香	
19			寺見かりん	狛江インドアJr.ATPチーム		6-2 6-4	西郷幸奈	6-4 6-3
20	WC		西田奈生	落葉高校		7-6(1) 6-3	西郷幸奈	
21			清水綾乃	高崎テニスクラブ		6-1 6-0	西郷幸奈	
22	WC		石野優希	亜細亜大学		6-2 6-0	川崎光美	6-2 6-2
23			村瀬早香	慶應義塾大学		6-1 6-2	川崎光美	
24			加藤薫	緑ヶ丘テニスクラブ		6-3 6-3	川崎光美	
25	LL		長谷川美	ロイヤルヒル'81テニスクラブ		6-3 6-3	宮地真知香	6-3 6-1
26			酒井真那	プロフリー		6-4 6-1	宮地真知香	
27	WC		酒井真那	東北福祉大学		6-3 6-1	宮地真知香	
28			高野優希	テニスクラブ		6-3 6-3	宮地真知香	
29			西郷幸奈	志津テニスクラブ		6-3 6-3	宮地真知香	
30			伊藤佐奈	苅原SSC		6-3 6-3	宮地真知香	
31			山口真琴	プロフリー		6-3 6-3	宮地真知香	
32	WC		山口真琴	九州文化学園高校		6-3 6-3	宮地真知香	
33		1165	長谷川美	伊予銀行		6-3 6-1	宮地真知香	
34			園田彩乃	日本大学		6-3 6-1	宮地真知香	
35			安藤優希	たちかわJTA		6-3 6-1	宮地真知香	
36			酒井優理子	長崎県スポーツ専門員九州文化学園高校		6-3 6-1	宮地真知香	
37			川崎光美	テニスユニバース		6-3 6-1	宮地真知香	
38			小崎美佳	IHSM		6-3 6-1	宮地真知香	
39			前田佳	日本大学		6-3 6-1	宮地真知香	
40			伊藤綾子	テニスユニバース		6-3 6-1	宮地真知香	
41		1165	寺見かりん	山梨学院大学		6-3 6-1	宮地真知香	
42			宮地真知香	早稲田大学		6-3 6-1	宮地真知香	
43	WC		辻塚子	早稲田大学		6-3 6-1	宮地真知香	
44			古川鈴夏	筑波大学		6-3 6-1	宮地真知香	
45			富田悠衣	テニス		6-3 6-1	宮地真知香	
46			山本理佳	湖南ローンテニスクラブ		6-3 6-1	宮地真知香	
47			本郷未生	山梨学院大学		6-3 6-1	宮地真知香	
48			本郷未生	KCテニス		6-3 6-1	宮地真知香	
49			馬場早莉	苅原SSC		6-3 6-1	宮地真知香	
50	WC	1221	原菜月	グローバル・プロ・テニスクラブ		6-3 6-1	宮地真知香	
51	WC		辻本有佳里	亜細亜大学		6-3 6-1	宮地真知香	
52			押野沙穂	慶應義塾大学		6-3 6-1	宮地真知香	
53			ジョンソン	韓国		6-3 6-1	宮地真知香	
54			角矢安鳩方	近大姫路大学		6-3 6-1	宮地真知香	
55			下口あみる	TTC		6-3 6-1	宮地真知香	
56			緒方葉台子	亜細亜大学		6-3 6-1	宮地真知香	
57		1221	緒方葉台子	グラスコート佐賀テニスクラブ		6-3 6-1	宮地真知香	
58			上宮原あい	USUI-PLYWOOD		6-3 6-1	宮地真知香	
59			福梨子	日本大学		6-3 6-1	宮地真知香	
60			西改由衣	Vfoot work		6-3 6-1	宮地真知香	
61			久次米夏海	山梨学院大学		6-3 6-1	宮地真知香	
62			佐々木通	アクリンテニスクラブ		6-3 6-1	宮地真知香	
63			宮原みなみ	日本大学		6-3 6-1	宮地真知香	
64		1221	山外涼月	プロフリー		6-3 6-1	宮地真知香	

Acc. ranking	#	Seeded players	#	Seeded players	#	Alternates	Replacing	Draw date/time:
Rkg Date	1	川崎好美	9	山外涼月	1			20 MAR 2015 18:23
Top DA	2	牛島里咲			2			Last Accepted player
Last DA	3	千村夏実			3			佐々木通
Seed ranking	4	高山千尋			4			Player representatives
Rkg Date	5	長谷川美			5			辻本有佳里
Top seed	6	寺見かりん			6			高野優希
Last seed	8	緒方葉台子						Signature
					# Protected Ranking: Name (Line)			
					1	2	松野えるだ	

Asia Univ.Int'l Tennis

ITF Women's Circuit

DOUBLES

QUALIFYING DRAW



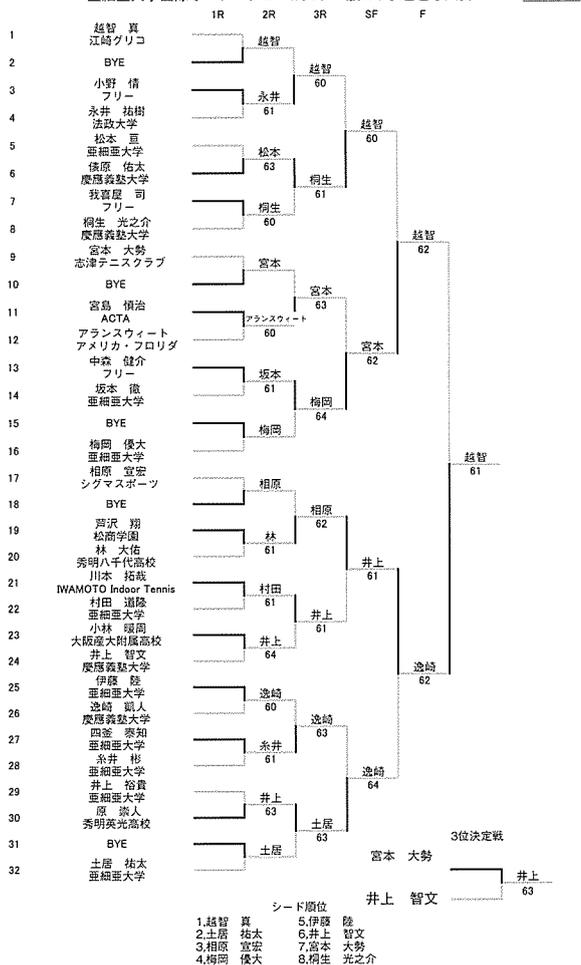
Week of	City, Country	Prize Money US\$	Tourn. ID	ITF Supervisor/Referee
2015/3/23	日本、東京、西多摩	\$10000	FU-JPN-01A-2015	Eida MATSUNO

Sl.	Rank	seed	Name	Nationality	Finals
1		2341	千村夏実[1]		広島建設
			宮村未穂希		JITC
					山藤彩香
					下口あみる
					6-3 . 6-4
2	WC		山藤彩香	亜細亜大学	
			下口あみる	亜細亜大学	
3			川崎光美	テニスユニバース	
			西改由衣	Vfoot	
					川崎光美
					西改由衣
					7-6 (4) . 6-4
4			村瀬早香	慶應義塾大学	
			西本恵	慶應義塾大学	

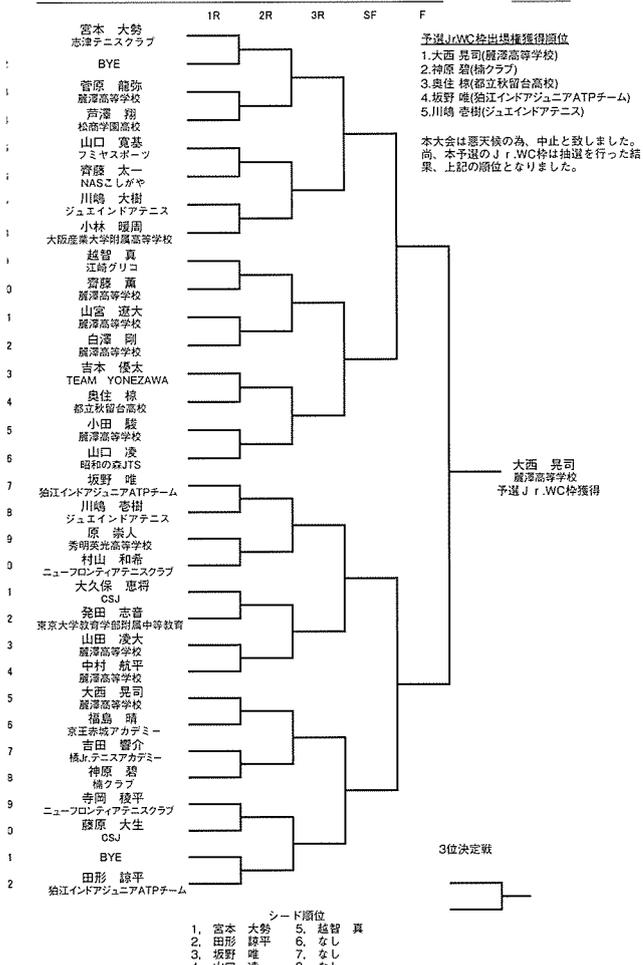
Acc. ranking	Seeded players	#	Alternates	Replacing	Draw date/time:
Rkg Date	1	千村夏実	1		23 MAR 2015 18:22
Top DA		宮村未穂希	2		Last Accepted player
Last DA			3		村瀬早香、西本恵
Seed ranking			4		Player representatives
Rkg Date			5		布目千尋
Top seed			6		Signature
Last seed					# Protected Ranking: Name (Line)
			1	2	松野えるだ

男子WC選手権大会結果

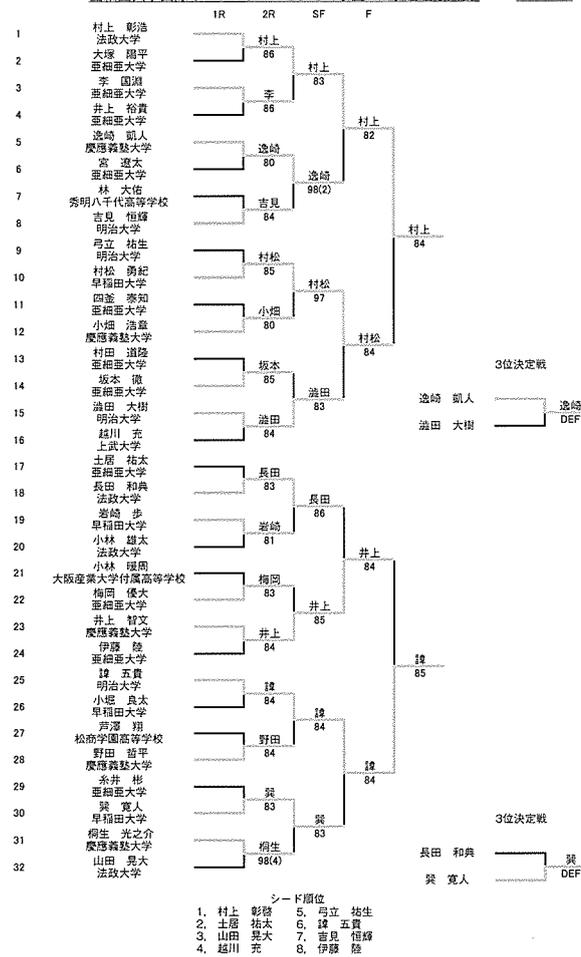
亜細亜大学国際オープンテニス2015 一般WC予選選手権大会 2015/3/4



亜細亜大学国際オープンテニス2015 Jr.WC予選選手権大会(男子) 2015/3/1



亜細亜大学国際オープンテニス2015 学生WC予選選手権大会 2015/3/2



一般WC選手権大会優勝者
越智真選手(18歳)
江崎グリコ



Jr.WC選手権大会獲得者
大西晃司選手(15歳)
麗澤高校



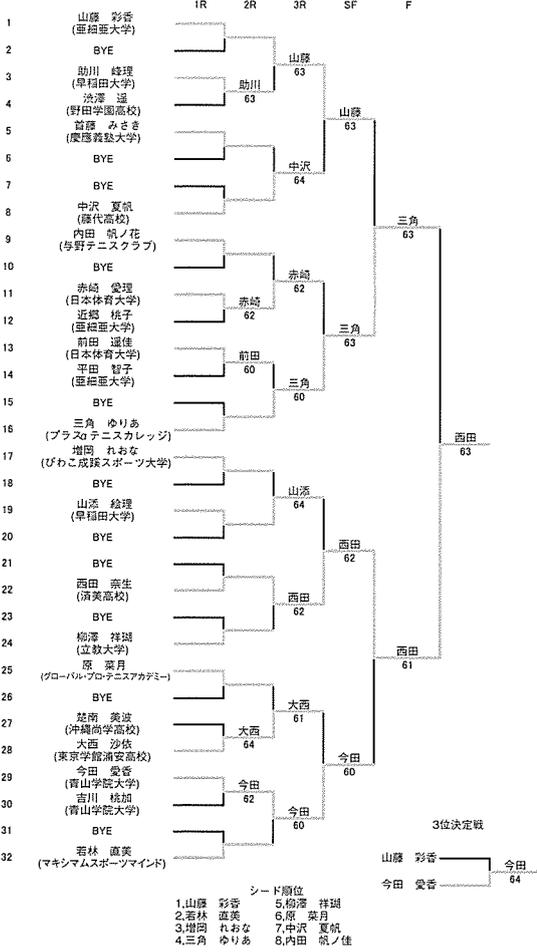
学生WC選手権大会Bブロック優勝者
諱五貴選手(20歳)
明治大学



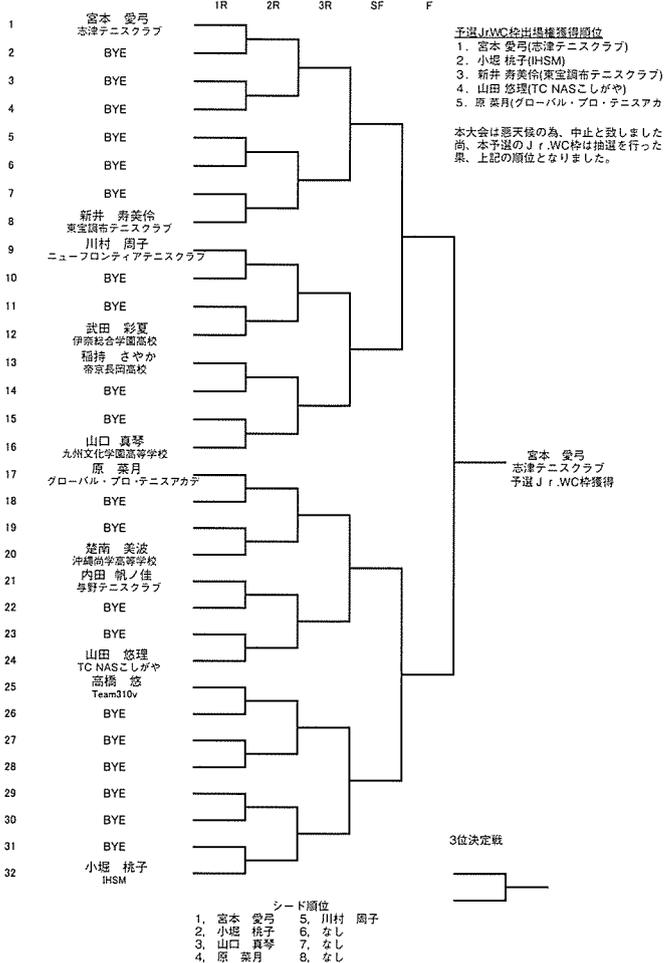
学生WC選手権大会Aブロック優勝者
村上彰浩選手(20歳)
法政大学

女子WC選手権大会結果

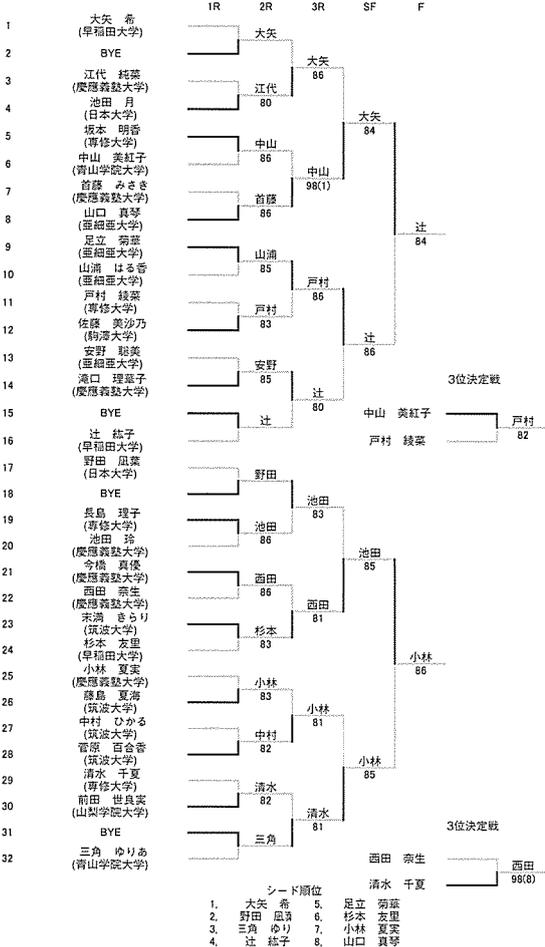
亜細亜大学国際オープンテニス2015 一般WC予選選手権大会 2015/3/18



亜細亜大学国際オープンテニス2015 J.WC予選選手権大会(女子) 2015/3/1



亜細亜大学国際オープンテニス2015 学生WC予選選手権大会 2015/3/16



一般WC選手権大会優勝者
西田奈生選手(18歳)
済美高校



Jr.WC選手権大会獲得者
宮本愛弓選手(14歳)
志津テニスクラブ



学生WC選手権大会Bブロック優勝者
辻結子選手(18歳)
早稲田大学※新1年



学生WC選手権大会Aブロック優勝者
小林夏実選手(20歳)
慶應義塾大学



第1回「亜細亜大学国際オープンテニス2007」

国際大会開催までの全記録

2007年3月19-25日、私たち亜細亜大学テニス部は、日本初となる大学主催の男子フューチャーズ1万ドル大会『F1亜細亜大学国際オープンテニストーナメント』を開催しました。
準備から運営にいたるまで、すべて学生が行なった手づくりの大会の全記録がここにあります。

記事協力◎テニスマガジン(2007年6月号掲載)

2006年9月 |
大会まであと6ヵ月

フューチャーズを開きたい!

堀内昌一監督が学生たちに「フューチャーズを開きたい」と言い始める。学生たちはまだ半信半疑で「無理ですよ」という雰囲気だった。



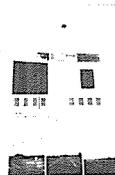
2006年10月 |
大会まであと5ヵ月

開催決定

堀内監督が学生に「フューチャーズを開催する」と正式に伝える。さらに「すべて学生でやってもらいたい。お金の集め方から運営の仕方まで、お前たちが全部考えてイチからやってみろ」との指示が。学生たちは「え? 本当に?」という感じだったが、同時にこれはもう引き下れないという状況になる。

川廷さんの視察

10月24日、ITF(国際テニス連盟)で世界的に活躍している川廷尚弘さんが視察に訪れる。亜細亜大の施設がフューチャーズに使用できるか、コートの幅、審判台の高さなど細かいところまでチェック。準備や運営についての講義も受けた。徐々に大会のイメージが膨らんできて、「やるならちゃんとやろう」という空気が全体にできあがる。



後日、川廷さんが視察レポートを学生全員に配ってくれた



2006年11月 |
大会まであと4ヵ月

第1回学生ミーティング

1回目のフューチャーズ・ミーティング。議題となったのは「資金集め」。最初の構想としては、毎年つくっている庭球部パンフレットで協賛してもらっている方、日の出町(コート所在地)、地元住民のみなさんや一般企業などに、フューチャーズの主旨を理解してもらい、協力を仰ごうというもの。しかし、実際には厳しさを知り、資金集めは堀内監督、森コーチ、OB・OGが行なうことに。学生はクリニックのスタッフとして携わることとなった。

2007年1月 |
大会まであと2ヵ月

強化期間開始

年が明け、東レPP0テニスのボーラーなどで忙しく、あまり準備が進まず。30日から、フューチャーズを最終目標とするテニス強化期間に入る。



2006年12月 |
大会まであと3ヵ月



幹部ミーティングがさかんに

4年生の幹部が監督、コーチらとセミナーハウスに泊まり込んでミーティング。役割分担の項目を決めたり、協賛していたメーカーや企業を探したり、何度も打ち合わせを行なう。

亜細亜大のセミナーハウス。フューチャーズの話し合いや準備で使用したほか、大会中は大会関係者の宿舎としても1泊3000円で貸し出した



資金集めの主な方法

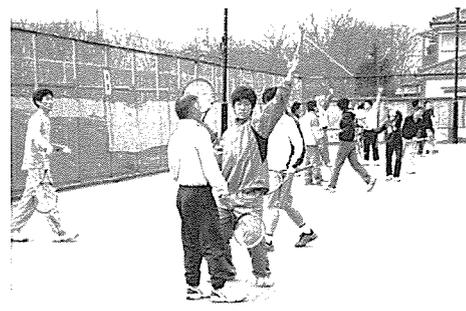
- ・日頃お世話になっているテニスメーカー、一般企業、団体からの協賛金
- ・学校からの補助金
- ・OB・OG会からの寄付金
- ・父兄、テニス関係者など個人からの協賛金
- ・日の出町からの協賛金
- ・サポーターズクラブの発足(応援してくれる一般の方を募集。クリニック受講、記念Tシャツ、「つるつる温泉」入浴券、ドリンクサービスなどを付けて3000円で販売)
- ・チャリティークリニックの開催(一般クリニックは5000円、ジュニアクリニックは500円で開催。大会前、大会中合わせて10回ほど行なう)

※資金面だけでなく、地元商工会やたくさんのボランティアに支えられた

2007年2月 |
大会まであと1ヵ月

本格始動

フューチャーズ開催に向けて本格的に動き始める。まずは、資金集めとフューチャーズの宣伝のため、一般の方やジュニアを対象としたクリニックを開催。1日クリニックは10~12時、13~16時でひとり5000円。1日30~40人、多いときで50人くらい集まる。このクリニックを計10回ほど開催したことで、かなり資金が集まった。



部内WC選手権が突然の中止

2月9日からセミナーハウス(寮)にて合宿開始。ここで部内のワイルドカード(WC/主催者推薦枠)選手権を行なうはずが……「何も準備ができていないのに、予選会をやるなんてダメだ。そういうものは、全部決まってからやるべきだ」と堀内監督に言われ中止に。

国際大会について調査

森コーチと世界で行なわれている大会について話をしたとき、学生は何も答えられず、これでは国際大会の運営者として失格だと痛感。デ杯やグランドスラムなど国際大会をはじめ、選手の歴史についても勉強する。



「簡単に大会に出るな。大会をつくる苦労を知った上で、大会に出ろ!」(堀内監督)

フューチャーズ開催の意義

部員全員で「フューチャーズの意義」について意見交換。運営するにも、選手として出場するにも、意義を知った上で臨んだほうが頑張れる、と思ったため。「学生はフューチャーズに出てもすぐに負けてしまう。大会を開くことの苦労を知れば、試合にもっと執着心をもって臨めるんじゃないか」と堀内監督。なぜ監督が学生に運営を任せるのか、その理由を皆が理解した。

私たちが考える「フューチャーズの意義」

- 1年生の意見
 - ・外国選手との交流
 - ・ATPポイントの獲得
 - ・プロ選手を見て勉強する
 - ・多文化の理解と受け入れ
 - ・選手のルーティンを学ぶ
 - ・運営することでマネジメントを学ぶ
- 2年生の意見
 - ・社会勉強(運営、資金集め、マネジメント)
 - ・国際交流(コミュニケーション)
 - ・教養を身につける
 - ・国際大会を主観的に見られる
 - ・地域振興
 - ・大学での国際交流やスポーツ、地域振興への意欲の高さを示す
 - ・国内の他のスポーツに良い影響を与える
- 3年生の意見
 - ・大会ができあがるまでの過程を知る
 - ・大会に対する思いを知る
 - ・日本選手の強化
 - ・運営に携わることで自分自身とテニスの関わりを見出すことができる
 - ・亜細亜大学の活性化
- 4年生の意見
 - ・日本選手の強化
 - ・学生テニスのレベルアップ
 - ・学生の学習の場の提供
 - ・国際大会数が世界ランカー数と相関関係にあるため、日本の国際大会数を増やさなければならぬ
 - ・企業、団体、地域、マスコミなどのあらたな関わり
 - ・各企業、メーカーの宣伝
 - ・亜細亜大学テニス部と世界のつながりをつくる
 - ・大会運営の過程を学ぶ

役割分担

誰がどんな仕事に就くのか、係を決定(項目は下記)。それぞれが部の役割や得意分野が生かせる係に就けるように話し合う。部のプログ担当はメディア係に、財務担当は賞金係に、機械関係に強い人はビデオ係に、英語が話せる人は通訳係に、など全員が能力を発揮できるように振り分け、各係でチームを決めた。細かいところまで、考えられるすべて、全力でやろうということで意見が一致。この役割分担が、大会成功のカギだった。

係と主な仕事内容～運営の軸となる大会進行係

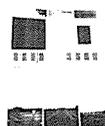
●幹部

- ディレクター◎堀内昌一監督
- アシスタントディレクター◎森稔詞コーチ、小野塚弓乃
- スーパーバイザー◎川廷尚弘(国際テニス連盟)事務局◎宇田川裕(テニス部副部長)、金子国彦(亜細亜大職員)

パンフレット作成開始

もともと作る予定はなかったが、協賛してくれた方々へのお礼、記者発表への対応を考え、急遽作成することになった。「パンフレットって何だ?」というところから始まったので、マスコミ関係者につくり方を聞きにいったり、これまでの大会パンフレットを集めたり、一気に慌ただしくなる。監督、コーチ、大学事務局と話し合いながら、掲載内容やレイアウトを決定。同時にプレスリリースやポスターもつくり始める。

- 運営係
 - 全体への指示
- 賞金係
 - 選手、スタッフへのキャラクターの計算と管理。大会サポーターからの寄付金受け取り
- 会場・施設係
 - プレーヤーズルーム、コンピュータールーム、メディアルームの設営、学校の備品の持ち出し、管理、ドロボードの作成



- レフェリー係
 - ワイルドカード選手権の運営
- チーフアンパイア係
 - ボーラー、ラインスマンの配置、チェック、指導
- 物品係
 - マイク、パイプ椅子、メーカーのパナー、紙コップなど備品の小さい管理、ネームボードの作成



- 通訳係
 - 外国人選手への対応、表彰式でのスピーチ通訳
- 写真係
 - ブログ用、記録用写真の撮影
- 電話番係
 - 選手、関係者からの電話対応

部内WC選手権開催

2月上旬に行なうはずだった部内ワイルドカード選手権をようやく開催する。「皆に機会を与える」というのが目的だったので、学生全員が参加。実力によって、上からABCDブロックに分け、8ゲームマッチの総当たり戦を行なう。下部で勝ち上がった2名が上のブロックへ移動、というのを繰り返し、最終的に本戦ワイルドカード4名(大塚、富田、篠川、井上)、予選ワイルドカード3名(古城、牛田、風早)を決定。また、この頃からストーブ、テント、パイプ椅子など学校から備品を選び出し、施設の設営準備が進む。

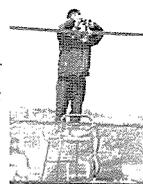
選手に戦いやすい環境を提供する係

- 洗濯係
 - ランドリーサービス(セミナーハウスの洗濯機を使用、乾燥室用の部屋を借りて乾かす)
 - インフォメーション係
 - 会場の地図や案内板の作成と設置、自転車の貸し出し



今後の検証材料として、選手のデータを集める係

- アンケート係
 - 選手へのアンケート調査(アンケート用紙を複製し、選手の実態を調査)
- ビデオ係
 - 本戦の全試合をビデオ撮影(販売も行なう)
- スコアシート係
 - 全試合のスコア記入(ウインブルドンの集計用紙と同じものを使用。確率やミスの種類まで細かくチェックし、試合後に渡す)
- 体力測定係
 - プロの体力測定(握力、垂直跳びなど、プロの体力や筋力を測定)



- マニュアルづくり係
 - 来年以降の資料として役立てるため、各役職の仕事内容などを記録

●Tシャツ係～記念Tシャツの作成、販売
「亜細亜大学硬式庭球部」「日の出」「未来」「一球入魂」「一期一会」と描かれた5種類の大会記念Tシャツを販売。文字は監督のお母さん(習字の先生)に描いてもらい、テニスショップ「テニスファクトリー」の八田修孝さんに協力してもらって作成。一般の方たちが着ることも考えて、落ち着いたカラーにした。



3月12日

大会まであと5日

泊まり込みのホチキス止め

パンフレットの中身がやっと完成。しかし、装丁に予想以上の時間がかかる。コピー、ホチキス止めを泊まり込みで行ない、200部を製作(パンフは大会期間中に何度か足りなくなって、そのたび追加し、結局300部くらいだった)。このあたりが焦りのピークだった。



3月13日

大会まであと4日

学生ワイルドカード選手権

関東リーグ1部校からの各4名と学生連盟からの推薦8名で、大学生だけのワイルドカード選手権が始まる。ワイルドカード予選3大会は川廷さんが不在なので、レフェリー係を中心に大会を運営する。



3月14日

大会まであと3日

記者発表資料が完成

できあがった大会パンフレットとプレスリリースを、庭球部パンフレットと大学パンフレットといっしょにファイルにセットし。記者発表用の資料が完成。また、学生ワイルドカードが早稲田大学の佐藤文平、吉備雄也に決定。



3月15日

大会まであと2日

初めての記者発表

堀内監督、小野塚AD、メディア担当・蒲谷の3名で岸記念体育館へ。集まった新聞記者、雑誌記者、スポーツライターなどにパンフレットのいったファイルを手渡す。堀内監督が大会開催の主旨について発表する。



初めての記者発表に緊張気味の監督

一般WC予選サインアップ

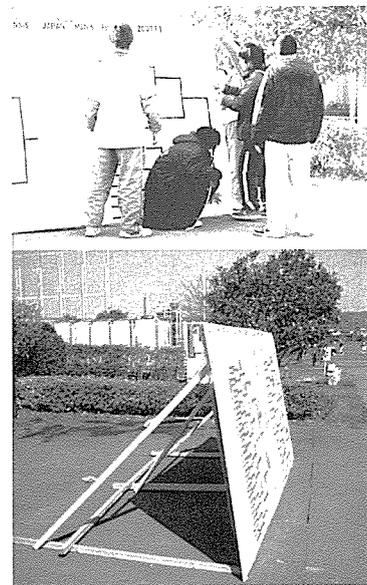
一般ワイルドカード予選のサインアップが開始。海外選手も含め、107名がサインをしにきてくれた。部員も全員がサイン。そのうち出場できるのは64名。

3月18日

予選2日目

ドロボー準備!

本戦ドロボー抽選会の結果を受けて、ドロボーボードを作成。本戦1日目のデイリーパンフレットもできあがる。



3月17日

予選1日目

予選開始!

役割分担でやるべきことは決めてあったが、実際に試合が始まるとわからないことだらけで慌てる。OPやドロボーに掲載している韓国人選手や中国人選手のアルファベット表記が見にくいということで、漢字表記に直すことになり、選手個人に直接聞きに行く。スコアシート係は本戦から行なうということだったが、予選も準備期間として始めることに。

SUN, Peng [1]	孙鹏
OKI, Ryo	大木 良
FURUTA, Takeshi	藤田 健史
CHANG, Kai-Lung	张加龙
DOERNER, Scott	ドニーアースコート
TOYOTA, Selya	豊田 聖夜
KOGA, Kunito	古高 公仁志
SIMPSON, Matthew [13]	シンプソン
GONG, Mao-Xin [2]	龚 毛欣
LIN, Tzu-Yang	林子洋
KOJWA, Tatsuji	小室 隆史
ASAKURA, Makoto	朝倉 誠

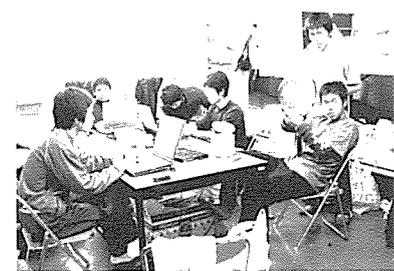


3月16日

大会まであと1日

宿泊開始

一般ワイルドカードの予選が始まる。本戦選手がコートにやってきて、サイン&プラクティス。この日からセミナーハウスに宿泊開始。



セミナーハウスは8人部屋。大会終了まで全員が宿泊

3月19日

本戦1日目

本戦スタート!

いよいよ本戦開始。専門誌をはじめ、マスコミの方が多く集まり、プレスバスやパンフレットを渡して対応する。今日からラインズマンが入るので、朝から気合いを入れて練習。試合後、初の洗濯注文を受ける。夜中にプラクティスコート予約の電話がかかってきたり、デイリーパンフレットやブログの更新に追われたりと、忙しい雰囲気に。試合は篠川が1回戦を突破してATP1ポイントを獲得、学生として2人目のATPランカーに。



ラインズマンは毎朝、大声で練習



3月20日

本戦2日目

杉田選手が登場!!

シングルス1R、ダブルス1Rが行なわれる。デ杯の活躍もあって注目された杉田祐一選手が勝利し、盛り上がる。



ランドリーサービスは外国人選手がよく利用してくれた。最初500円だったがちょっと高いのではという話になり、300円にしたところ急に注文が増えた

デイリーパンフレットは夜原稿を書き、翌朝にコピー。学校も印刷所も開いていないので、近くの病院の売店でコピー機を使わせてもらう



ドロボーボードに本戦選手の顔写真を貼ろうというアイデアが出る。多くの選手が快く協力してくれた



1日のスケジュール

- 06:30 起床
- 07:00 朝食
(食べ終わったら各自コートへ)
- 07:30 コート集合
掃除、準備
- 08:30 選手が来始める、サインアップ
- 09:00 プラクティス
- 10:00 試合開始
(各係が就く。時間があったら試合観戦。運営に慣れてきた大会後半は夕方から練習練習練習...)
- 18:30 試合終了後、片付け
- 19:00 夕食→入浴
- 21:00 ミーティング
(係ごとに今日の報告、反省点、意見などをチーフが発表。こうしたらいいんじゃないかと思うことを毎日話し合う)。ミーティング後は自由時間(自分の仕事が終わったら就寝)

3月21日 |
本戦3日目

祝日で大盛況

シングルス2R、ダブルス1Rが行なわれる。祝日だったので、地元の方やOBの方もたくさんきてくれた。小学生対象のクリニックも開催。また、鈴木貴男選手がきてくれたので、体力測定に参加してもらおう。次週の早稲田大フューチャーズに参戦する韓国と中国のテ杯選手が練習しに来たので、どんなメニューを行なっているか調査する。



茶園鉄也選手(左)、寺地貴弘選手(右)がアンケートに答えてくれた

3月22日 |
本戦4日目



選手のサインを集めたサインボードはすばらしい記念

折り返し地点

大会も折り返し地点。みんな気持ちに少し余裕が出てきて、細かいことにも気づくようになる。シングルスは2R、ダブルスは準決勝が行なわれる。注目の杉田選手はフルセットで惜敗。

3月23日 |
本戦5日目

強風が吹き荒れる

シングルスは準々決勝、ダブルスは準決勝に突入。風が強く、本部の資料が飛んでいってしまったり、スコアボードが倒れそうになったり……。夜のミーティングでは、明日のダブルス表彰式に向けて会議を行なう。

杉田選手にサインをもらう



近藤大生選手(左)がTシャツをお買い上げ。漢字が受けて、外国人選手も購入してくれた

OGでもある岡本聖子さんが会場を訪れ、体力測定に参加してくれた



杉田選手にサインをもらう

3月24日 |
本戦6日目

ダブルス表彰式で感激

ダブルス決勝戦でOBの佐藤博康選手が登場。選手入場では、学生が花道をつくり、会場を盛り上げる。惜しくも準優勝だったが、「母校のフューチャーズに出られるとは思っていませんでした。学生が本当にがんばってくれて、よい一週間を過ごせました。今後も継続して頑張ってください」と激励の言葉をもらった。最後に選手、スタッフ、そして観客の方もいっしょに写真撮影を行なう。



ダブルス表彰式



初めてボーラーが入る



クリニックおよびブリヂストン試打会を開催

最終ミーティング

決勝戦に向けての最終ミーティング。学生の疲れはピークに達するが、監督からは「明日、達成感を感じたとしても、それで終わりじゃない。この経験をどう生かすか、すぐに考えろ。『やりっぱなし』で終わるな!」と喝を入れられる。川廷さんからは表彰式の改善点、雨天時の対処法など、細かいチェックが入る。



サプライズパーティー

ミーティング後、4年生から再び招集がかかる。何が始まるのかと思いきや…「これまでついてきてくれてありがとう」と特大ケーキのプレゼント! 体はきつかったが、「最終日、これまでの総決算として絶対に成功させよう!」という元気が湧いてくる。



3月25日 |
本戦最終日

初代チャンピオンに林(イム)選手

最終日の早朝は土砂降りの雨。午前中に止んで、素早くコート整備を行なうも、またすぐに降り出すというアンラッキーな事態に。しかし、雨天時の対処法は前日に確認できていたので、みんな慌てず臨機応変に対応。こうして14時に決勝が開始し、韓国のイム選手がベテラン茶園選手をフルセットで下して優勝した。表彰式は昨日の反省を生かしてスムーズに進む。



新聞紙やタオルも使い、大急ぎで乾かす



記念すべき初代チャンピオンは韓国のイム選手(左)、右は準優勝の茶園選手



雨だったにもかかわらず、多くの観客が集まった

感動のフィナーレ

表彰式後、花道をつくって選手を送り出す。すると、学生から「監督も通ってください!」との声がか。コートの隅でひとり号泣していた監督を、学生が引っ張り出し、拍手喝采の花道を通す。「学生たちが日に日に成長していくんだよ。みんなエキサイトして一生懸命やっている姿がうれしくて。こいつら、すごいな。本当にやってくれたんだなと思ったら…感動しちゃったよ」(監督)。



学生たちに囲まれ、監督は大粒の涙



最後に皆で写真撮影

「世界の壁は厚い。でもそれを破っていくことが大事だ。そのエネルギーを感じたんだから、やるしかないだろう」(堀内監督)



ご協賛いただきました企業・団体・個人の皆様

【企業・団体の皆様】

ブリヂストンスポーツ セールス ジャパン株式会社 〒105-6128 港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル	株式会社NIPPO 〒103-0028 中央区八重洲1-2-16 TGビルディング	株式会社テニスユニバース 〒183-0012 府中市押立町2-15-18	東急建設株式会社 〒150-8340 渋谷区渋谷1-16-14 渋谷地下鉄ビル
株式会社大都 〒552-0022 大阪市港区海岸通2-1-11	東京急行電鉄株式会社 〒150-8511 渋谷区桜丘町31-2 東急桜丘町ビル	株式会社アドヴァン 〒150-0001 渋谷区神宮前4-32-14	株式会社ロイヤル・アーツ 〒153-0042 目黒区青葉台2-16-11
橋本総業株式会社 〒103-0001 中央区日本橋小伝馬町9-9	株式会社ゴールドウイン 〒150-8517 渋谷区松濤2-20-6	合資会社アオヤマ 〒430-0932 静岡県浜松市中区着町316-2	秋山工業 〒507-0007 多治見市小名田町
有限会社内田販売システム 〒028-2104 岩手県宮古市刈屋4-1-1	ダイドードリンコ株式会社 〒233-0013 横浜市港南区丸山台3-40-1	株式会社 やまやコミュニケーションズ 〒813-0062 福岡県福岡市東区松島 5-27-5	有限会社藤野企画 〒190-0015 立川市泉町935-1 立川ルーデンステニスクラブ内
有限会社 武蔵野ローンテニスクラブ 〒168-0071 杉並区高井戸西2-14-32	東亜ストリング株式会社 〒651-0078 兵庫県神戸市中央区八雲通 3-1-24	つるつる温泉 〒190-0181 西多摩郡日の出町大久野4718	グリーンテニス 〒334-0057 川口市安行原1646
あきる野不動産株式会社 〒197-0804 あきる野市秋川3-6-1	旭ヶ丘テニスクラブ 〒509-0071 多治見市旭ヶ丘8-36-1	厚木市テニス協会 〒243-0813 厚木市妻田東1-6-48	名古屋高等学校 〒461-8676 名古屋市長区砂田橋2-1-58
日本テニス学会 〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地 鹿屋体育大学	全日本学生テニス連盟 〒101-0052 千代田区神田小川町3-6-9 神田第2アメックスビル7階	関東学生テニス連盟 〒101-0052 千代田区神田小川町3-6-9 神田第2アメックスビル7階	関東テニス協会 〒151-0072 渋谷区幡ヶ谷1-1-2 朝日生命幡ヶ谷ビル2階
GSチャレンジ財団 〒155-0032 世田谷区代沢3-6-15	日の出町 〒190-0192 西多摩郡日の出町 大字平井2780	亜細亜学園学友会 〒180-8629 武蔵野市境5-24-10	亜細亜学園青々会 〒180-8629 武蔵野市境5-24-10

【個人・卒業生の皆様】

太公望 〒197-0804 あきる野市秋川1-2-6	花輪 〒190-0182 西多摩郡日の出町平井1454	秋川鍼灸 〒197-0825 あきる野市雨間382-14	ミヤタ 〒190-0182 西多摩郡日の出町平井 2636-6-10
丸善 〒180-0022 武蔵野市境5-17-12	井上和利	小塚 仁	吉田友佳
塩野谷明	加藤隆之	藤咲尚矢	小島宜明
見方善子	酒巻昭浩	毛塚欣治	タジママサハル
大西紗依	清水雅一	豊田昭彦	金子正一郎
山本幸治	鈴木宏幸	❀	❀

上記に掲載させていただきました、企業、団体、個人、卒業生の皆様から、国際大会運営にご協賛を頂きました。皆様からのご厚意に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。
大変失礼ながら、誌面の都合上、敬称を略させていただきました。ご容赦ください。



私たちは、

テニスの普及を通じて

社会教育の促進や

子どもの健全育成など、

広く社会に

貢献することを

目的として活動しています。

NPPO法人
アジアスポーツクラブ

ACTIVITY 01

テニススクール

[一般/ジュニア]

選手経験豊富なスタッフが、それぞれのレベルや年齢にあった指導を行います。レベルや年齢にあった指導を行います。

ACTIVITY 02

日曜ジュニア サークル

実践的な技術を身につけるだけでなく、社会性を育むことを目的としたサークルです。社会性を育むことを目的としたサークルです。

ACTIVITY 03

中学・高校 部活動講習会

中学・高校のテニス部を対象とした部活動講習会を定期的で開催しています。講習会を定期的で開催しています。



スクール生随時募集中

アジアテニスアカデミーは「特定非営利活動法人アジアスポーツクラブ」がテニスを普及振興する支援活動の一環として運営しているテニススクールです。

お申し込み・
お問い合わせ



070-5071-8387

受付時間 9:00~20:00(月曜定休日)



asc.asia-tennis.com

詳しい情報、レッスンスケジュール等はWebで。



亜細亜大学日の出
キャンパステニスコート

思 いせば、けっこう不思議な光景だった。

東京の西の最果、武蔵野の面影残る日の出町は土砂降りの日曜。上がった雨が、また泣き出しそうな黄昏どきだ。ジャージ姿の学生たちがコートサイドに集まり、そこから女子大生の肩を抱いた中尾彬が転がるように現れた。女子大生は泣きじゃくり、中尾も大粒の涙。学生たちは胸上げとか笑いながら、いや、泣いている者もいた……。

よく見ると、中尾彬ではなく“ホッチ”こと亜細亜大学硬式テニス部の堀内昌一監督、よく見れば、英文の横断幕がネットに揺れている。〈F1亜細亜大学国際オープンテニス2007〉——3月から展開された男子テニスのフューチャーズ5大会、その幕開け、F1亜細亜が終わったところ。監督と女子学生が

涙する昭和の卒業式のような光景は、彼らにしかわからない物語だった。しかし、彼らだけの物語ではなかった。

フューチャーズは、ATPツアーのもっとも下位の大会である。本戦で1勝して1ポイント、優勝すれば12ポイント獲得できる。F1亜細亜は本戦32ドローに予選は64ドロー、さらに予選のワイルドカード8本のうち4本を公開して予備予選（32ドロー）を行なっている。8勝してやっと1ポイントを手にする勘定になる。

1ポイントで念願の世界ランク1518位タイ、ざっと500人の名前が並んでいる。四大大会の予選カットは250位前後で、最低150ポイントは必要だ。ロジャー・フェデラーの7715ポイントは、なんと遥かなるアラモだろう。

「学生たちにランキングを持つチャンスを与え、学生テニスも世界と結びついていることを再確認したい」というのがフューチャーズ主催に名乗を上げた理由だが、堀内監督の思惑はそこだけに止まらない。

日本には、以前からこうした大会は存在した。堀内監督も日本体育大学で活躍していた80年代前半、メーカーなどが主催して春季サーキットが開かれ、ジャパンオープン（現・楽天オープン）もそうした流れから誕生している。90年代にもサテライトが開かれたものの、辛うじて鈴木貴男をグランドスラムに送り出したくらいの成果しかなかった。

フューチャーズの登場でポイントが取りやすくなるとはいえ、世界と結びつけ

ば近隣の強敵たちも来日する。終わってみればF1亜細亜では、ベテラン茶園鉄也の8ポイントを筆頭に近藤大生が2、ほかに6選手が1ポイント獲得し、学生は杉田祐一（早稲田大・三菱電機）と亜大の新1年生・篠川智大がゲット。

杉田は〈学生〉の対象外だから、日本選手、まして学生のポイント獲得が難しいことには変わりがないのだ。ただ、これは想定内だった。テニスはやって楽しく、見て楽しい。読んで楽しい人は少なく、運営の楽しさを知った人も多くない。F1亜細亜は日本初、川廷尚弘スーパーバイザーによればアジア初の学生の自主運営による大会だった。

学生運営の大会は、堀内監督の20年来の夢だったという。早稲田大学との絡みでその機が巡ってきた。この秋、早稲田大は創立125周年を迎え、大々的に記念行事が行なわれる。杉田や卓球の福原愛の部外入学、ハンカチ王子こと斉藤祐樹投手の話題づくりとともに、早稲田大庭球部のフューチャーズ開催も記念行事活動と連動している。この動きを見て、単独では名乗りを上げられなかった亜細亜大が、千載一遇のチャンスとばかりアプローチショットを放って、ネットに出たのである。

「僕もアメリカに留学してサテライトを回りました。大会は手づくりの素朴なものでした。これまでの日本のフューチャーズも、みなさんが一生懸命手伝って温かい大会になりましたが、それを学生にやらせたかった。人と接することで皆さんのことを学び、テニスを別の角度から見ることで、テニスがもっと面白く、好きになれるはず」

自分たちのポイント獲得だけが目的ではないから、ワイルドカードの特権を他校の学生にもジュニアにも分けている。



平成19・20年卒業生がこの石碑を部室の前に立ててくれた。F1亜細亜大学国際オープンテニス2007開催を記念して、ここに紹介したテニスマガジン掲載記事と『大学から世界へ～学生の学生による学生のための国際大会開催の地～』という文字が彫られている

2007年亜細亜大学国際オープンテニス・総括

日の出に 世界がやってきた。

文◎武田薫 記事提供◎テニスマガジン(2007年6月号)



予選には、内外から107人のプレーヤーが日の出町までサインアップにきた。55人の部員は選手全員の練習コートを手配、準備しなければならない。セミナーハウスを一泊二食付3000円で宿舎に開放し、近郊の昭島や八王子に滞在した選手の送迎の世話、洗濯の案内、自転車のレンタル、ツアープロの命綱・インターネット利用のため、大学から10台のコンピューターを借りた。画期的なディリープログラムの作成にブログの逐次更新。国際大会だから英語表記あり……。予算は限られていたから、試合進行とこうした周辺作業すべてを、学生自らの手でこなさなければならない。

運営が学生だろうが、選手からは手厳しい注文が飛び込んでくる。

「使わなかったボールは練習で使うから、返さないよ。練習ボールと質が違う」と言い張ったのは、ニュージーランドから予選参加したアダム・トンプソン、テ杯代表でもある。

「一応プロだ。いまは親が援助してくれる。もう24歳だから精神的にきつくてね。ホテルは一泊80ドルだけ。ニュージーランドならヒルトンホテルに泊まれる。どうしてもランキングを上げたいんだ」

健闘空しく予選落ちすれば、日本選手は恵まれているとヤケにもなる。シングルス本戦のWCをもらった大塚真之助は、1回戦敗退と同時に賞金・会計担当補佐に回っている。

「ボールの手配や水の準備、これまで当たり前前に思ってきたことがけっこうたいへんで、貴重な経験でした」

あとから「何度計算しても5000円少なくて」と電話が入り、慌てたこともあった。デスクの向こう側に座って初めて聞くツアープロのナマの声——間違いなく、

学生たちがテニスを見る目は変わっただろう。

ダブルスで準優勝した亜細亜大OBの佐藤博康がこんな感想を話した。

「日の出町でフューチャーズをやるとは思わなかった。OBとしてうれしいし、決勝を戦えてよかった」

日の出町という地域性も、このF1亜細亜の特徴だ。

日の出町は、1983年、中曽根康弘元首相の別荘での米国ロナルド・レーガン大統領とのロンヤス会談で話題になったことがある。新宿から中央線の立川で乗り換え、拝島で単線の五日市線に移って武蔵引田駅下車——駅からの道端に野菜の無人販売所があり、テニスのプロ大会の開催地でこれほどの遠隔地はかつての八ヶ岳くらいなものだろう。だが、フューチャーズは観客ではなく選手のための大会というところがミソなのだ。雨の中を訪れた青木國太郎町長はご祝儀を手に入れそうである。

「26年前にゴミ焼却場を誘致してから、自然とスポーツがこの町のテーマでした。モラルを尊重するスポーツは、町民平和に結びつく。まして初めての国際大会です。ますます発展することを切に願っています」

学生は近隣住民にテニスクリニックを行い、地元の人たちはうどんコーナーを切り盛りし、商工会が特産品を並べて一体感を味わっていた。

かつて、デビューしたてのアンドレ・アガシが出場したボストン郊外の大会を取材した。夕方になるとバーベキューの煙がコートに流れ、近所の人たちがビール片手にワイワイと賑やかだった。堀内監督にはそんなイメージもあり、地元アピールの場になればそれはまた別のおも

しろい展開になるかもしれない。

『世界は日の出を待っている』ではなく、日の出に世界がやってきた……。

大会中、寝泊りをともにした川廷スーパーバイザーは二重丸をつけた。

「学生たちは毎晩反省会を開き、いつボール交換するかなど自分たちで決めてアドバイスを求めてきた。もっと教えなければいけないと思っていたんですが、いやあ、楽でした」

茶園も「若いから、テキパキして気持ちよかったね」と拍手を送り、優勝した韓国の林奎泰はこうだ。

「学生だけで大会運営をやるなんて信じられませんよ。残念ながら、韓国の学生には真似できないな」

そんな声を聞けば、小川春男学長も、決勝戦の寒い中、朝から夕方まで付き合った甲斐があった。

「国際大会に相応しい緊張感あふれる試合でした。学生諸君も、雨の中で緊張感を維持し立派だった。いい勉強になったでしょう」

最終日は雨で試合開始が5時間も延期され、そのことも運営の経験になったと言うはたやすい。だが、すべてが初めてであり大きなリスクをとともう賭けだった。冒頭の不思議な光景、堀内監督の涙がその舞台裏を思わず物語っていた。

さて、このチャレンジは誰にでも可能だったのだろうか。誰もが、いきなりアプローチショットを叩いてネットに出られるとは限らない。

テニスは大学の中だけでも日本の中だけでもない、世界を目指すことを忘れるな——堀内監督、森稔詞コーチの日常的な指導方針が下地にあることを忘れてはいけない。日の出町に出現した日本の新しいテニス風景に、期待したい。

【2007亜細亜大学国際オープンテニス】ダブルス決勝のあと、大会スタッフとして働いたテニス部員も加わり、入賞選手を囲んで記念撮影。中央にいる2ペアが優勝、準優勝ペア。右の2人が、惜しくも準優勝だった亜細亜大学OBの佐藤博康とそのパートナーの李明



あなたも
サポーター

亜細亜大学国際オープンテニス チャリティーテニスクリニックに ご参加ください!

このクリニックの収益はすべて国際大会運営費に充てられます。
よってクリニック参加のみなさまは
大会サポーターであるとともに亜細亜大学テニス部のサポーターでもあります!

“テクニカルシリーズ”開講中!

2008年にスタートした『亜細亜大学国際テニス大会～チャリティーテニスクリニック“テクニカルシリーズ”』は、これまでに年間およそ20回、2015年現在までを数えるとおよそ200回ほど開催してきました。

クリニック開催の目的は大きく分けて2つあります。ひとつはテニス部員と一

般プレーヤーのみなさまとの交流機会を増やしたいということ。そしてもうひとつは、このクリニックでいただく参加費を『亜細亜大学国際テニス大会』の大会運営費用に充て、みなさま方ひとりひとりに大会サポーターとなっていただき、さらには、亜細亜大学テニス部のサポーターになって、応援していただきたいという思いがあります。

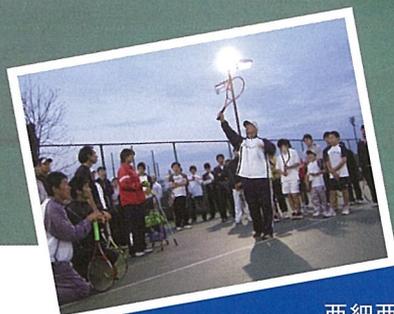
クリニックの講師は、テニス部の堀内

昌一監督、森稔詞コーチ、宮崎靖雄コーチのいずれかが務め、現役部員がサポートして、各回テーマに沿ったいい指導を心掛けています。もう一段階向上したいとお考えのテニスプレーヤーのみなさまに対して、期待に応える内容をご提供したいと思います。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

亜細亜大学テニス部一同

テーマは“テクニカルシリーズ”として細かく設定

例 サービス編 | レシーブ編 | ストローク編 | ボレー編 | プライベート編 など



情報およびお申し込み方法は、随時ブログに更新中!

亜細亜大学テニス部ブログ-EVER UPWARD!(意味は「限りなく向上せよ」)

<http://autennis.blogspot.jp>

〈受け付け後〉asiatennisacademy@gmail.comより返信致します

亜細亜大学国際テニス大会チャリティークリニック 参加者を代表して

鎌田健嗣さん



何度通っても新たな“気づき”があり、テニス部のみなさんと同じコートに立って実践できる、それが続けるモチベーションとなっています。

亜細亜大学関係者のみなさま、今回は年間活動報告の中で、テニスクリニック参加者として声を掛けていただき、拙文を披露する場をいただきましたことを、この場を借りてお礼申し上げます。

私は、2012年6月23日のテニスクリニック（テーマ◎アプローチ&ネット）に参加し、クリニック参加回数は40回目を数えました。思い起こせば、08年の初夏にボレークリニ

ックに参加したのが最初でした。2012年卒業した益田拓馬くんがまだ1年生のときにボールを出してもらい、湿気のあまりに靴の中が洪水状態になってしまったあの日から足かけ7年、クリニックに参加させていただいていることになりました。

私が本クリニックに参加したのは、08年の正月に5年半の北京駐在から帰国し、日本でテニスをする環境を探していたことがきっかけでした。ご存じのとおり海外ではハードコートばかりで砂入り人工芝コートはほとんどありません。私はハードコートで練習したいと思い、多摩地区のテニススクールを探し、その中でたまたま『フューチャーズ・チャリティクリニック』というものをWEBで見つけたのです。大学のテニスコートで練習できるとの内容にも興味を持ち、参加することにしました。オールラウンドコートと書いてあったのでつきり人工芝かと思い靴を持っていったらハードコートだったので、うれしく思ったあの日のことをいまでも憶えています。

以来、テニス部のみなさんにいろいろ指導をしていただきましたが、私が思うに、要は「体の動きを理解して、効率的なパフォーマンスを継続してできるようになること」、これに尽きるのかなと思っています。サービスも、やっとなかなか！というものを体得できるようにになりました。何度通っても新たな“気づき”があり、それを堀内監督、森コーチ、そして学生のみなさんと共有しながら同じコートに立って実践できる、それが続けるモチベーションとなっているのです（もちろん、それに加えてフューチャーズ開催のサポーターであることも…）。

最後に、学生のみなさん、テニスクリニックは社会とのコミュニケーションを勉強する場でもあります。このこともテニスをプレーすること、テニス大会を運営することと同じくらい良い機会ととらえて、日々テニスができる最高の環境を生かしながら4年間を大事に、且つ思いやり過ごしていただきたいと思います。応援しています。



本多立雄さん



亜細亜大のテニスに対する真摯でオープンな姿勢が、日本のテニスに力強い流れを創り始めた、そう感じています。

「世界の舞台で活躍する選手を育てるには、登竜門のフューチャーズを、日本でもっともっと開催しなければいけない」——堀内監督の熱い思いをお聞きしながらも、日本人がグランドスラム本戦の常連になれるのはいつだろうと、日の出から遠い空を見つめたあの頃を思い出します。

『亜細亜フューチャーズ』は今年で9年目を迎え、『同・国際女子オープン』もスタートしました。第3回大会優勝の伊藤竜馬選手をはじめ、添田豪選手など、地道にフューチャー

ズに挑戦し続けてきた日本人が、今、ATPツアー本戦にストレートインして上位進出を狙っています。亜細亜大で大会がスタートした06年には、夢の実現は10年先のことだろうと思いましたが、彼らの雄姿をグランドスラムで当たり前のように見ることができるよう日々がやってきました。亜細亜大を起点とした大学国際大会シリーズが、日本人選手躍進の大きなきっかけとなったのはまぎれのない事実です。

私たちは、外部サポーターとして、フューチャーズの開催趣旨に賛同するとともに、学生の皆さんが出場するさまざまな試合を応援しています。そして、研究や情報収集を欠かさない、堀内監督や森コーチ、宮崎コーチなどの指導陣と、現役学生のみなさんから、「トッププレーヤーにも一般にもジュニアにも共通する本物のテニス」をご指導いただいています。みなさんから、技術とともに、テニスに対する姿勢を学んでいます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

学生のみなさんが4年間で成長していく姿を見るのも楽しみです。強く願っているの

は、亜細亜大をはじめとする学生の中から、フューチャーズで活躍する選手、そしてチャレンジャー、ATPツアーで戦う選手が出てくることです。

自分たちのテニスの実力アップ、ジュニアや一般への指導、国際大会の企画・運営、そして学生の本分である勉強・研究。さまざまなことをこなしながら、テニスの未来のため、開かれた大学テニスを実践する亜細亜大。私たちサポーターだけでなく、その姿勢に賛同する人たちが、一年中、全国から日の出に集まるようになってきました。きっかけは、フューチャーズでしょう。山梨学院大や筑波大が追随したように、大学主導、さらには学連主導の形でこの大会がさらに増えていくことを願っています。そして、地方大学の選手にも積極的にフューチャーズの予選、予選に参加するように、私自身も含めて、働きかけなければいけないと思います。

亜細亜大のテニスに対する真摯でオープンな姿勢が、日本全体のテニスを底上げするための、力強い流れを創り始めた、そう感じています。

2016 亜細亜大学国際オープンテニス

F1 Asia University International Open Tennis

大会要項 (予定)

日程

予選	2016年3月5日(土)～7日(月)※	シングルス 64名 (DA56 WC8)
本戦	2016年3月8日(火)～13日(日)※	シングルス 32名 (DA20 QF8 WC4) ダブルス 16組 (DA13 WC3)

※予選サインイン 2016年3月4日(金) 午後6時まで 大会会場にて

賞金ブレイクダウン US\$10,000

	SINGLES(\$賞金・ポイント)		DOUBLES(/TEAM)(\$賞金・ポイント)	
WINNER	1440	18	620	18
FINALIST	848	10	360	10
SEMI-FINALIST	502	6	216	6
QUARTER-FINALIST	292	2	128	0
ROUND OF 16	172	1	72	—
ROUND OF 32	104	0	—	—

ITF WOMEN'S CIRCUIT

2016 亜細亜大学国際女子オープンテニス

Asia University International Women's Open Tennis

大会要項 (予定)

日程

予選	2016年3月19日(土)～21日(月)※	シングルス 64名 (DA56 WC8)
本戦	2016年3月22日(火)～27日(日)※	シングルス 32名 (DA20 QF8 WC4) ダブルス 16組 (DA13 WC3)

※予選サインイン 2016年3月18日(金) 午後6時まで 大会会場にて

賞金ブレイクダウン US\$10,000

	SINGLES(\$賞金・ポイント)		DOUBLES(/TEAM)(\$賞金・ポイント)	
WINNER	1568	17	637	12
FINALIST	980	7	343	7
SEMI-FINALIST	490	4	196	4
QUARTER-FINALIST	245	2	98	1
ROUND OF 16	196	1	49	—
ROUND OF 32	98	0	—	—

ホテル	●東横イン秋川駅
試合方法	●トーナメント方式(ベストオブ3セットマッチ6ゲームオール後タイブレイク採用)
予選	●US40\$
会場	●亜細亜大学日の出キャンパス テニスコート(ハードコート8面)
	〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井1449-1 TEL042-588-5817 FAX042-588-5817

詳細は…

国際テニス連盟 (ITF)	http://www.itftennis.com/proccircuit/
日本テニス協会 (JTA)	http://www.jta-tennis.or.jp/
亜細亜大学テニス部公式サイト	http://www.asia-tennis.com

※2015年11月現在の予定です。